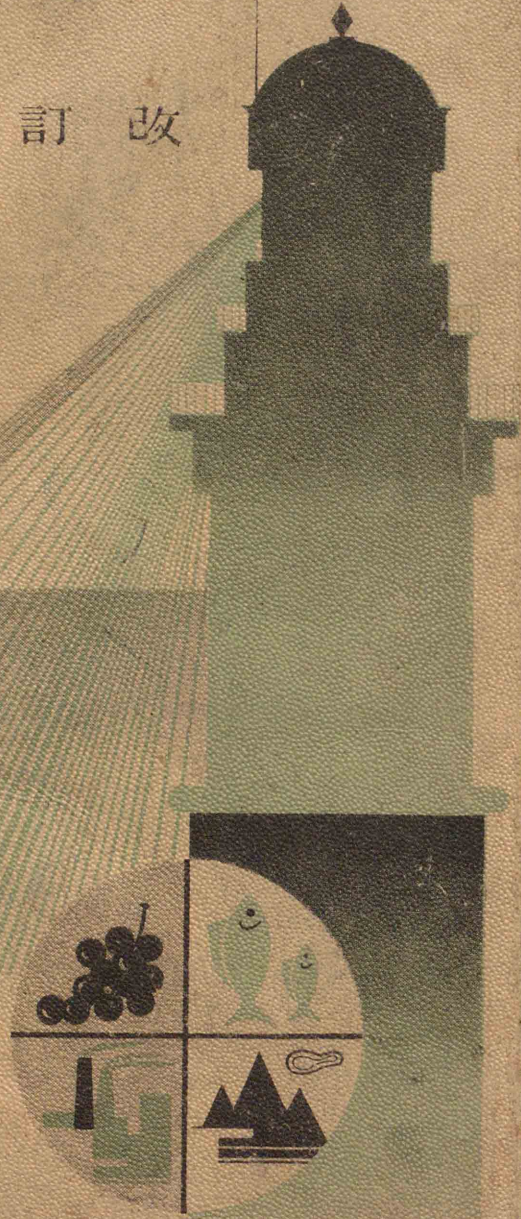


三省堂編輯所  
提要

# 最近日本地理

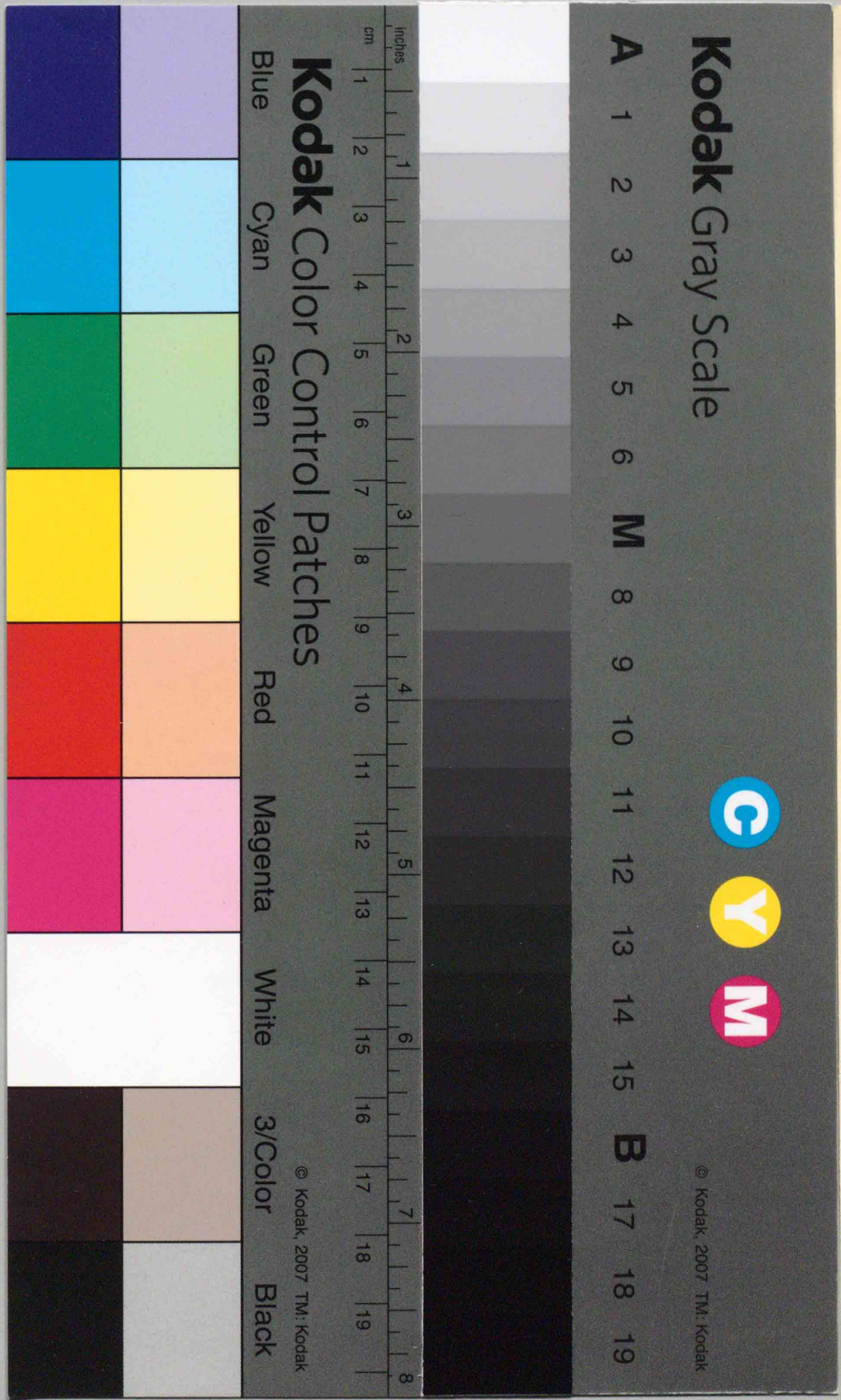
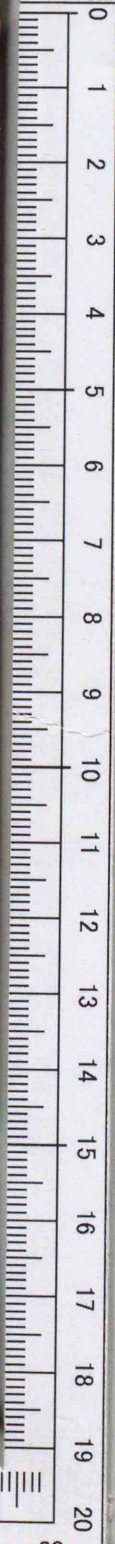
改訂版



三省堂  
東京大版

3759  
Sa14  
資料室

教科  
42  
200



42874

教科書文庫

4.
291
42-194
20000 41751

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak

資料室  
日八十二月一年六十和昭  
濟定檢省部文  
用科理地校學女等高

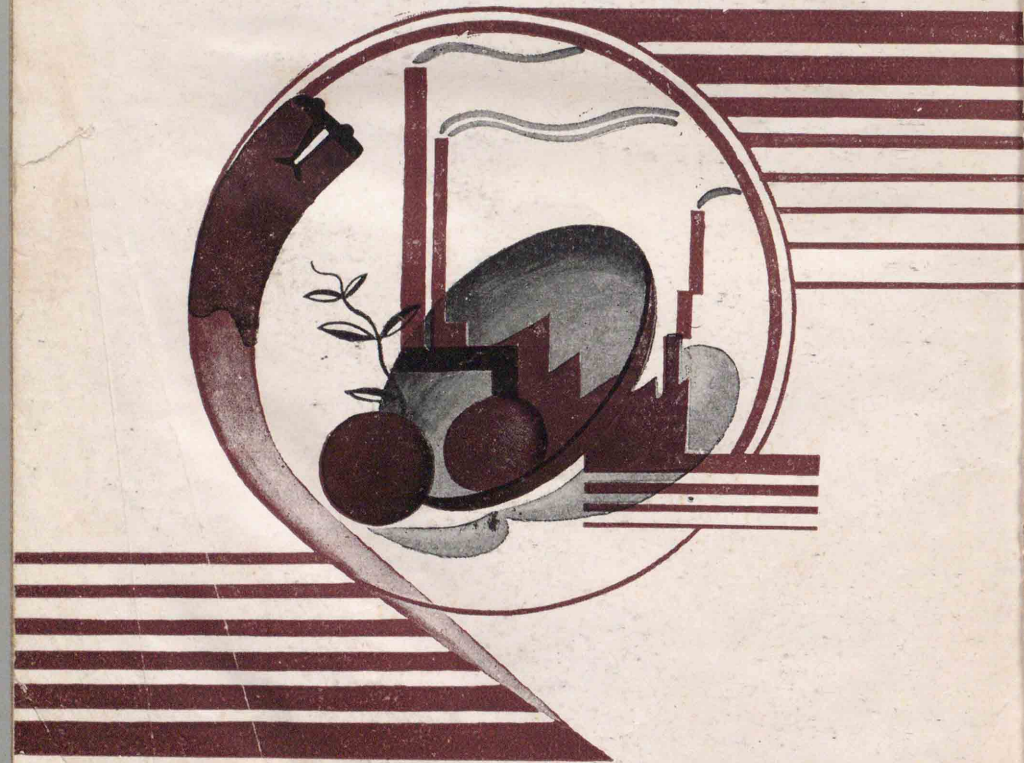
教科書文庫  
4  
291  
42-1941  
2000041751

375.9  
Sa14

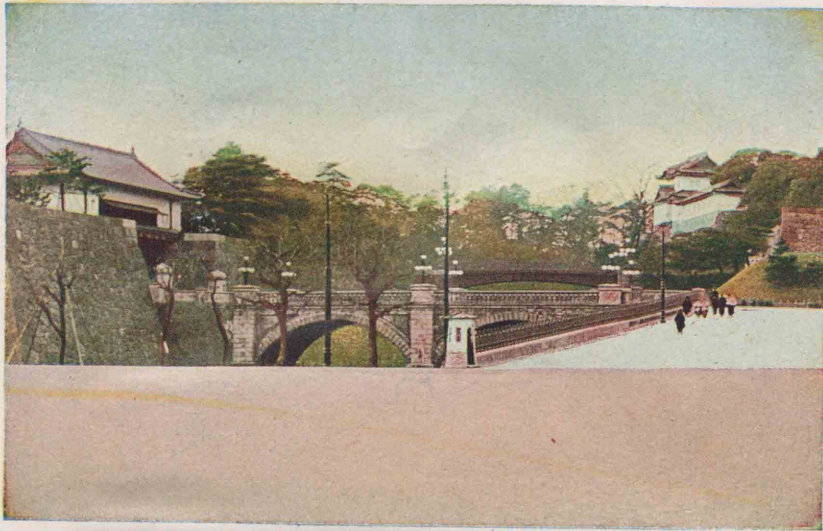
編所輯編堂省三

# 理地本日近最提要

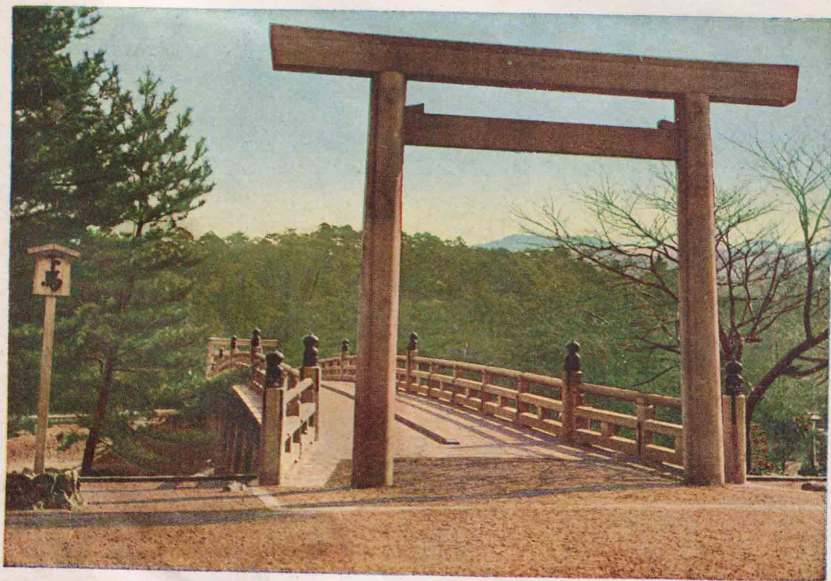
版訂改



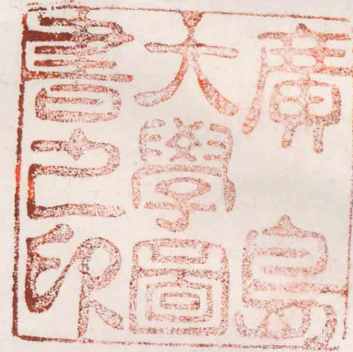
阪大 堂 省 三 京東



橋重二の城宮  
 で橋鐵はのるえ見く遠で門正の城宮  
 るあで橋石はの景近



橋治宇の廟大  
 宮神大皇り跨に川鈴十五のれ流き清  
 橋宮参たれらけ架に城宮の



辯  
言

本書は新定の教授要目に則り、高等女學校及び實科高等女學校の教科書とする爲に編纂したもので、特に意を用ひた要點は、左のとほりである。

- 一、小學教育との連絡を考慮して内容の程度を高め、日本の現状を正しく把握せしめると共に、益、將來の進展に奮起心を誘發せしめるやうにした。
- 一、内容の選擇及びその記述に深甚の注意を拂ひ、繁に失せず簡に流れず、少數の時間内に於いて、最も有效な地理教授をなし得られるやうにした。
- 一、挿畫は直觀材料として本文中に多數を加へた外、別丁を挿入して著しくその數を豊富にし、記事の理解と興味喚起とを

助けた。

一、經濟生活の重要性が近年著しく増大し、女子の之に對する知識の必要が加つたので、その記述には特に意を用ひ、又産業統計は、貿易の外、總て昭和十二年度以前の分を採ることにした。

一、地方誌に於いては、市と朝鮮の府とに太字を用ひ、又地方廳所在地(□)、名所舊蹟(△)、地方名(○)及び區域外の都邑(、)等には、特殊の記號を附して一般都邑(●)と區別し、總説に於いては、主題となる品名・名詞等に(・)を附して、一目瞭然たらしめた。

一、保健上の必要から、本文及び圖表中の文字を大きくし、總て文部省告示の活字印刷規定に據つた。

一、全卷を通じ、國民精神の作興に關する材料を隨處に採録し、要旨の貫徹に努めた。

本書に使用した統計圖表は、中央氣象臺の調査、諸官省の統計表、諸會社の報告、理科年表、國勢グラフ等によつて作製したものが多

く、又内容の修正に關しては、當事者諸賢の經驗に基く注意に負ふものである。特記して茲に感謝の意を表す。

昭和十五年十一月

編 者 識

目次

序說	一
前篇 地方誌	一
第一章 關東地方	五
第二章 奧羽地方	一五
第三章 中部地方	二三
第四章 近畿地方	三三
第五章 中國地方	四四
第六章 四國地方	五二
第七章 九州地方	五七
第八章 北海道	六七
第九章 樺太	七六
第十章 臺灣	八二

第十一章 朝鮮……………八九

第十二章 關東州……………九六

第十三章 南洋群島……………一〇一

後篇 總說……………一〇五

第一章 地勢……………一〇五

第二章 海洋……………一〇七

第三章 氣候……………一〇九

第四章 住民……………一一〇

第五章 産業……………一一三

第六章 交通……………一二七

第七章 政治……………一二九

結論……………一三三

目次終



日本帝國の四極

極北 千島の阿頼度島

極南 小笠原の沖鳥島

極東 千島の占守島

極西 澎湖諸島の花嶼

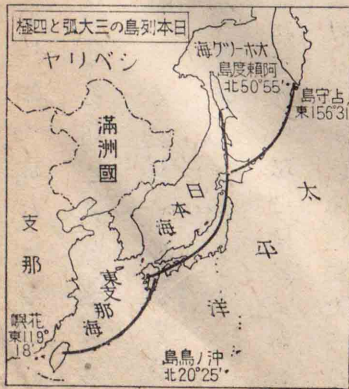
外に 新南群島がある

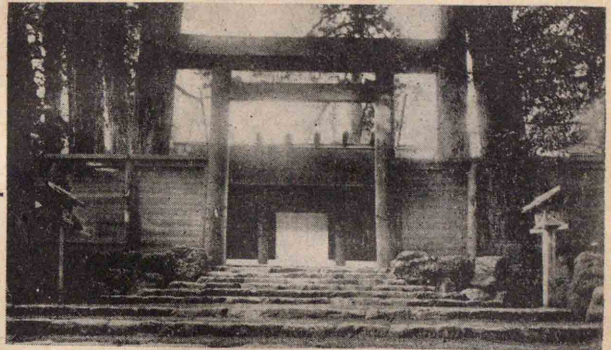
提 要 最近日本地理 改訂版

序 說

帝國の位置 我が大日本帝國は、日本列島と朝鮮半島とから成る。日本列島は、古くから豊葦原瑞穂國といはれ、氣候がよく、風景が秀で、産物の豊かな樂土である。多くの島は、三つの弓形をなして花飾のやうに連り、その内側は、オホーツク海、日本海、東支那海を挟んで、アジア大陸と對し、外側は太平洋を隔て、遙に北米南米の兩大陸及び大洋洲に對してゐる。

日本列島と大陸との間は、海





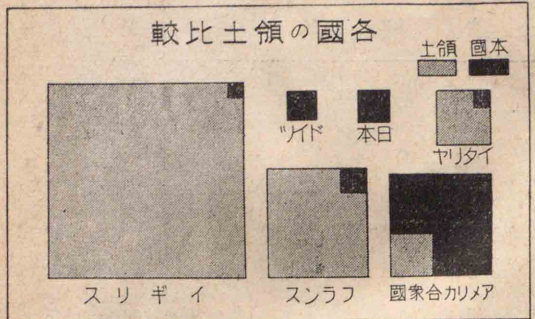
皇祖天照大神奉祀る皇大神宮

も廣くない上に、壹岐、對馬等が飛石の如く列び、大陸との交通を助けて、早くその文明を傳へると共に、又島國であつたことは、固有の文化を産み、優越せる國民性を養ひ、光輝ある歴史を作り、世界無比の國家をなしてゐる。

**萬邦無比の國家** 古來の語事によれば、我が瑞穗國は、天神の作り給ひしものである。我々大和民族は、天神以來、連綿たる皇統を戴いて、この國土に生育し、この國土を開發して、今日に至つたもので、皇室と臣民とは、同祖の關係があると共に、國土と國民とも、密接不離の親しみがある。この上下一體の大精神は、一貫して光輝ある過去幾千年の歴史となり、萬邦無比の國家を形成し、更に將來に向つて、無窮の發展を續けて行く。

**國土の膨脹**

明治以來、國運の發展が殊に著しく、臺灣・樺太を加へ、朝鮮を併せ、關東州を租借地とした爲、ソビエト聯邦滿洲國とは境を接し、支那は對岸の隣國となつたが、更に南洋群島の統治を行つて、太平洋に於ける米・英・佛等の領土とも、關係が益々深くなつた。



我が國の面積は、約六十八萬方呎あつて、イギリス・イタリア等の本國よりは遙に廣いが、歐米列強の如く、植民地を持たない。住民は約一億に達し、内地はその中の七割餘を占めて、人口密度は世界の第四位にある。

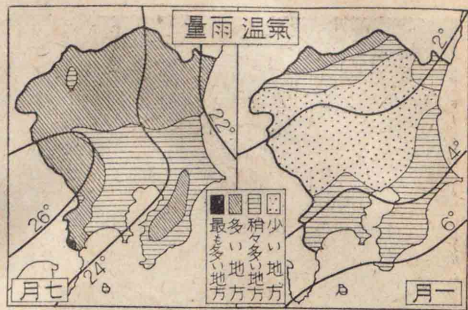
面積の概數(呎)		人口の概數(萬)	
本州	二二〇,〇〇〇	本州	五,七二
四國	一八,八〇〇	四國	三,三六
九州	四〇,〇〇〇	九州	一,〇二
北海道	八,八〇〇	北海道	三,〇七
朝鮮	三三,〇〇〇	朝鮮	二,二九〇
臺灣	三六,〇〇〇	臺灣	五,二
樺太	三六,〇〇〇	樺太	三
其他	—	其他	—
合計	約七五,〇〇〇	合計	約九,七九
關東州	三,四六〇	關東州	二,三
南洋群島	二,二五〇	南洋群島	二〇

**日本の現勢**

明治以後に於ける我が國の進歩は著大なるもので、總ての文化が先進國の多くを凌ぎ、世界の大強國として仰望されるに至つた。斯る異數の發展も、畢竟幾多の變遷を重ねて來た結果で、その間に於ける、歴代天皇の深い御軫念と、之を扶翼し奉つた、祖先の忠誠とを忘れてはならぬ。





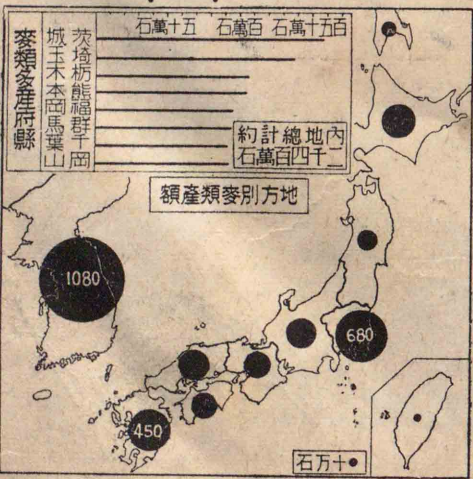


**産業**  
 米の産に富み、臺地は多く畑となつて、  
 麥類・大豆・甘藷・野菜等を産する。栃木・茨  
 城の臺地は、名高い煙草産地(茂木・烏山)

房總半島の沿岸や、日光・箱根等と共に、よ  
 い靜養地である。

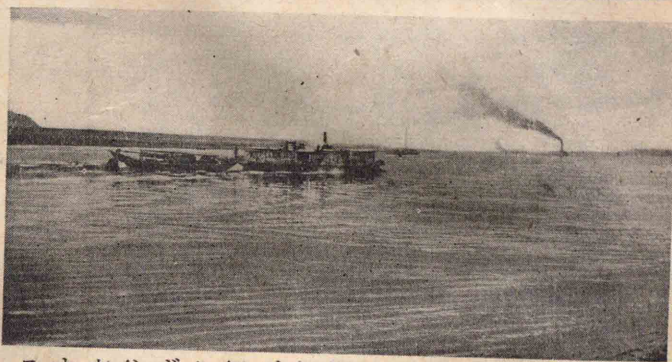
**産業**

**農業**



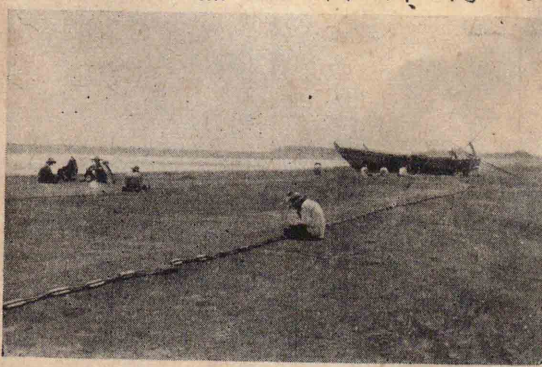
てゐる。  
**氣候** 南關東は冬暖夏涼で、殊に海岸地方に  
 は、著名な靜養地が處々にある。北關東の山地は、  
 冬は寒いが、夏はよい避暑地である。雨は夏に多  
 く、冬は北西季節風が、山地を吹越してくるから、  
 平地は空風が吹いて乾燥する。

浦賀海峽の  
 附近及び小  
 笠原諸島の  
 北部は要塞  
 地帯である



半島の西には、相模灣がある。南方の海上に  
 は、富士火山帯に屬する伊豆七島・小笠原諸  
 島が點在し、交通及び國防上の要地となつ

は、我が國第一の平野で、那珂川・利根川・荒川  
 多摩川・相模川等が此處を流れ、上流は多く  
 發電に利用せられ、中流以下は灌漑・運輸の  
 便がある。中でも利根川は、霞浦・北浦・印旛沼  
 等の湖群と連つて、水利が甚だ多い。  
 海岸は、丘陵性の  
 房總・三浦の兩半島  
 が、東京灣を抱く外  
 東岸に犬吠崎が出  
 て、鹿島灘と九十九  
 里濱とを分け、三浦



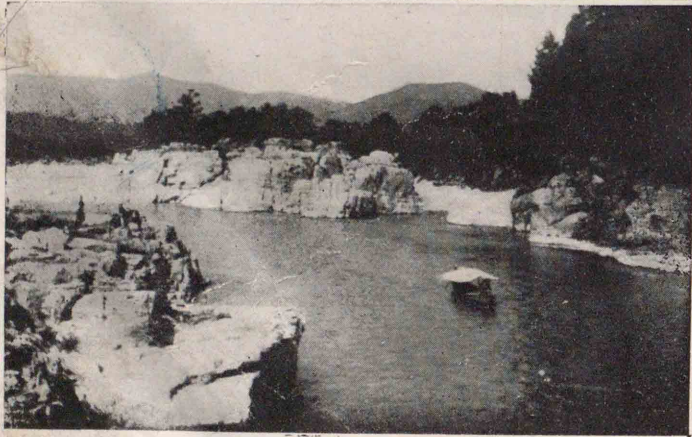
く續が濱砂な調單く長で濱里九十九



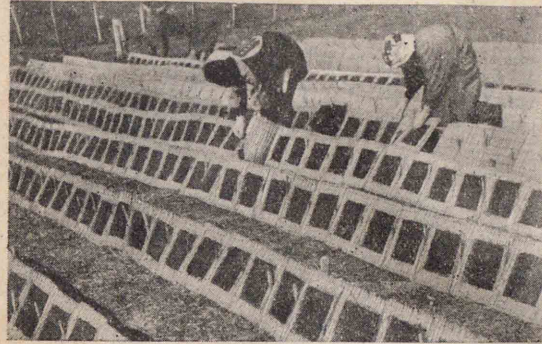
明治神宮 稀に見る幽邃な神域で國民の崇敬が極めて厚い 圖は拜殿前の光景



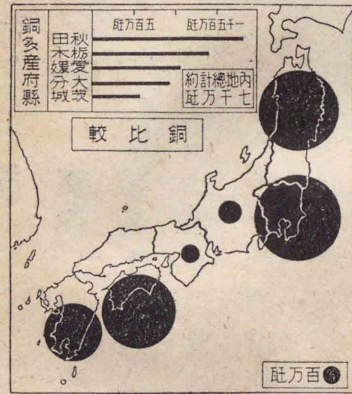
國會議事堂 白光輝く巍然たる大建築で東洋大帝國の議政府たるに愧ぢない威容を備へてゐる



長灘 千態萬様の結晶片岩が削立し清流奇岩の風景は秩父赤壁の稱に背かない

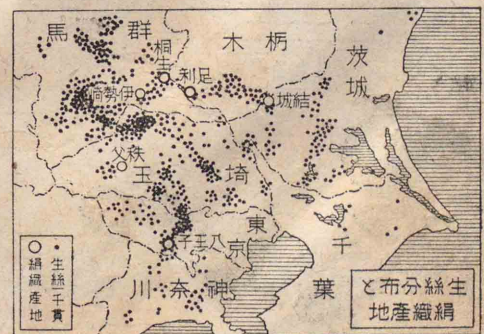


漉上たげ海苔を天日に干してりる

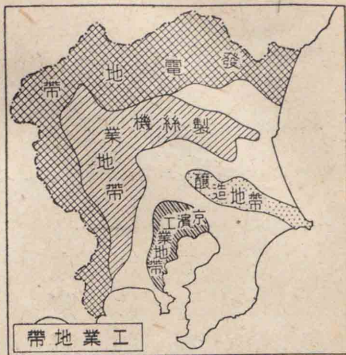


いから、漁業は甚だ盛で、鯔、秋刀魚、鰹、鮪等の漁利が多く、利根川口の銚子は、東日本有数の漁港である。東京灣は海苔の養殖で名高い。鑛業 足尾(栃木)・日立(茨城)は、我が國屈指の大銅山で、

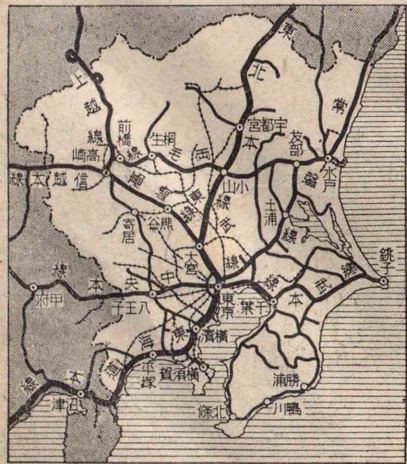
で、神奈川縣(秦野)からも産し、栃木縣には大麻(鹿沼)の特産がある。東京の附近では、野菜の栽培が盛である。山麓地方は、全國屈指の養蠶地帯で、著名な製絲地(前橋、熊谷等)が多い。牧畜、養鶏等は、副業として行はれるが、東京の附近では、之を專業とするものもあり、牛乳、鶏卵の産が多い。濱地方を控へて、魚類の需要が多



東京<sup>(1)</sup>神戶間  
東京<sup>(2)</sup>名古屋間  
大宮<sup>(3)</sup>高崎間  
高崎<sup>(4)</sup>宮内間  
高崎<sup>(5)</sup>新潟間  
東京<sup>(6)</sup>青森間  
東京<sup>(7)</sup>岩沼間  
東京<sup>(8)</sup>銚子間

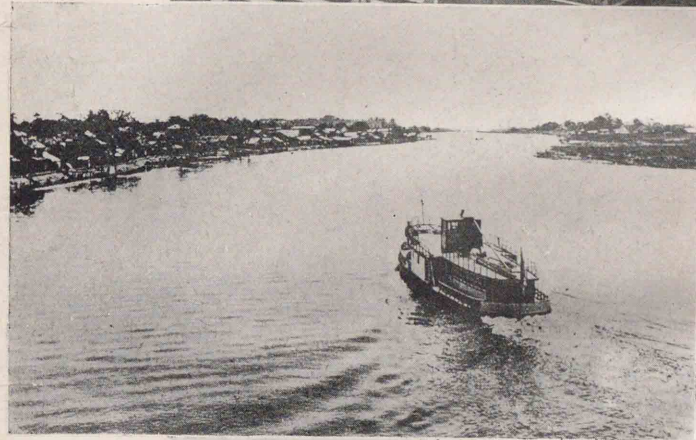


産地である。利根川の下流地方には、醤油の醸造地(野田・銚子等)が多い。  
**商業** 東京は内地商業の大中心として大阪と対立し、横濱は神戸と共に、我が國の二大貿易港である。  
**交通** 主要の道路は、多く東京を中心とし、鐵道網の密なことも全國第一で、東海道線<sup>(1)</sup>中央線<sup>(2)</sup>高崎線<sup>(3)</sup>上越線<sup>(4)</sup>信越線<sup>(5)</sup>東北線<sup>(6)</sup>常磐線<sup>(7)</sup>總武線<sup>(8)</sup>等の主要の線



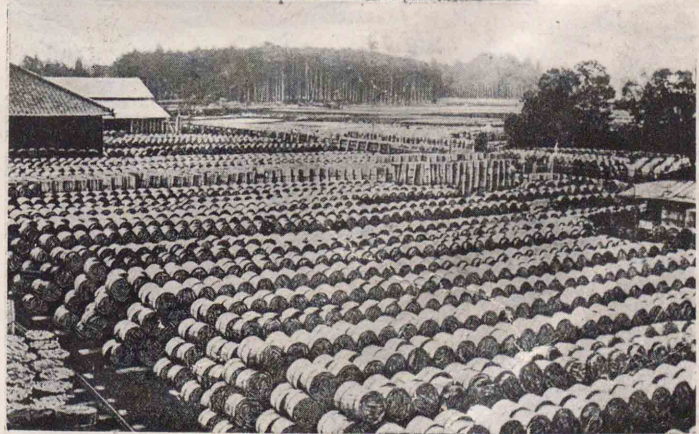
**工業** 東京から横濱に至る地方には、大小の工場が多く、京濱工業地帯をなして、紡織(紡績綿織・メリヤス等)・機械類(機械船舶等)等の工業が甚だ盛である。西北部の養蠶製絲地方では、機業が大いに進み、中でも桐生(群馬)・足利(栃木)・八王子(東京)は、關東の三大絹織産地である。利根川の下流地方には、醤油の醸造地(野田・銚子等)が多い。  
**工業** 東京から横濱に至る地方には、大小の工場が多く、京濱工業地帯をなして、紡織(紡績綿織・メリヤス等)・機械類(機械船舶等)等の工業が甚だ盛である。西北部の養蠶製絲地方では、機業が大いに進み、中でも桐生(群馬)・足利(栃木)・八王子(東京)は、關東の三大絹織産地である。利根川の下流地方には、醤油の醸造地(野田・銚子等)が多い。

日光の陽明門 精巧な彫刻は終日観るも厭くことなしとして俗に日暮門と呼ばれる



水郷地方 大小の湖群間に小運河が四通し水運が極めてよく水村が處々に點在する

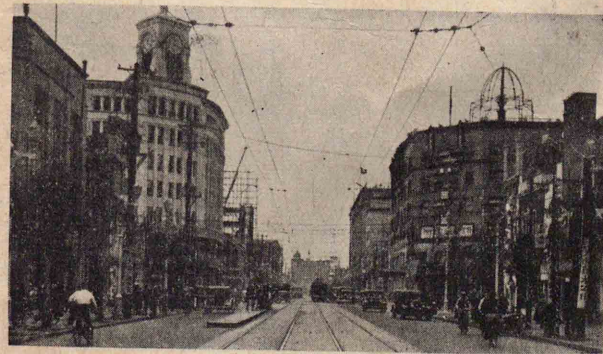
醤油樽材の乾燥 千葉縣の醤油は販路が甚だ廣く圖はその樽材を乾燥せしめる光景



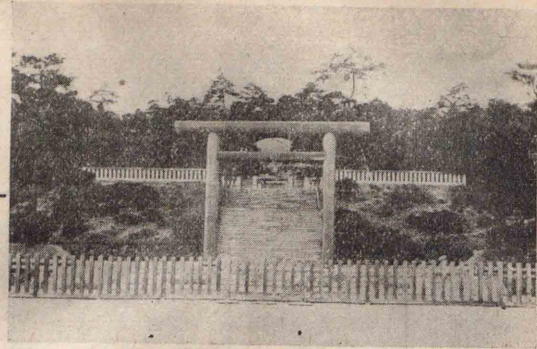
路が概ね東京を中心として諸方に通じてゐる。東海道線には箱根越の難所もあつたが、近年丹那隧道を通じて便利となつた。航路は横濱を中心として、内外の要港と通じ、東京も内國航路の中心である。定期航空路は東京を中心として、列島の主要地を縦貫し、又大陸に通ずるものもある。國際通信には、太平洋の海底電線と、對外無線電信及び無線電話等が備つてゐる。

處 誌

**東京府** **東京市**は我が國の首府で、隅田川に跨り、政治、經濟、軍事、學術等の大中心である。地形上から、臺地(山手)と、低地(下町)とに分れ、臺地は主に住宅地で、學校も此處に多く、下町の沿海地方は工業區で、

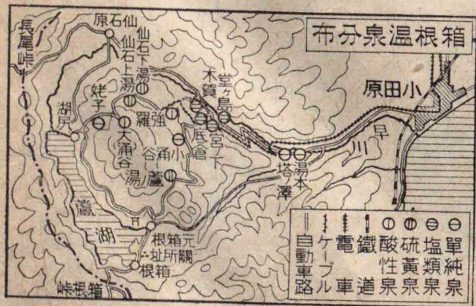


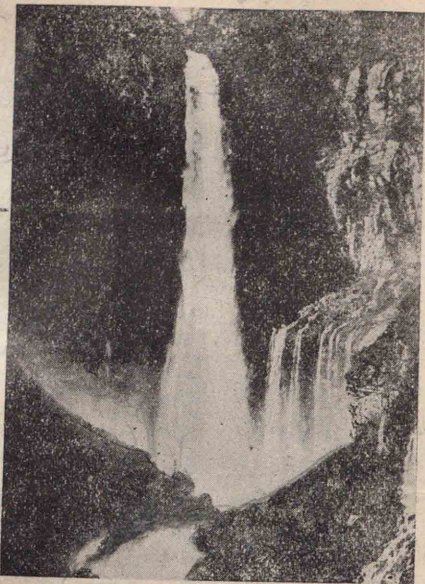
東 京 並 銀 座 通 景 光 大 店 商 繁 多 東 京 並 銀 座 通 景 光 大 店 商 繁 多



横須賀に第一海軍區鎮守府がある

工場が多い。臺地と工業區との中間は商業區で、丸之内附近には高層建築が集つてゐる。市内には明治神宮を始め、名高い社寺勝地があり、觀光の客が常に多い。八王子市は養蠶機業の中心地で、附近の淺川に多摩川がある。神奈川縣 横濱市は繁盛な貿易港で、生絲、絹織等の輸出入が特色である。川崎市と共に京濱工業地帯の一部をなす。各種の大工場が多い。横須賀市は軍港で、海軍工廠がある。湘南地方は、京濱地方に對する第一の靜養地である。藤澤市、平塚市は、近年工業が盛となり、小田原は宿驛であつたが、今は附近に蜜柑山が多い。箱根山は複式火山で、その火口原には、美しい蘆湖があり、温泉も處々に湧き、風景が頗るよい。登山電車ケ

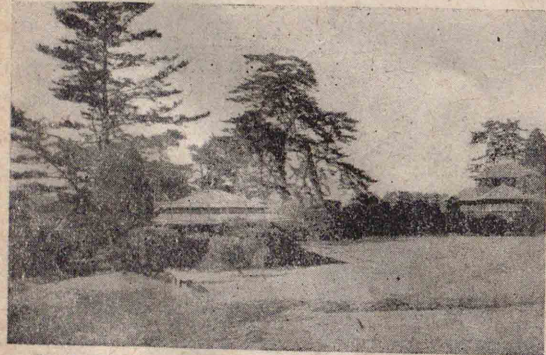




水勢の勢水

等の自然美とがよく調和し、風景のよい國立公園である。電車ケーブル・自動車等の遊覽機關も備つて、觀光の客が常に多い。

**茨城縣** **水戸市**は名高い舊城下町で、梅で知られた**常磐公園**がある。**日立市**は著名な鑛山を控へて工業が榮え、**筑波山**は眺望がよいので名高い。**土浦市**は霞浦に臨み、繭

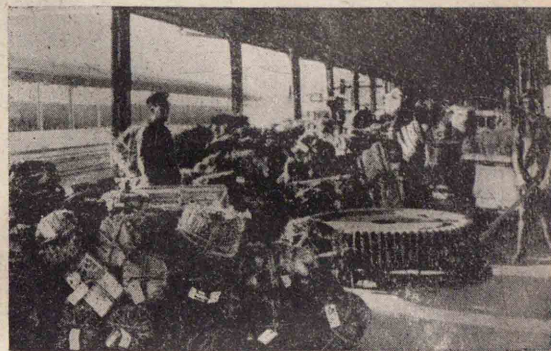


常磐公園の右の方で二階建は好文亭

地である。

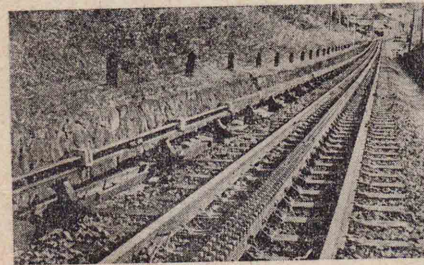
**栃木縣** **足利市**は、**佐野**と共に名高い機業地で、**栃木市**は大麻を集散し、**宇都宮市**は附近から干瓢を産する。日光は東照宮の門前町で、華麗な社殿と風景とで名高い。

日光は東照宮の建築美と、男體山中禪寺、湖華嚴瀧、大谷川



鑄物の積出川口驛に集つた鑄物

Iプ式隧道で清水峠を越え、信越線はアプト式軌條で、碓氷峠を越える。**前橋市**は繭の取引及び製絲が盛で、**伊勢崎市**は銘仙の産に名高く、**桐生市**は關東第一の機業地である。榛名山腹にある**伊香保**は、草津と共に名高い温泉場で、よい靜養



碓氷峠のアプト式軌道

Iブル・自動車等の便も備り、富士山と共に國立公園である。

**埼玉縣** **浦和市**は**大宮市**と共に、東京の郊外都市として發達し、**川口市**は鑄物の産が多い。**川越市****熊谷市**は、養蠶製絲の中心地で、秩父は秩父絹を出し、**長瀨**の勝地に近い。所澤は我が航空術の發祥地である。

**群馬縣** **高崎市**は鐵道の要地で、上越線はル



千葉に醫科大學がある

千の葉の縣の海岸に於ける漁業の光景

の集散が多く、この東南は大小の湖水が群をなし、利根川の水と通じて、水運の便がよく、水郷と呼ばれる。潮來はその中心で、附近に鹿島、神宮、香取、神宮(千葉)がある。

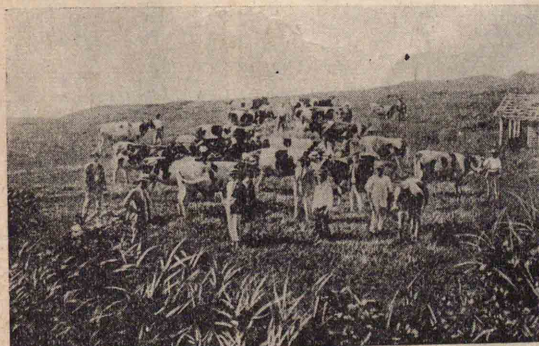
千葉縣 銚子市は野田と共に醤油の醸造地として知られ、又鯉節の製造が盛で、附近の九十九里濱は鱈の産地として多し。成田には名高い不動堂がある。

千葉市は交通の要地で、市川市、船橋市は東京の郊外都市として發達した。房總半島の沿岸には、館

山市、勝浦等の靜養に適する漁港がある。

豆南諸島 伊豆七島、小笠原諸島、硫黄島

諸島、南鳥島等があり、共に東京府で管轄してゐる。多くは富士火山帯に屬する火山島で、大島には三原山の活火山がある。伊豆七



大島は牛乳を飼ひ乳製品を出す

父島は要塞地帯である

島には漁業、牧牛が行はれ、又椿油の特産がある。小笠原諸島は氣候が暖で、甘蔗が主産物であるが、近年冬に野菜を栽培して京濱地方に送る。父島の二見は、日米兩國の海底電線接續地である。

### 第二章 奥羽地方

面積 約 2,000 平方  
人口 約 六九八萬

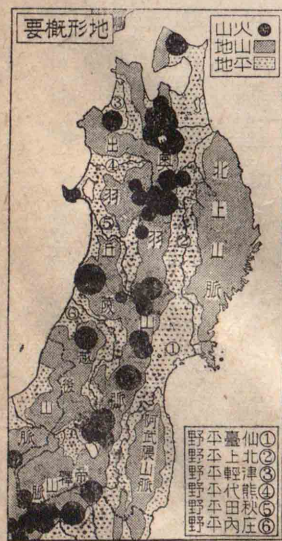
### 通説

東北地方ともいひ、面積は關東地方の二倍よりも廣いが、人口は二分の一にも足りない。行政上六縣に分ける。

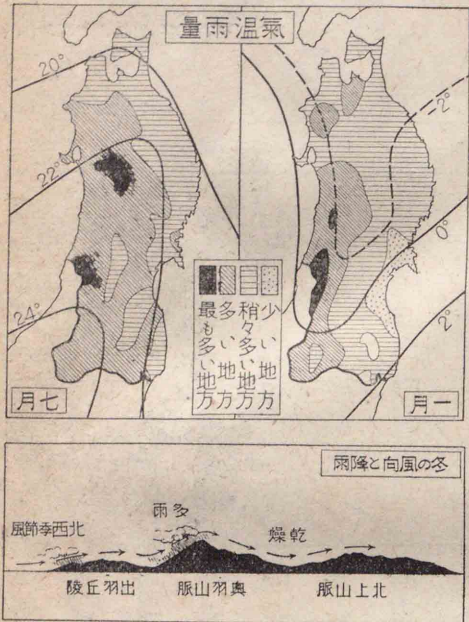
地勢 三條の山脈が南北に並び、その間に二條の低地帯を

挟んで、地形を中部、東部、西部

に分ける。中部には奥羽山脈があり、那須火山帯の磐梯山、岩手山等が此處に噴起し、主な分水界をなしてゐる。この山地には、猪苗代、田



- 福島縣 (福島市)
- 宮城縣 (仙臺市)
- 岩手縣 (盛岡市)
- 青森縣 (青森市)
- 秋田縣 (秋田市)
- 山形縣 (山形市)

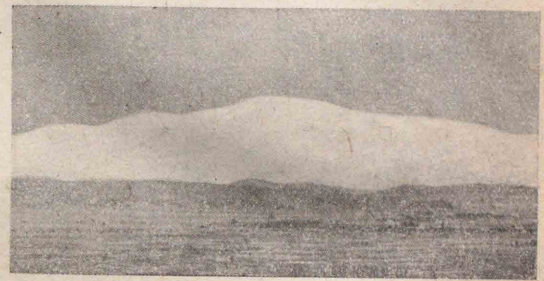


陸奥灣の大  
湊・大間崎及  
び龍飛崎の  
附近は要塞  
地帯である

秋田・庄内等の平野が発達して  
ある。  
太平洋岸の一部は、出入の多  
いリヤス式海岸を作り、牡鹿半  
島がその南部に出で、仙臺灣を  
抱へてゐる。日本海岸は、奇景に富む男鹿半島が、八郎潟を圍む外、多  
くは砂濱である。北方の津軽海峡は、國防  
上の要地である。陸奥灣がある。

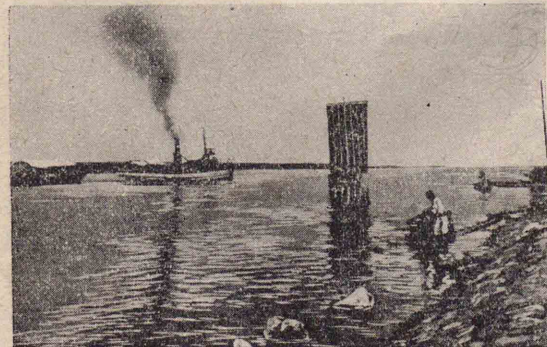
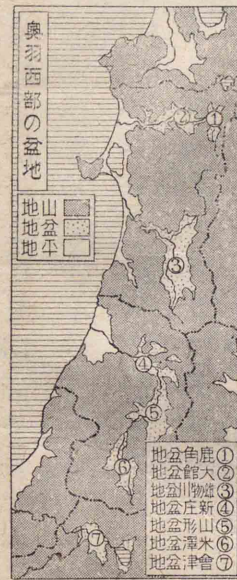
氣候 本州の中で、氣温が最も低く、太  
平洋岸は、千島寒流の影響を受けて、日本  
海岸よりも一層寒氣が強い。日本海岸は  
對馬暖流と季節風との關係で、冬は雪が  
深く積り、交通を妨げることが多い。

産業 農業 庄内・秋田・津軽・仙臺等の



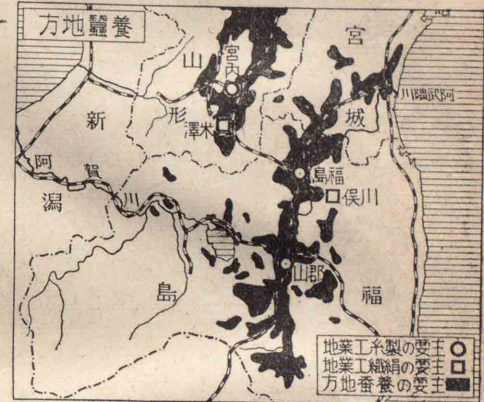
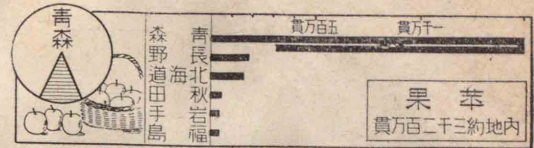
山形市附近の景色。遠望し、たし、月山の景色。澤十和田等の景色のよい湖水が多い。東部には  
北上阿武隈の二山地がある。共に高原性で、中部  
山地との間に、長い縦谷を挟み、北上阿武隈の二  
川が此處を流れ、下流に廣い仙臺平野がある。  
西部には越後山脈出羽丘陵があり、鳥海火山  
帯が此處を通じて、岩木  
山・鳥海山・月山等の名山  
を起してゐる。この地方  
には盆地が多く、岩木米

代雄物最上阿賀等の諸川が、横谷をなして  
丘陵を  
横ぎり、  
下流に  
は津軽



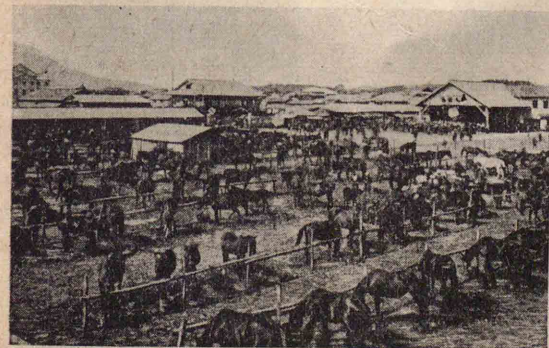
るあで脈動大の輸運は流下で川上最





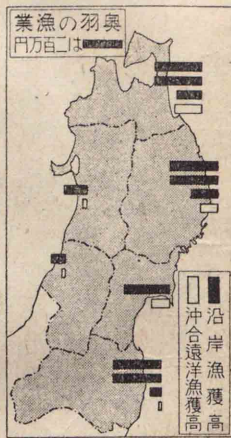
平野は、米を多く出し、馬鈴薯、大豆、粟等の耕作は、廣く各地に行はれる。その他、苹果、青森、櫻桃（山形、福島）等の美果を多く出す。福島、山形の二縣には、養蠶業が發達してゐる。〔**牧畜業**〕東部の原野は、馬の牧畜が盛に行はれて、重要な軍馬の供給地となり、馬市が處々に開かれる。〔**林業**〕森林の廣

いことは内地第一で、秋田縣、青森縣等には、美林があつて良材を出し、岩手縣には薪炭の産が多い。〔**水産業**〕沿海は水産に富み、太平洋岸は、鮪、鰹、鮑等の産が多く、又捕鯨も行はれる。〔**鑛業**〕秋田縣には小坂を始め、名高い鑛山が多く、盛に銅、銀等を産し、又新



盛岡の馬市で人と馬が雑沓を極める

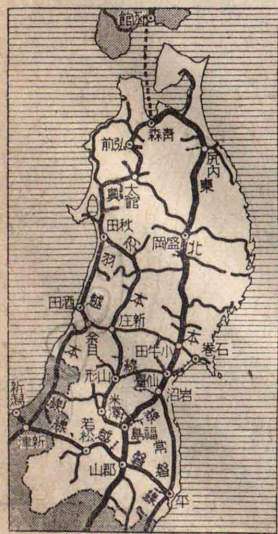
福<sup>(1)</sup>島・青森間  
秋<sup>(2)</sup>田・新津間  
新<sup>(3)</sup>津・平間  
余<sup>(4)</sup>目・小牛田間



潟縣と共に、我が國の二大石油産地である。釜石、岩手は内地第一の鐵山で、常磐炭田（福島）には石炭の産が多く、硫黄の産地も處々にある。〔**工業**〕稍、大規模に行は

れるのは、製絲、機業、製材等で、その他は、漆器、陶器等の手工品に過ぎない。〔**商業**〕地方的の市場のみで、大中心がなく、殆ど東京の商圏に屬する。青森、船川、港、鹽釜、釜石、八戸等は、何れも貿易港であるが、取引は未だ盛でない。

〔**交通**〕主要道路は、南北に縦貫する。鐵道は東北常磐、奥羽、羽越の諸線を幹線とし、磐越線、陸羽線等は、重要な東西横斷線である。青森は鐵道の要地で、函館との間に鐵道連絡船を通ずる。海運は、近海航路の船が寄港するに過ぎない。





若松に松若

處誌

福島縣 東部の平市は常磐炭田の中心都邑で阿武隈川に臨む福島市は生絲羽二重の取引が盛に行はれ川俣は羽二重の産出で名高い郡山市は製絲紡績等の工場が七多く三春白河は牧馬の一中心で名津盆地の若松市は維新の戦蹟地で市及び附近から漆器陶器等を産する。

磐梯山は明治二十一年に大爆發をなし山麓に檜原湖吾妻湖等を作つた南麓の猪苗代湖は發電に利用せられその電力は附近に工業を發達せしめ又遠く京濱地方に送電する。



昔から名高の仙台市芭蕉の辻の光景

仙臺には東北帝國大學がある



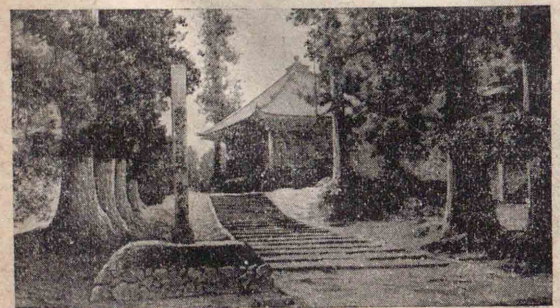
松島灣に在る散在諸島を展望し眺望の光景

松島灣には大小無數の島が散在し昔から日本學術文化の中心をなし埋木細工の名産がある鹽釜はその外港で水産物を集散し又松島遊覽船の發着地である石巻市は北上川の口にあつて漁船が多く集る。

松島灣には大小無數の島が散在し昔から日本三景の一といはれ奥羽屈指の勝地である。

岩手縣 北上平野

盛岡市は馬市で名高く又鐵瓶の名産がある東海岸の釜石市はリヤス式の海灣に臨み製鐵と漁港で知られてゐる。

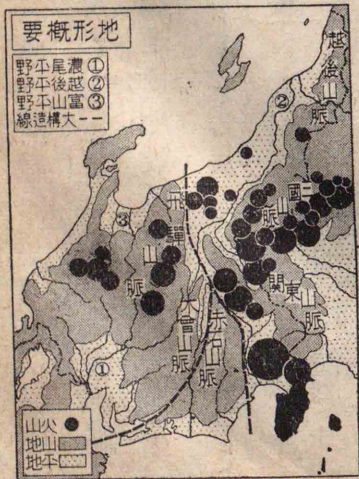


藤原時代の代表建築中尊寺の金色堂

青森縣 八戸市は商工業地で又漁港である

静岡縣	愛知縣	岐阜縣	山梨縣	長野縣	新潟縣	富山縣	石川縣	福井縣
(静岡市)	(名古屋)	(岐阜市)	(甲府市)	(長野市)	(新潟市)	(富山市)	(金沢市)	(福井市)

地勢 中央高地・南部低地(東海地方)  
北部低地(北陸地方)の三部にわかれる。



山形縣 米澤山形の二盆地は養蠶が行はれ、米澤市は古くから著名な絹織の産地で、山形市は附近から櫻桃を出す。庄内平野の酒田市は昔から米の集散地として名高く、鶴岡市は天鵞絨を産する。

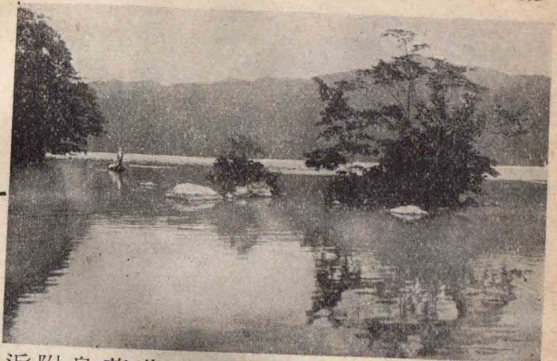


第三章 中部地方

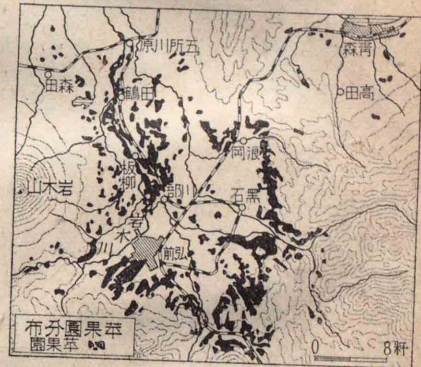
面積約七、〇〇〇方  
人口約 一、二〇萬

通説

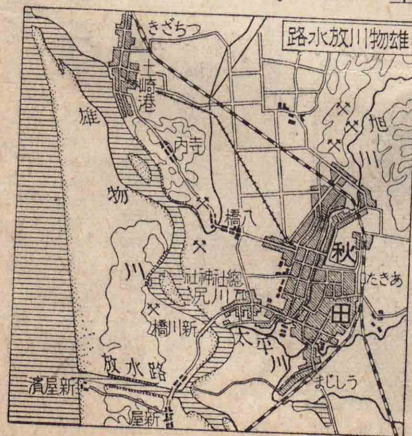
本州の中部を占め、京濱と阪神との中間にあつて、昔の東海東山兩道の一部と、北陸道とを含む。行政上九縣に分ける。



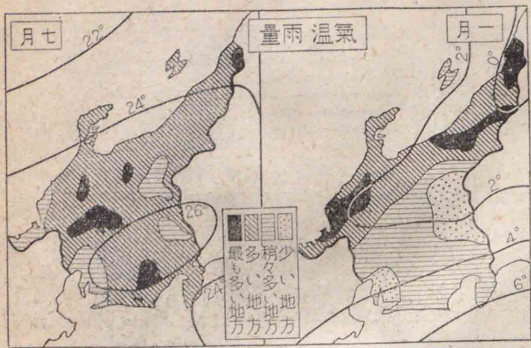
勝景に名高い和田湖の蓬萊島附近



秋田縣 米代川流域の小坂尾去澤等は、名高い鑛山で、能代市は製材が盛に行はれる。秋田市は米の集散が多く、附近に石油の大産地を控へ、土崎港にその製油所がある。



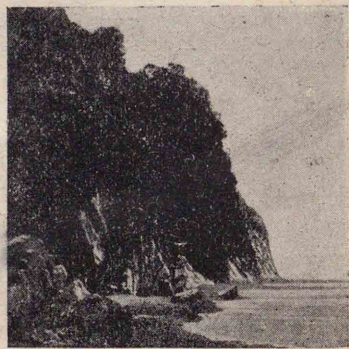
る。三本木原には軍馬の牧場があり、十和田湖は湖沼美で名高い国立公園である。青森市は交通の要地に位し、水産物・木材等の集散が盛に行はれ、対岸の大湊は海軍要港である。津軽平野は全国第一の蘋果産地で、弘前市はその集散の



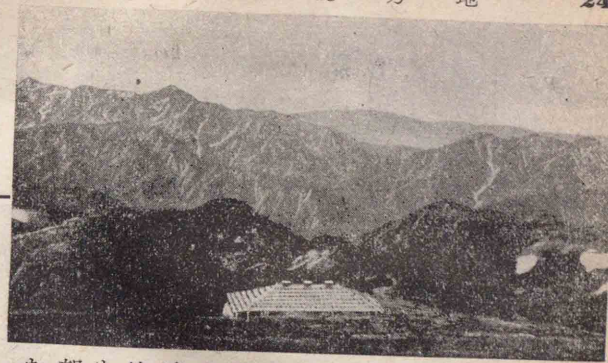
積雪の如き峻崖をなす處もある。中部地方の河川は、上流中流に峡谷美で名高い處が多く、又重要な水電地帯で、壯大な發電所が處々にある。

**氣候** 太平洋方面は溫和で雨が多く、冬向の良好な靜養地もある。日本海方面は冬に雪が深く積つて、産業交通に及ぼす影響が、少くないが、

北陸地方には、越後・富山・加賀・福井等の諸平野があり、信濃川・阿賀川・黒部川・神通川・九頭龍川等が此處を流れ、越後平野は、我が國有數の廣い平野である。海岸は西に若狭灣があり、中部に能登半島が突出して富山灣を抱く外、概ね砂濱であるが、親不

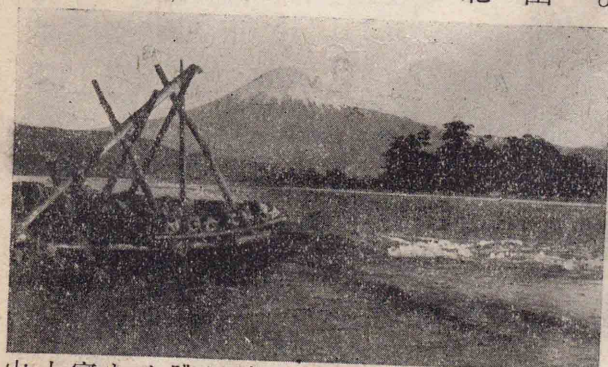


崖峻の知不親ぶ偲を昔



白中央高地の東部は、北彎山系に屬し、越後・三國・關東の諸山岳脈が連り、西部は南彎山系に屬し、飛驒・木曾・赤石の三山脈が殆ど平行してゐる。南彎の山地は、地貌が雄大で日本アルプスと呼ばれ、殊に飛驒山脈には、白馬岳・槍ヶ岳等の外、乗鞍火山帯に屬する御岳・立山等も噴起し、飛驒山脈の西方には、白山山火山帯の白山が聳えてゐる。南北兩彎の間には、富士火山帯があつて、富士山が噴起してゐる。

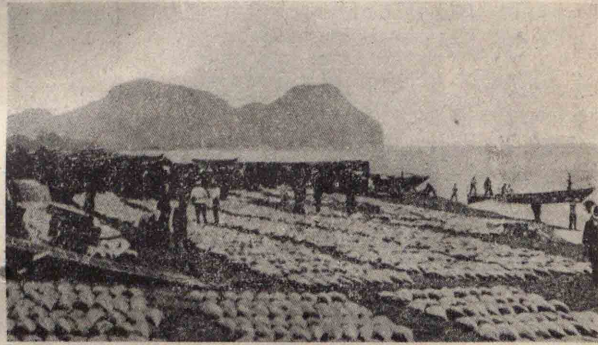
東海地方には、平野と臺地が續いて、富士・大井・天龍・木曾等の諸川が、此處を貫流し、木曾川の下流には濃尾平野がある。海岸は、東部に駿河灣、西部に伊勢海があり、その間は、沿岸の平直な遠州灘である。



山士富ため眺に遙へて隔を流急の川士富

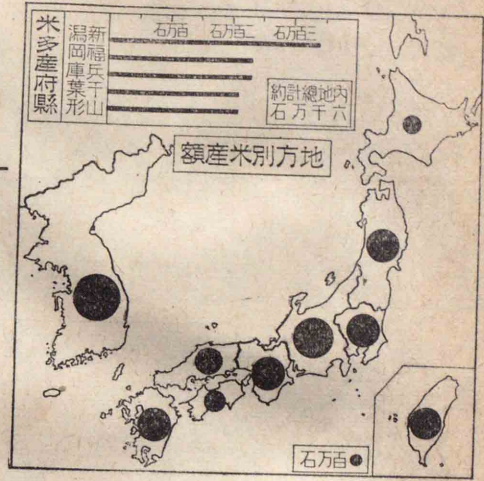
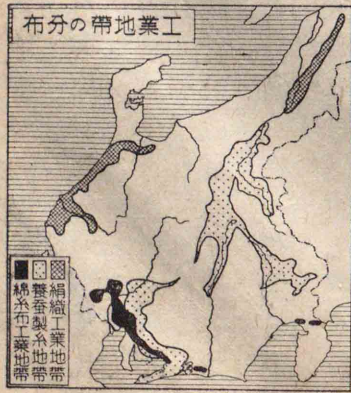
新津附近を  
新津油田を  
岡附近を東  
山油田を柏  
附近を西山  
油田といふ

である。その他、金、銅、鉛等の小鑛山が處々にある。**工業** 中央盆地は、製絲業が發達し、北陸地方は、絹織物を多く産する。東海地方は、綿毛等の紡織工業が盛で、名古屋を中心



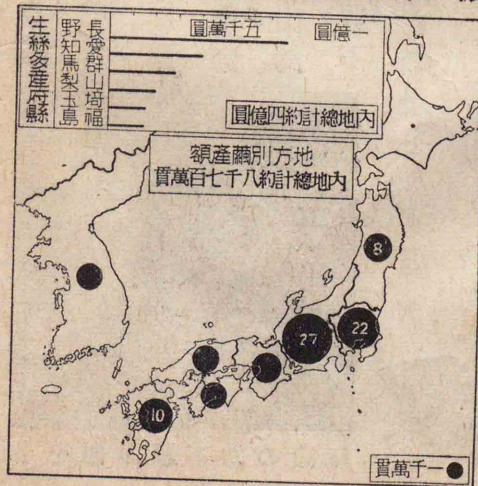
焼津の海岸に陸揚げされた光景

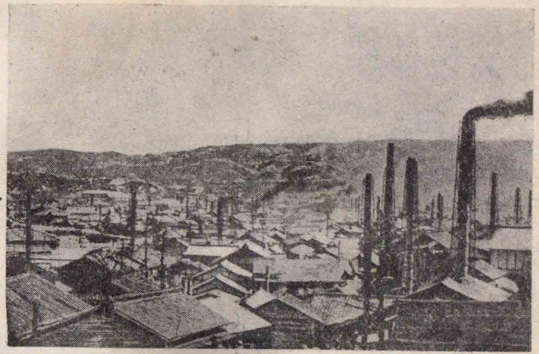
井川等の上流地方は、重要な木材供給地である。津焼津に木曾の檜材は、昔から名聲を博してゐる。**水産業** 太平洋方面は、鯉、鱒等の漁獲に富み、静岡縣の鯉節産額は、全國第一に位置し、焼津はその中心で、又遠洋漁業の根據地である。日本海方面では、鱒、柔魚等の漁獲が多い。その他、鰻（濱名湖・鯉（長野縣・海苔（三河灣等の養殖が行はれる。**鑛業** 新潟縣は、



を産する。長野、愛知、岐阜、山梨の諸縣には、桑畑が多く、養蠶が盛に行はれ、岡谷を中心とする諏訪湖畔の一帯は、全國第一の製絲地である。牧畜は盛でないが、愛知縣の養鶏は名高い。**林業** 森林は中央山地に多く、木曾川、天龍川、大

スキーの適地が多い。中央高地は氣温が低く、輕井澤、上高地等は、夏の靜養地として名高い。**産業** **農業** 越後、富山、濃尾の諸平野は米の大産地で、内地の主な米庫である。静岡縣の丘陵には茶園が多く、全國第一の茶産地で、海外にも輸出する。駿河灣岸には蜜柑、梨、山梨縣には葡萄、越後平野には梨の産が多く、濃尾平野では、多く野菜

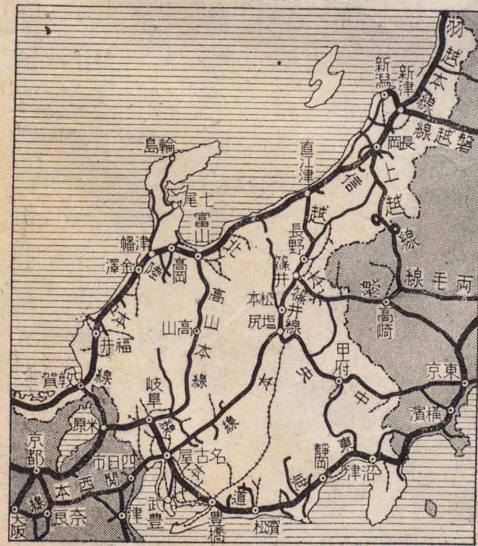




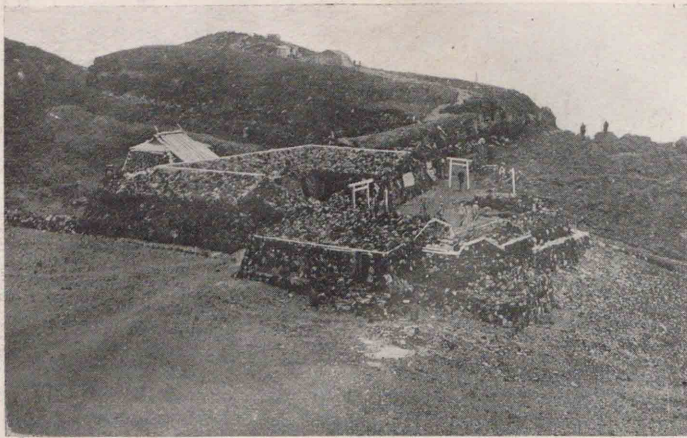
製とする一帯の地方は、我が四大工業地帯の一で、各種の工  
 陶工場が多い。瀬戸（愛知）から多治見（岐阜）方面に互る地方は、我  
 の場が國第一の製陶地帯で、その他、九谷焼（石川）、漆器（石川、静岡）  
 突銅器（富山、新潟）等の産がある。 **商業** 名古屋は、東京と大  
 が阪との間に位する大商業地で、港の設備も整つて、貿易額  
 多くが頗る多い。開港場には、清水（静岡）、武豊（名古屋）以上愛知、敦  
 賀（福井）、七尾（石川）、伏木（東  
 瀬戸、岩瀬（富山）、新潟、夷（以上新  
 戸、岩瀬）等がある。

(1) 名古屋・大阪  
 (2) 米原直江津  
 (3) 岐阜・富山間

**交通** 昔は京都と江戸との連  
 絡地で、東海道中山道等の主要な  
 道路を通じてゐたが、今は鐵道が  
 普く敷設され、表日本には東海道  
 線、關西線があり、中部には中央線

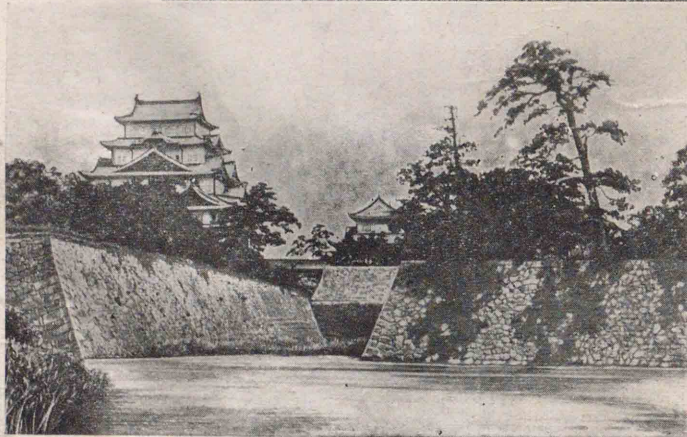


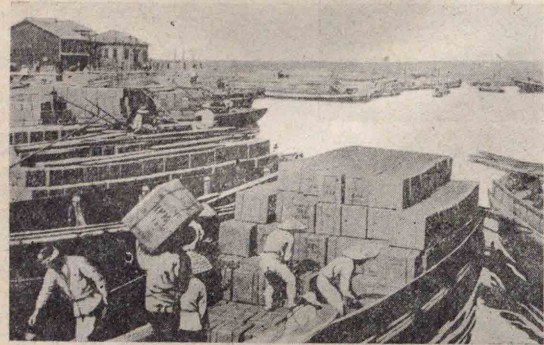
富士山の頂上 石塊を壘  
 積したのは淺間神社の奥宮  
 で夏季には登山者が群集す  
 る



静岡の茶園 静岡縣は一  
 帯に茶園が多く牧ノ原はそ  
 の中心である圖は茶園に於  
 ける初夏の光景

名古屋城 天守閣の高さ  
 は三十七米その上に輝く名  
 高い金の鯨は高さ約二米八





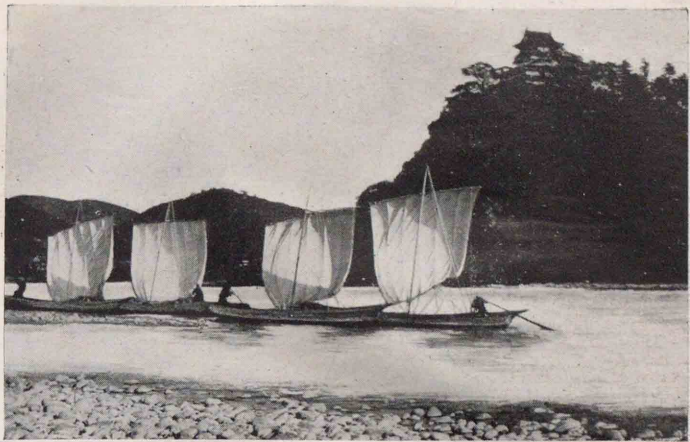
箱詰の茶を清水港から輸出する風景

静岡県 伊豆半島には熱海市伊東修善寺等を始め、名高い温泉町が多く、南端に下田の港市がある。沼津市は静養地として知られ、静岡市は茶の集散が盛で、又漆器竹細工等を出す。東部に久能山の勝地があり、苺の産が多い。清水市は三保松原を控へて、遙に富士山を眺め、風景のよい商港で、茶の輸出が盛である。濱松市は新興の工業都市で、

處 誌

があり、裏日本には羽越線・信越線・北陸線が通じ、又表裏日本を連ねる高山線も完成した。海運は名古屋を中心として盛に行はれ、敦賀は大陸に對する要地である。名古屋には航空港、又その附近には、壯大な對外無線電信局の送信所がある。

日本ライン 木曾川の清流に臨んで白壁の犬山城が、時ち去來する白帆と共に一幅の畫をなす

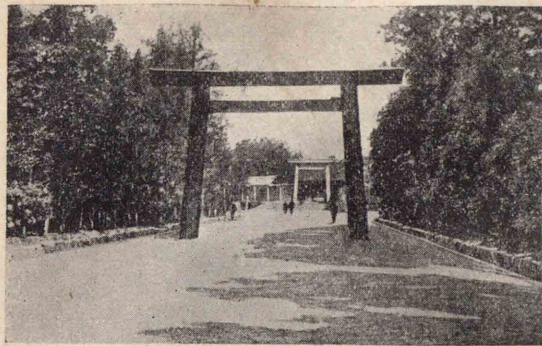


寢覺の床 木曾川の上流にあつて累々たる巨岩の奇と之に激する水熊の妙とで名高い

善光寺の本堂 四時共に遠近より參詣者が多く長野市を佛都として發達せしめてゐる



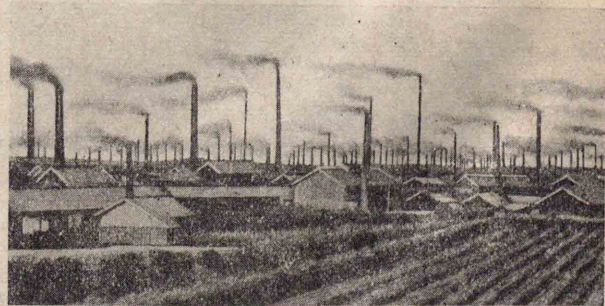
名古屋に帝國大學がある



綿織物・樂器等を産する。

富士山は箱根山と共に國立公園で、山容の秀麗なので世界に名高い。山麓に小山(紡績)大宮(製紙)等の工業地があり、北麓には富士五湖があつて風景がよく、夏は登山者が多い。

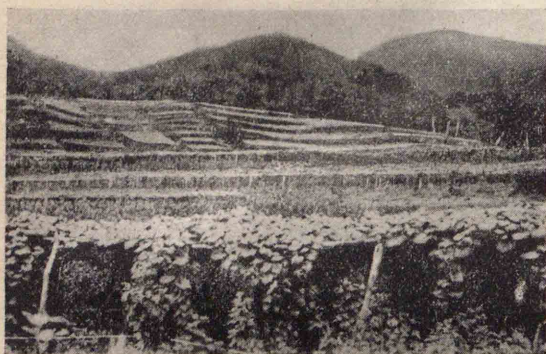
愛知縣 豊橋市は製絲業が盛に



豊橋の製絲工場に於ける煙突の盛観

鳥居は岡崎市には人絹の工場がある。安城を中心とする平野は、田園が拜よく整ひ、各種の農業養鶏が盛で、日本デンマークと呼ばれる。名古屋市は徳川氏親藩の城下町で、交通上の要地に當り、大工業地帯の中心地で、綿絲綿織毛織時計陶器等の工場が多い。市内に名古屋城熱田神宮等があり、附近には桶狭間小牧山殿等の古戦場が多い。瀬戸市は陶磁器、一宮市は毛織、半田市

桂川に架けた猿橋は古來奇橋で名高く又甲府の北方に昇仙峡の勝地がある



は清酒・酢等の産がある。

岐阜縣 岐阜市は鶺鴒に名高い長良川に沿ひ、絹織毛織等を出す外、提灯團扇等の名産があり、大垣市からも毛織物を出す。西境の關原は古戰場で、養老瀧は孝子の傳説



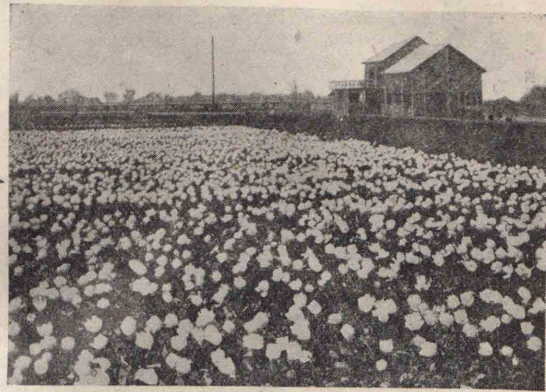
夏の夜の美観で名高い長良川の鶺鴒飼

山梨縣 東部の郡内地方は、甲斐絹の名産地、谷村はその中心である。甲府市は製

園葡萄の勝沼は、葡萄の主産地で、南方の身延は、日蓮宗の靈地である。

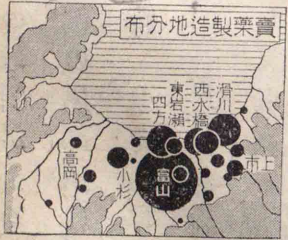


新潟に醫科  
大學がある

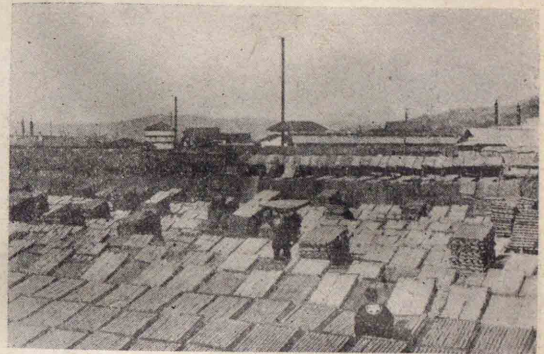


様市は繭蠶卵紙の取引が盛で、東部の輕井澤は、近くに  
淺間山の噴煙を眺め、名高い避暑地である。  
新潟縣 高田市は積雪の深いので名高く、冬はス  
キーの爲に賑ふ。長岡市は米石油の集散地で、柏崎市  
には製油所がある。三條市は金屬製品を出し、信濃川  
の口に臨む新潟市は、將來滿洲  
國との連絡地として期待され  
る處で、市内に製油工場があり、  
園卉附近に花卉の栽培が盛である。

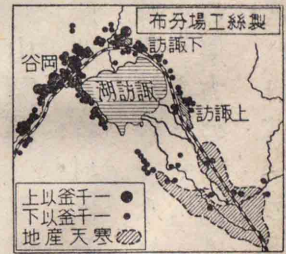
佐渡島には、昔から名高い金山  
があり、夷はよい港である。  
富山縣 富山市は賣藥の製  
造で名高く、廣く内外に行商人  
を出す。高岡市は銅器漆器を産



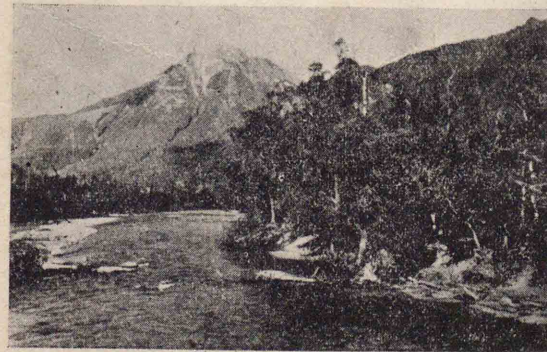
場工造製藥賣の堂貫廣るあに市山富



諏訪湖畔は全國第一の製絲地で、岡谷市はその中心である。松本市は養蠶の場造製の天寒るけ於に近附湖訪諏



大中心で、繭蠶卵紙の取引が盛に行はれ、西  
方には飛驒山脈が高く連り、その大部は國  
立公園で、中部山岳公園と呼ばれる。長野市  
は善光寺の門前町として發達し、近くに川  
中島の古戦場や、姥捨山の名所がある。上田



む望を岳焼らか川梓)地高上の夏

長野縣 木曾川に沿ふ  
福島は、御岳の登山口に當  
り、近くに寢覺床の奇景が  
ある。飯田市は養蠶の一中  
心で、附近に天龍峽がある。

金澤に醫科大學がある

七尾に和倉溫泉がある

福井の東方に永平寺がある



日し、又米の取引が多く、伏木はその積出港である。東部の黒部川は、峡谷の美に名高い。石川縣 金澤市は北陸第一の大都會で、絹織物(羽二重、人絹織、富士絹、陶器(九谷焼、漆器)等を出し、又名高い兼六園があり、小松園中心である。山中漆器(山代、九谷焼)は、共に名高い温泉地である。能登半島の輪島は、輪島塗を出し、七尾市は商港で、又漁業の一中心である。福井縣 福井平野は輸出羽二重、人絹織等の産出が多く、福井市はその大中心である。



福井市の於ける羽二重製織工場内の部

滋賀縣 京都府 奈良縣 三重縣 和歌山縣 大阪府 兵庫縣

(大津市) (京都市) (奈良市) (津市) (和歌山市) (大阪市) (神戸市)

る。武生は和紙、蚊帳等の特産を出し、敦賀市は大陸と連絡上の要地を占め、小濱は漁業の一中心である。

#### 第四章 近畿地方

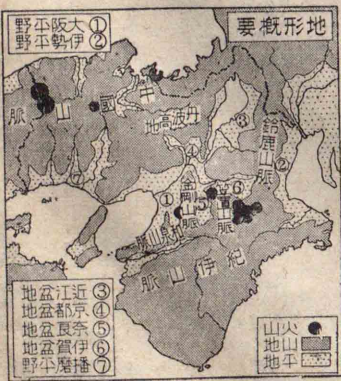
面積約三、〇〇〇方軒  
人口約 一、三九萬

#### 通説

我が建國以來、永く政治の中心となつてゐた地方であるから、史蹟名所が甚だ多い。今は近代的の商工業が大いに發達し、西日本に於ける文化の中心をなしてゐる。行政上二府五縣に分ける。

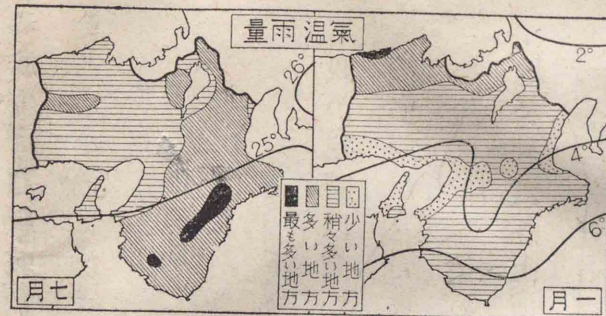
#### 地勢

南部山地、中央盆地、北部山地に分ける。南部山地は、紀伊山脈がつて土地が高く、紀川、楠田川、熊野川が此處を流れ、海岸は小屈曲に富む。中央盆地は、地壘(山脈)と地溝(盆地)との集まりで、地壘は伊吹



舞鶴灣・紀淡  
海峽・鳴門海  
峡附近は共  
に要塞地帯  
である

伊吹山は冬  
にスキーが  
盛である

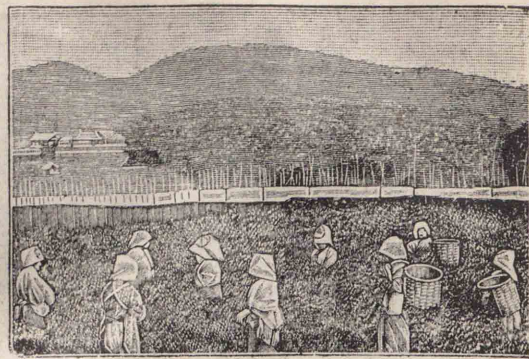


鈴鹿・笠置・金剛等の山脈をなし、その間に多くの盆地を挟み、東西の海岸には、伊勢・大阪の二平野がある。淀川は諸盆地の水を集めて、大阪灣に注ぐ。北部山地は高原性で、朝來川・由良川・市川・加古川等が流れ、南に播磨平野が開けてある。瀬戸内海の沿岸は、概ね美しい砂濱で、日本海の沿岸には、舞鶴・宮津の兩灣が、深く彎入してある。

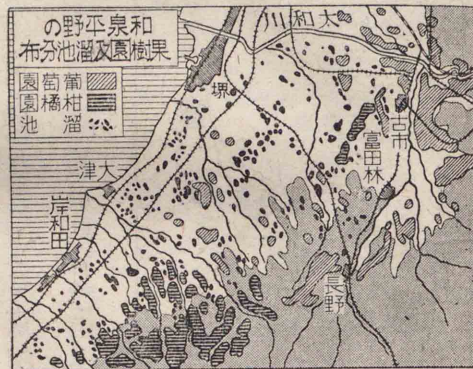
**氣候** 南部は伊豆半島に似て、更に高温多雨であるが、内部の盆地は、寒暑の差が稍、著しい。瀬戸内海の沿岸は、冬も割合に暖で雨が少く、西部は製鹽地帯の一部である。日本海岸は冬に雨雪が多く、陰鬱な天氣が続く。

**産業** **農業** 平野には米の産が多く、近江盆地・伊勢平野では、盛に菜種を耕作する。京都盆地を中心として、三重・奈良等の丘陵には茶畑が

京都盆地を  
繞る臺地に  
は竹林が多  
く、その竹材  
及び竹は附  
近の松茸と  
共に一産物  
である



宇治の茶園は白根の覆いであ



多く、殊に宇治は、古來銘茶の産地として名高い。紀伊半島の西部から大阪平野にかけては、蜜柑・葡萄等の栽培が盛である。北部地方では、多く牛を飼ひ、それが神戸牛として名高く、養蠶も各地に行

が繁茂し、吉野・熊野等は良材を出す。熊野川・紀川はその輸送が盛で、河口に製材町がある。**水産業** 紀伊半島の近海は、鱈・鯉・鯪等を産し、又眞珠貝の養殖が行はれる。瀬戸内海の沿岸には鹽田もある。



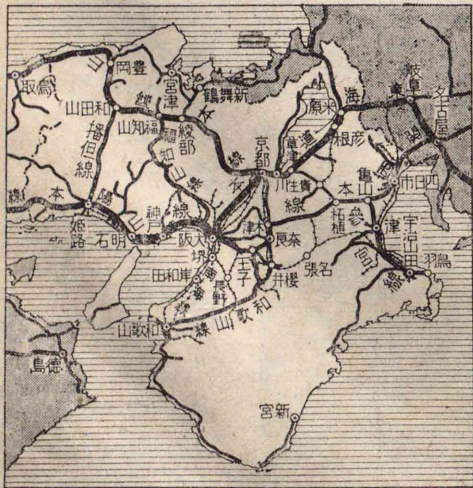
筏に眞珠貝を入れたる箱を吊す

**鑛業** 鑛産

神<sup>(1)</sup>戸下關間  
京<sup>(2)</sup>都幡生間

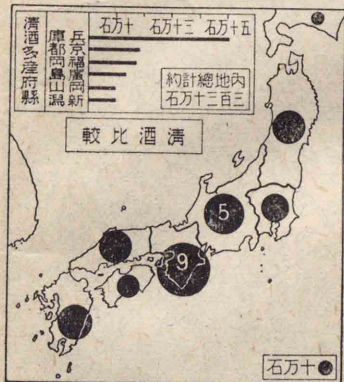
本第一である。琵琶湖畔には、人絹の工場があり、伊勢海沿岸の一部では、綿工業が行はれる。在來の工産物で名高いのは西陣織(京都縮緬(京都滋賀)麻織(滋賀)等で、陶器漆器等の産も多い。商業(大阪は内地商業の大中心で、商業範圍は東京のそれよりも廣い。外國貿易は神戸・大阪を中心とし、之に横濱を合せた三港の貿易額は、内地の約八割に當る。その他、四日市・宮津等の貿易港がある。

**交通** 京都は昔から幹線道路の集點に位し、鐵道は京阪を中心とし、東海道・山陽北陸山陰等の諸線が集り、その上、郊外電車がよく發達してゐる。航路は神戸・大阪を大中心として各地に通じ、定期航空路も大阪を中心とし、又壯大な對外無線電信局の受信所がある。

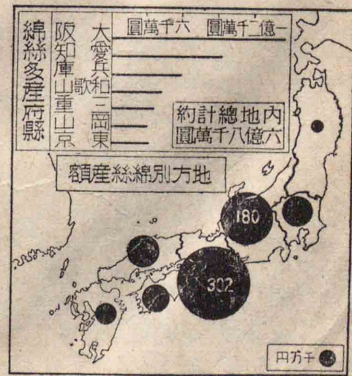
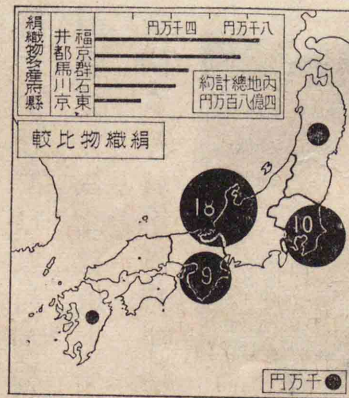


樽を標の附たい菰で包装する酒

は生野の銀と、明延の錫とが知られてゐる。工業(大阪)を中心とする大坂灣岸の一帶は、大工業地帯



で、その盛なことは京濱地方を凌ぎ、紡織製品(綿絲・綿織・毛織)・化學製品(藥品・セルロイド・石鹼等)機械類等の産が多く、中でも綿工業は最も發達し、又灘地方の清酒は、量も質も日





琵琶湖の浮御堂

處 誌

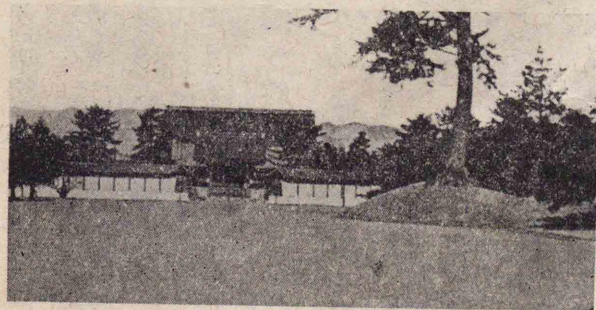
滋賀縣

長濱は縮緬を産し、米原は交通の要地である。彦根市は湖東の中心町で、八幡は蚊帳の産に名高い。湖南の大津市は、湖上交通の中心で、市の内外に人絹の大工場が多い。

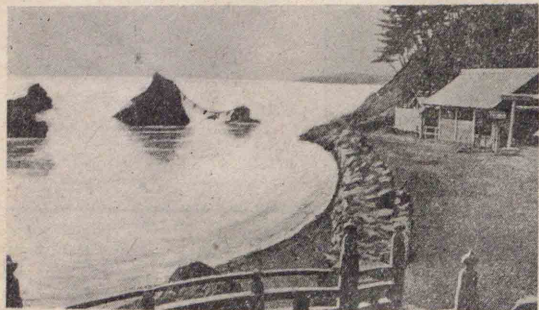
琵琶湖は國內第一の大湖で、宇治川や疏水によつて排水する。湖中には竹生島を始め勝地が多く、所謂近江八景も湖畔に散在する。この豊富な水は、人絹工業の發達を促した。

京都市

京都市は長く我が帝都となつてゐたが、今も學術の中心地で、又西陣織、友禪染、清水焼等の美術的作品を出す。市内には御所、桃山御陵を始め、名高い社寺古跡が到る處に



京都市御所遠く御前門をかたし景光



伊勢神宮には内宮(天照大神)と外宮(豊受大神)がある

散在して、古都の趣が深い。福知山市は盆地の中心町で、舞鶴灣には、商港の舞鶴市や、軍港の東舞鶴市がある。天橋立は、長汀青松の勝に名高く、峰山は縮緬の産地である。

奈良縣

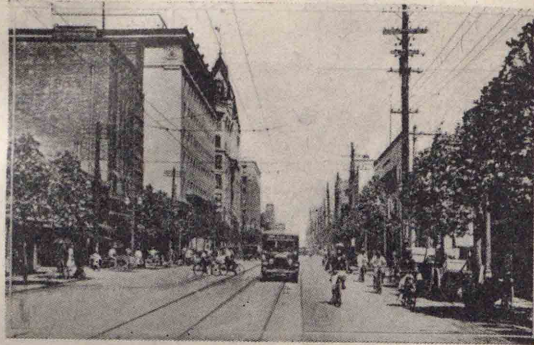
奈良市は平城京のあつた所で、



法隆寺の全景(塔と並ぶの金堂)

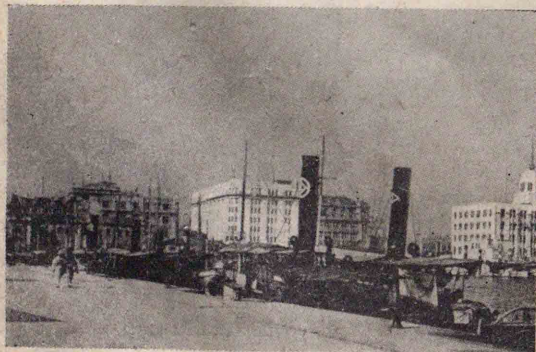
夫婦岩が岸に近しく、並ぶ御陵があり、吉野は吉野朝廷の史蹟と、櫻花とで名高い。三重縣桑名、四日市、津等の諸市は、何れも古い港である。が、今は南方の松阪市と共に、綿工業が行はれる。宇治、山田市は、伊勢神宮鎮座の聖地で、參拜者が常に多い。近くに二見浦

大阪に大阪  
城址四天王  
寺帝國大學  
商科大學工  
業大學等が  
ある

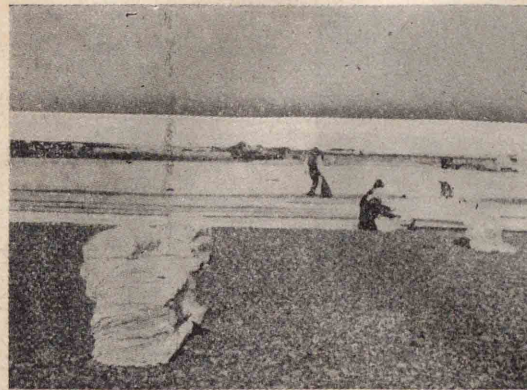


百貨を呈して煙の都ともいはれる。船舶の出入  
店が甚だ多く、鐵道や航空路も此處に集り、西  
や日本に於ける經濟上の大中心である。附近  
大の濱寺、箕面は、市民の遊樂地で、布施、豊中、池  
田(清酒吹田(ビール)等の諸市は、市に接近し  
並ぶて發達した。堺市は、  
大阪古い港で、今は岸和  
の堺市と共に、綿工業  
筋田が發達し、又セルロ  
通が發達し、又セルロ

イド製品、足袋、刃物等を出す。  
兵庫縣 尼崎市は綿織硝子等を出し、西  
宮市は灘地方の中心で、清酒の大産地であ  
る。この後方に有馬、寶塚の温泉がある。神戸  
市は港の設備がよく整ひ、大工業地の門戸



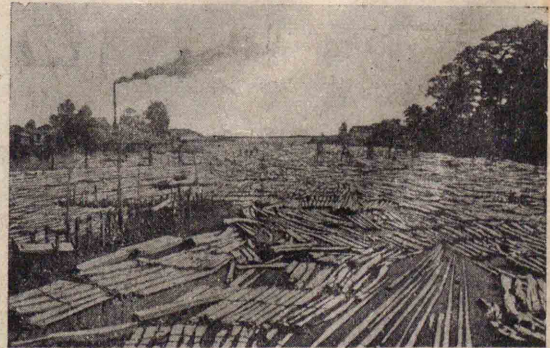
神戸港に於ける繋留場附近



朝熊山の勝地があり、鳥羽は  
風景のよい漁港である。  
和歌山縣 新宮市は木材  
の集散地で、附近に瀨八丁、那  
智瀧等の勝地がある。この地



紀方は、吉野山と共に、國立公園で  
ある。有田川の流域は、蜜柑の産  
が多く、箕島はその中心で、海南  
市は漆器を出す。和歌山市は綿  
ネルの産が多く、又木材を集散し、和歌浦の勝地がある。  
高野山は金剛峰寺があるので名高い。  
大阪府 大阪市は淀川の三角洲に位し、淀川の本支  
流や運河により、舟運の便がよく、水の都といはれ、又綿  
工業を始め、各種の大工場が甚だ多く、煙突林立の壯觀



熊野川を筏で流し新宮に集つた木材

として、原料の輸入と製品の輸出に榮え、市内には湊川神社、一ノ谷及び須磨の勝地がある。明石市は綿工業が行はれ、中央標準時標がある。姫路市は米の集散が多く、飾磨市を外港とし、赤穂は鹽田に著はれ、龍野は醬油を産する。淡路島は瀬戸内海の最大島で、洲本市を主邑とする。



標時準標央中

第五章 中國地方  
面積約三、〇〇方軒  
人口約 五七萬

通説

山陰の一部は、太古に開けたが、山陽の方が、地形氣候等に勝れ、今では山陰地方よりも人口が密集し、都市が著しく發達してゐる。行政上五縣に分れる。

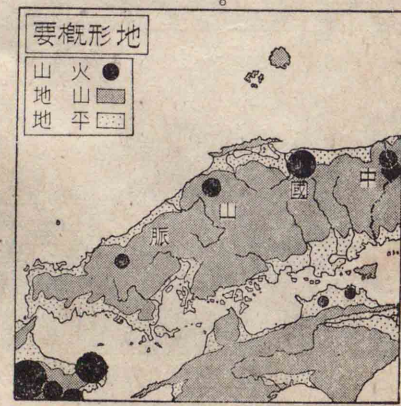
- 岡山縣 (岡山市)
- 廣島縣 (廣島市)
- 山口縣 (山口市)
- 島根縣 (松江市)
- 鳥取縣 (鳥取市)

下關海峽、廣島附近は、重要地帯である。



望遠の山大るれば呼もと士富者伯

地勢 中國山脈が東西に走り、地形を山陽山陰の二斜面に分つ。中國山脈は高原性で、白山火山帯に屬する大山が、その北側に聳え、江ノ川がこの山地を横ぎつて北流する。山陽面には、吉井川、旭川、高梁川、大田川等が

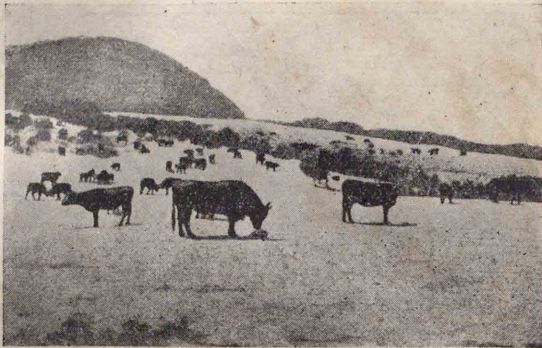


要概形地  
● 火山  
■ 山地  
□ 平地

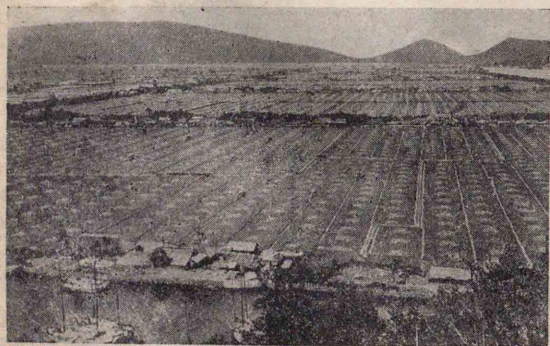
伯流れ、その下流に小平野がある。日本海岸は單調であるが、瀬戸内海岸は出入や島嶼が多く、風景が勝れてゐる。

瀬戸内海は、紀淡、鳴門、下關、豊豫の四海峽によつて外海と連り、海上には無數の島が散在して、大小の海峽(瀬戸)を作り、白砂青松は、波靜なる海面と共に、風景が極めてよく、その一部は、國立公園である。船舶の往來が常に繁く、鯛鱒

る。**鑛業** 鑛産は宇部・大嶺の石炭が最も著はれ、山口縣(秋吉臺)の大理石、内海諸島の花崗岩等も亦名高い。**工業** 瀬戸内海の沿岸地方には、近年各種の工業が發達し、中でも吳を中心とする兵器工業は最も大規

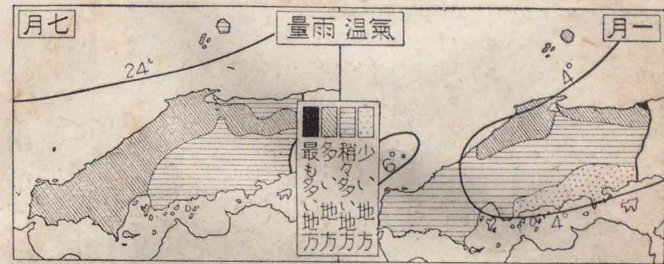


廣では、米を主産物とする。**牧畜業** 中國山縣地は、我が國第一の牧牛地で、山麓や盆地では放牧も行はれ、主に肉用として、他の地方へ移出される。**水産業** 沿海は漁利に富み、瀬戸内海の鯛・鱒、日本海の柔魚等は殊に名高い。製鹽は風土の恵を受けて、内地の約九割(四國と合し)を此處から産す

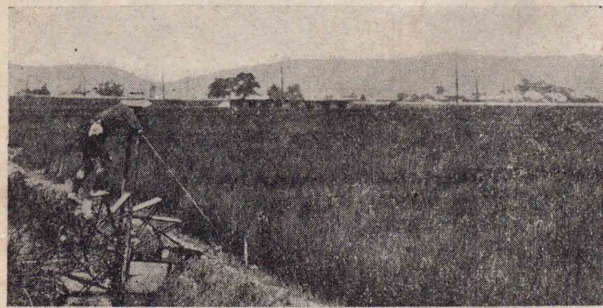
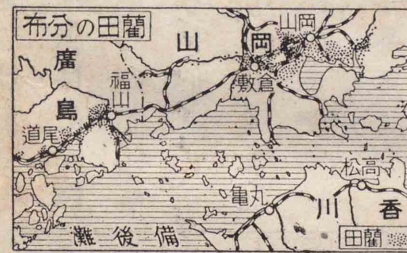


防府附近に於ける鹽田の光景

地方へも送られる。岡山・廣島の二縣では、藁草を植ゑて疊表・花筵の原料とし、山陰地方



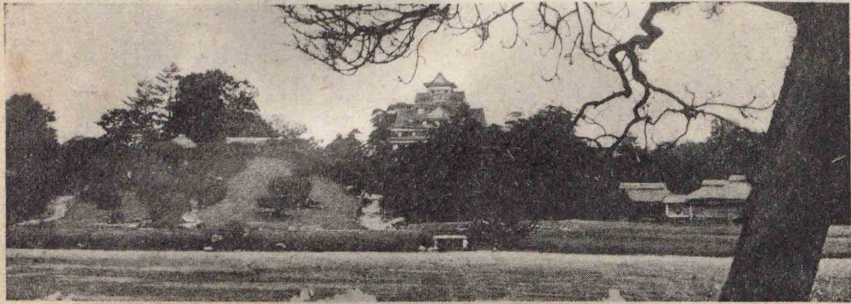
等の漁利に富み、沿岸は食鹽の大産地である。**氣候** 山陰地方の冬は、北西季節風の影響を受け、天候が陰鬱で雨雪が多く、山陽地方は、南北に山脈が連つて、濕風を遮るので、晴天が多く、本邦中で雨量の少い地方である。**産業** **農業** 山陽地方の平野は、米・麥等の産が多く、近年果樹の栽培も盛となり、梨・桃・柑橘類等は、他の



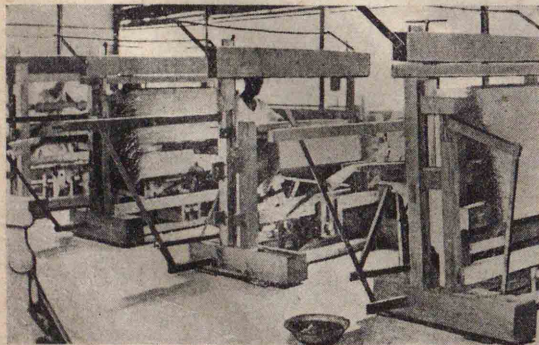
蘭田へ足踏のみ水車の水を灌いでみる



岡山に醫科  
大學がある



後樂園は林泉美で、花筵を集散する。市内に名高い後樂園がある。玉野市は四國との連絡の要地で、倉敷市玉島、笠岡等には綿糸人絹等の工業が行はれる。北方の津山市には、院、山、岡の古蹟がある。廣島縣尾道市は、狭い水道に臨んで風景がよく、福山市と共に疊表の集散が行はれる。三原市には人絹の



足踏機により疊表を製作してある

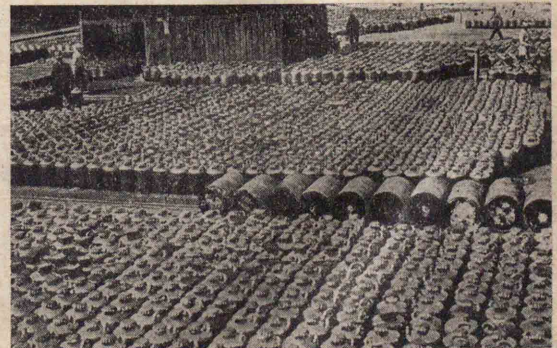
處 誌

岡山縣 岡山市は綿工業が發達し、又疊表、花筵を集散する。市内に名高い後樂園がある。玉野市は四國との連絡の要地で、倉敷市玉島、笠岡等には綿糸人絹等の工業が行はれる。北方の津山市には、院、山、岡の古蹟がある。廣島縣尾道市は、狭い水道に臨んで風景がよく、福山市と共に疊表の集散が行はれる。三原市には人絹の

倉敷・大山間  
小郡・益田間  
鳥取・津山間



模に行はれ、その他纖維工業(紡績人絹等)や、化學工業(セメント・硫酸・燃料等)造船等の新工業が處々に勃興してゐる。岡山・廣島の二縣では、農家の副業的に、疊表・花筵等を製出する。商業は、山陽方面に盛に行はれる。下關は米・水産物の大集散地で、又玉野・岡山・尾道・糸崎(廣島)・宇部・萩(山口)・濱田(鳥根)境(鳥取)等と共に、開港場である。交通 道路は山陽・山陰の二道が縦貫し、鐵道は山陽線・山陰線を幹線とし、(1)伯備山口(2)因美等の諸線が之を連ねてゐる。下關は九州及び朝鮮と、玉野は四國と、夫々鐵道連絡船を通じ、瀬戸内海は内外船舶の往復が頻繁である。小野田田に人製造肥料の硫酸瓶



小野田田に人製造肥料の硫酸瓶

廣島に文理  
科大學があ  
り、呉に第  
二海軍區鎮  
守府がある

工場がある。廣島市は中  
國第一の大都會で、人絹  
罐詰等を産し、廣島灣は  
牡蠣の養殖が盛である。  
呉市は軍港町で、壯大な



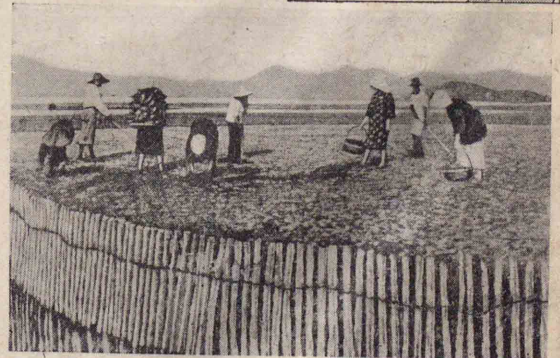
夏蜜柑を造る地へ輸送する



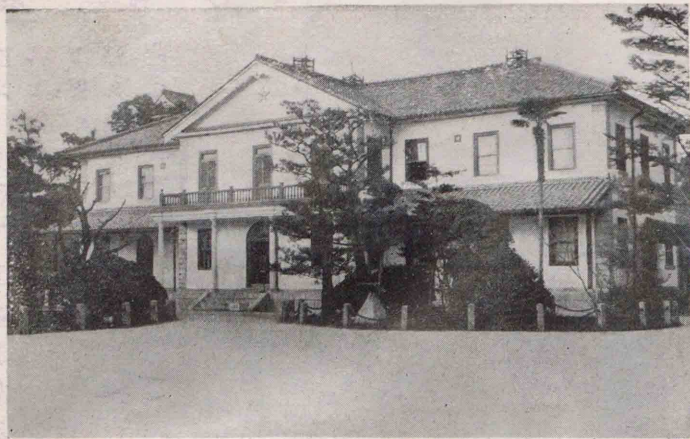
海軍工廠があり、  
島は勝地として名  
高い。

山口縣 岩國市

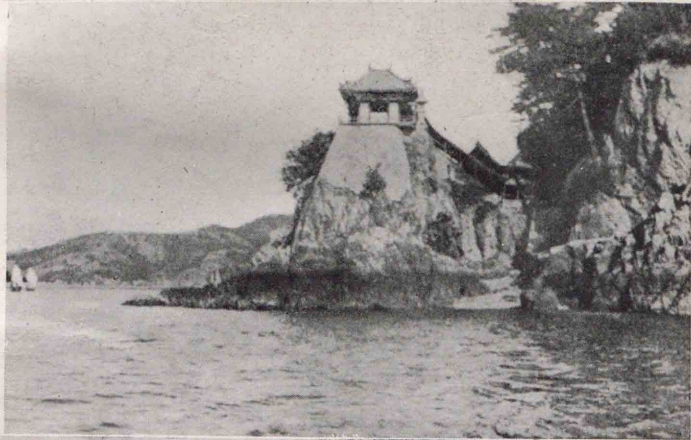
は錦帯橋で知られ、又人絹の工業が起り、徳  
山(燃料)・下松(造船)・宇部(紡績セメント)・小野田  
(セメント・硫酸等の諸市は、何れも新興の工業  
町で、防府市は製鹽の一中心である。萩市は  
夏蜜柑を産し、東方に長門峽がある。下関市



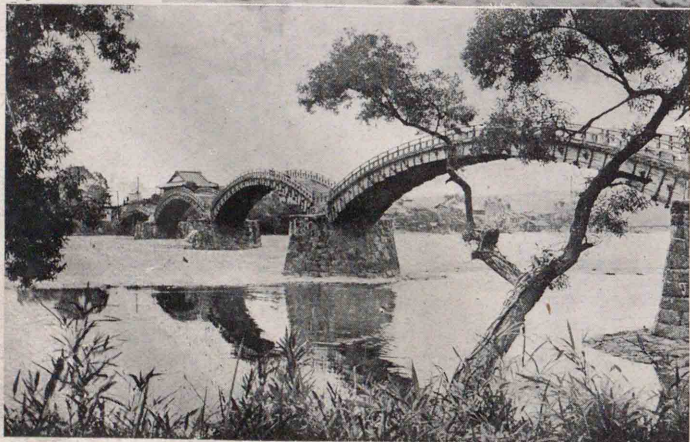
粗朶染打落たし養殖牡蠣の整理



大本營址 日清の役に明  
治大帝が親しく征駕を廣島  
に進めさせ給ひし當時の大  
本營の址



阿武兔岬の觀音堂 屹然  
とした岩頭に浮ぶが如き二  
の堂は内外航路の一勝地だ  
ある

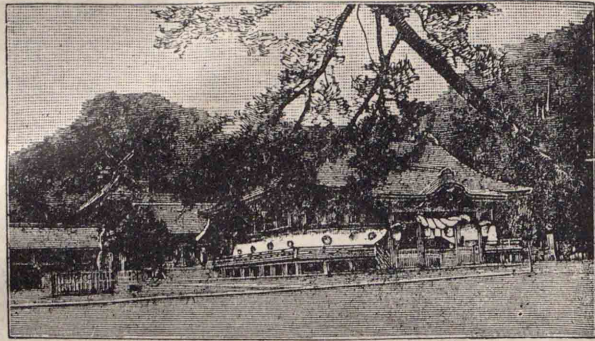


錦帯橋 五箇の反橋から  
成り古來奇橋の一として名  
高く橋の長さ二二七米

第六章 四國地方

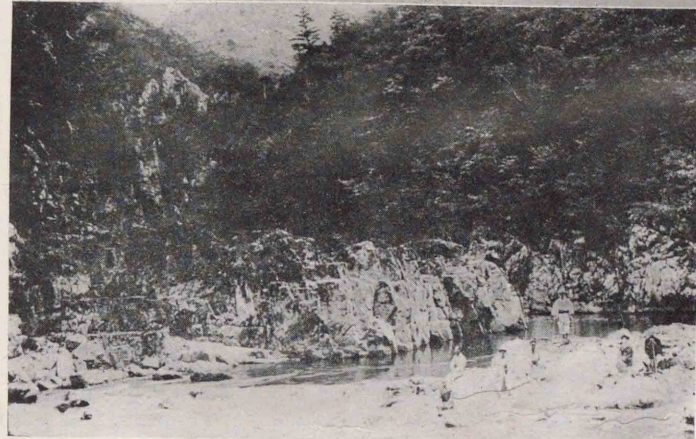
面積約一八〇〇方軒  
人口約 三六萬

名高い船上山と共に、國立公園である。倉吉は生絲を産し、鳥取市は千代川に臨み、製絲が行はれる。



出雲大社は、交通・商業の要地で、附近に壇浦の史蹟がある。山口市は清楚な教育都市である。島根縣 出雲平野は、古代に文化の開けた處で、出雲大社があり、大社はその門前町である。松江市は宍道湖に臨んで、風景がよく、山陰地方第一の都會で、濱田市は和紙赤瓦等を集散する。隠岐は鯛の産に名高く、西郷がその集散地である。

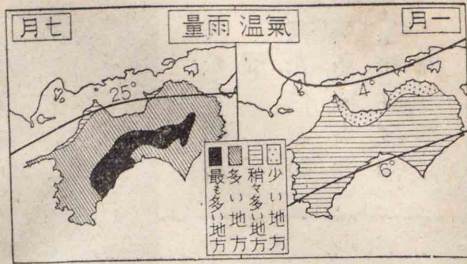
出雲大社 大國主命を祀る古社でその構造は大社造と呼ばれる特色を具へてゐる



長門峽 阿武川上流の峽谷で水中に巨岩の多いことは本邦随一といはれる



徳島港 林立する帆檣は多く發動機船で近來阪神地方との往復が頻繁である

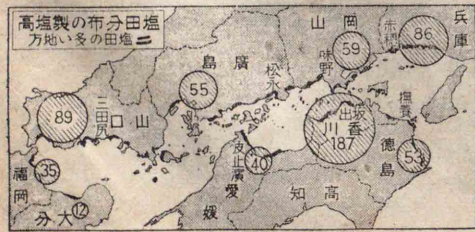
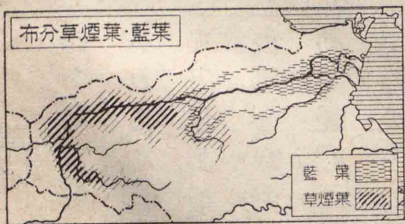


下流は徳島平野を流れる。この他、仁淀川、四萬十川等がある。

**気候** 北四國は山陽地方に似て、雨が少く晴天が多いから、製鹽に適するが、耕地は水不足の爲、灌漑用の溜池が多い。南四國は高温多雨で、一部には米の二期作も行はれる。

**産業** **農業** 北部は米麥等の農産が多く、吉野川の流域では、古來藍煙草を出したが、藍煙の多くは桑畑に變つた。高知愛媛の兩縣には、三椏楮を植ゑて抄紙の原料とし、又愛媛縣では蜜柑を多く産する。

**水産業** 太平洋方面には、鯉、鯿、鮪等の漁利が多く、土佐節の名産を出す。内海方面には、鯛、鱈、食鹽等の産額が多く、殊に鹽は、香川縣が全國第一の産地である。

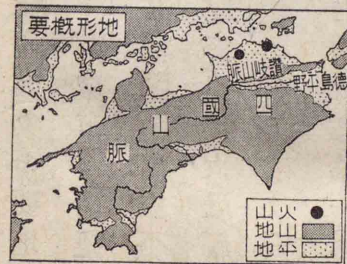


徳島縣 (徳島市)  
香川縣 (高松市)  
愛媛縣 (松山市)  
高知縣 (高知市)

鳴門海峡、豊  
豫海峽の附  
近は要塞地  
帯である

國山脈は高峻で、劍山、石鎚山等が聳えてゐる。北部には低い讃岐山脈や高繩半島があり、又處々に火山岩の丘陵がある。飯野山(讃岐富士)、屋島等がそれである。南部には土佐灣があり、室戸岬と足摺岬とが之を抱へ、東西の兩岸は、出入の多いリヤス式海岸である。周圍の海峽には、潮流の早い處が多い。

吉野川は四國第一の大川で、大歩危の峽谷を造り、



山野飯くひを目人てつ時に中の野平

通説

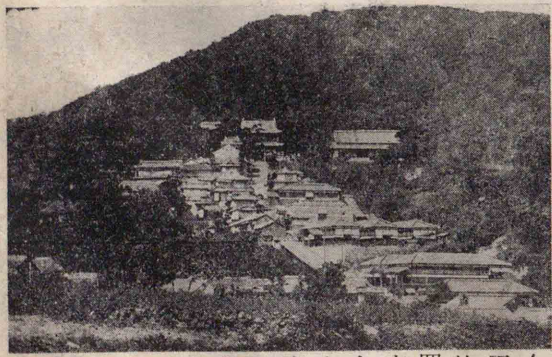
北四國は、自然、人文共に山陽地方に類し、南四國は紀伊半島に似てゐる點が多い。行政上四縣に分ける。

**地勢** 四國山脈が東西に走つて、南北の兩斜面に分れる。四國山脈は高峻で、劍山、石鎚山等が聳えてゐる。北部には低い讃岐山脈や高繩半島があり、又處々に火山岩の丘陵がある。飯野山(讃岐富士)、屋島等がそれである。南部には土佐灣があり、室戸岬と足摺岬とが之を抱へ、東西の兩岸は、出入の多いリヤス式海岸である。周圍の海峽には、潮流の早い處が多い。

近くに屋島の勝地がある。坂出は製鹽の中心で、丸龜市は商業の要地を占め、善通寺は兵營町である。琴平には名高い金刀比羅宮があつて、參詣者が絶えない。小豆島には、奇景で名高い寒霞溪がある。



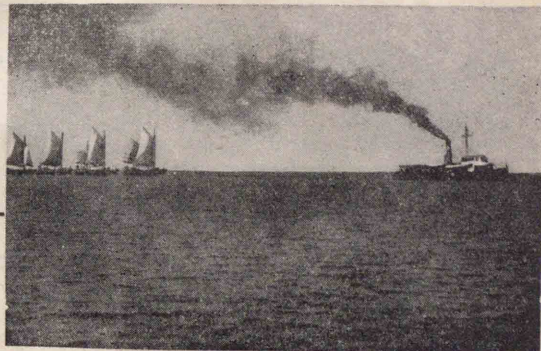
徳島縣 徳島市は吉野川の口に位し、商業の要地で、又綿織を出す。脇町、池田は、煙草の藍等の農産地として知られ、鳴門海峡に近しい撫養は、製鹽地である。



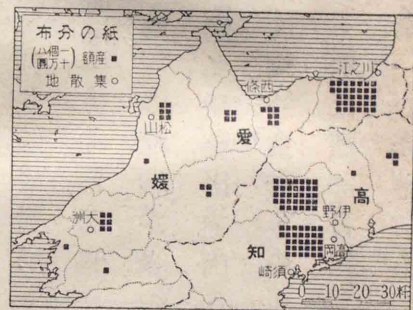
町前門るせ達發に腹山と宮羅比刀金

並に船舶の連絡がよく、多四國の重要な門戸として、紡績工業が行はれる。市内に栗林公園、香川縣 高松市は阪神及び中國地方と

高松八幡濱  
高松佐古間  
徳島池田間  
須崎多度津



く行てい牽が船汽を舟だん積を鑛銅

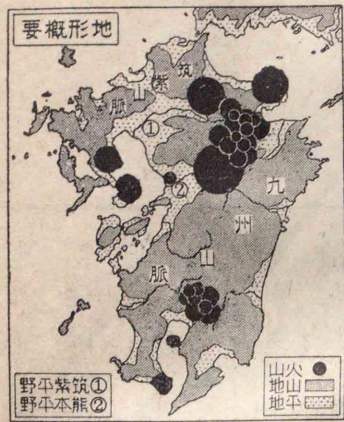


鑛業 別子は古くから名高い銅山で、その鑛石は、四坂島に送つて製鍊される。工業 綿織物は昔から處々で出したが、近年紡績・人絹等の工業が発達し、今治は綿工業の中心である。又高知・愛媛の兩縣を中心とする和紙は、この地方の特産である。商業 商業

交通 豫讃線・高德線・徳島線・土讃線等が開通してゐるが、陸上の交通は尙不便で、乗合自動車や、沿岸航路が発達し、その缺點を補つてゐる。



處 誌



福岡縣(福岡市)  
 佐賀縣(佐賀市)  
 長崎縣(長崎市)  
 熊本縣(熊本市)  
 大分縣(大分市)  
 宮崎縣(宮崎市)  
 鹿兒島縣(鹿兒島市)  
 沖繩縣(那覇市)

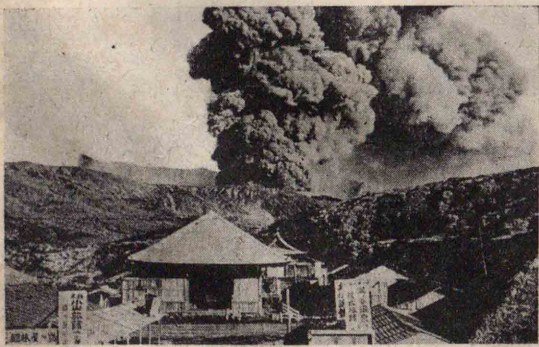
第七章 九州地方

面積約四、〇〇〇方  
 人口約 一、〇二萬

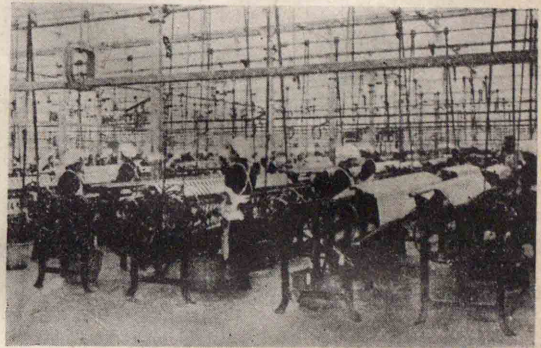
通説

九州の東南部は、神代の歴史に名高く、西北部は早く外國との交通が開けた處で、近年は各種の科學工業が盛である。行政上八縣に分ける。

地勢 地勢は、北部・中部・南部に分れる。北部の筑紫山脈は、斷續した丘陵性の山地であるが、南部の九州山脈には、祖母山を始め高山が聳えて、地勢が峻しい。この兩山地の間に、阿蘇火山帯があつて、阿蘇山を中心とし、雲仙岳・由布岳・九重山等の火山を起

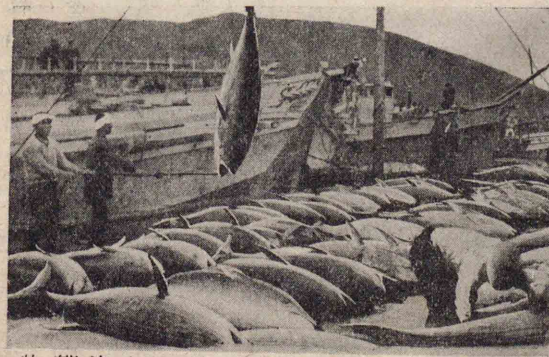


噴煙は阿蘇中の岳で社殿は上山神社



今治市に於ける製絲工場内の光景

愛媛縣 新居濱市肥料・人絹等、今治市綿糸ル・タオル等)は、共に新興の工業都市で、松山市は綿絲綿織を出し、その港の三津濱は、水産物の集散が多い。市の附近に道後温泉がある。大洲は紙の集散地として知られ、八幡濱・宇和島の二市は共に生絲・罐詰等を産する。

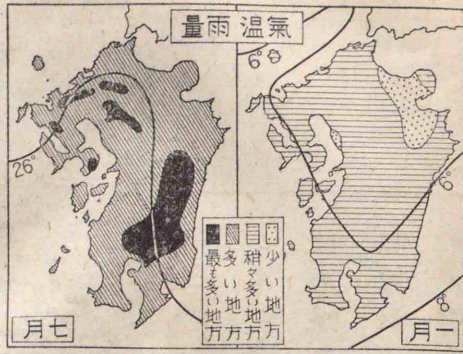


清水の海岸に揚げられたい漁獲物

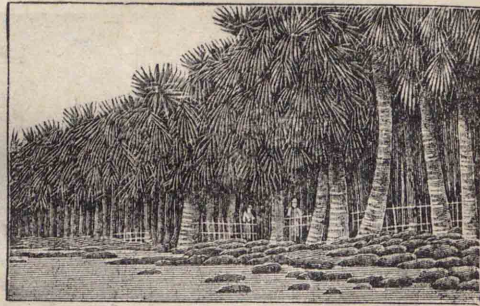
は景色のよい吸江灣に臨み、和紙・水産物等を集散する。伊野は昔から和紙の産地として知られ、須崎は良灣に臨み、清水と共に鰹節製造の一中心である。室戸岬は岩石と海色との壯觀で名高い。

高知縣 高知市

佐世保灣・長崎灣・平戸島附近・壹岐・下關海峽等の附近對馬の大部及び大島は要塞地帯である



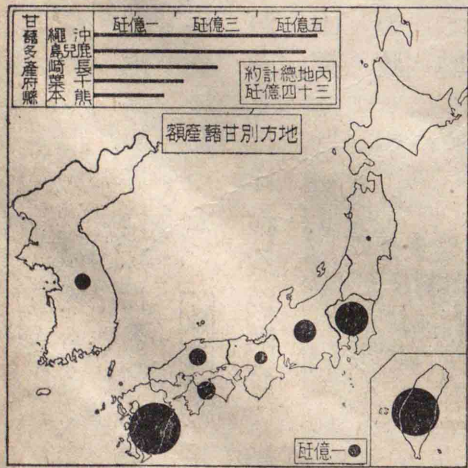
の産が多い。甘藷は一般に産するが、沖繩・鹿兒島の二縣は特に多く、甘藷もこの二縣が内地の大産地である。鹿兒島縣は我が國屈指の



暖る。南九州は南四國に似て更に暖く、國の一部の沿岸には、熱帶植物の茂る處（青島もある。薩南諸島及び琉球諸島を觀るの氣候は亞熱帶性で、植物景が著しく違つてゐる。示す）

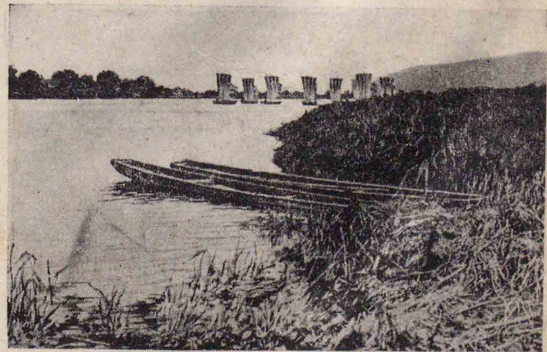
産業

農業 筑紫・熊本の兩平野

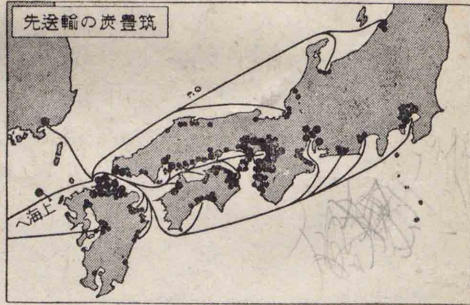
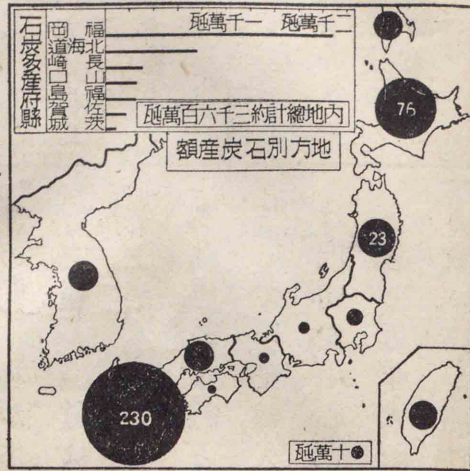


してゐる。南部の霧島火山帶は、霧島山・櫻島岳・開聞岳等の火山を起し、遙に薩南諸島に延びてゐる。川の主なもの、筑後川・球磨川・内川・大野川・大淀川・五箇瀬川・遠賀川等で、其等の下流には、平野も少くないが、筑紫・熊本の二平野は殊に廣い。

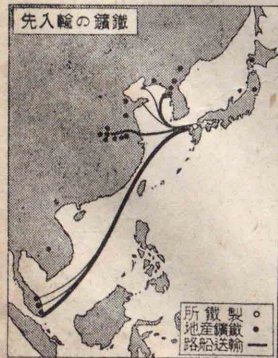
海岸線の發達は、五大島中第一で、西北には、數多の副半島を持つ肥前半島があつて、大村灣・有明海等を抱へ、又この方面には島も多い。東岸は國東半島と、別府灣との出入があり、豊後水道の沿岸は、リヤス式海岸をなしてゐる。南部は、大隅薩摩の二半島が鹿兒島灣を抱き、薩南諸島・琉球諸島が、此處から西南の海上に列んでゐる。



流下の川後筑るす下上が船和のく多



ある。その他、鹿兒島縣大分縣の金、宮崎縣の銅、錫が知られ、佐賀關には壯大な製鍊所がある。工業北九州は、我が國屈指の大工業地帯で、門司から小倉、戸畑、若松、八幡の諸市を連ねる地方には、製鐵を始め、精糖、セメント、硝子製粉、紡績等の大工場が並び、中でも八幡の製鐵所は、規模



縣の鯉鰯等は漁獲が殊に多く、鯛と鯉節とは屈指の産物である。有明海では、牡蠣の養殖が行はれる。鑛業我が國第一の産炭地で、筑豊、三池、唐津、長崎等の大炭田があり、此等の産炭量は、全國の約七割を占め、若松、門司はその積出港として榮えて



球磨川の急流を筏を操つて下り行く



に利用され、沖繩縣では、多く豚を飼つてゐる。

林業南九州には森林が廣く、木材、薪炭等の外、椎茸を産し、筑紫平野では、木蠟を採る爲に、櫨の樹を植ゑ、その紅葉は、晩秋の野を飾る。水産業水産物は一般に豊富であるが、長崎縣の柔魚、鯖、鹿兒島

立煙草産地で、國東半島では七島蘭を栽培する。その他、果實の産も多く、蜜柑(大分)、枇杷(長崎)等は殊に名高く、養蠶も近年盛になつた。牧畜業牛、羊の飼育が廣く行はれるが、阿蘇霧島等の火山裾野は、馬の牧場として盛



鹿兒島縣枕崎海岸で鯉を運ぶ光景

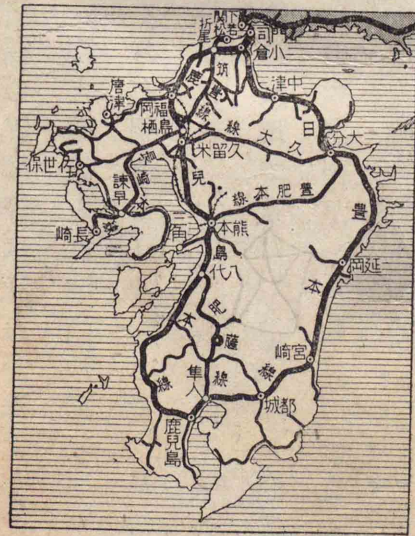


下關門司小倉を合はせて關門港と呼ぶ  
 門司鹿兒島  
 小倉鹿兒島  
 若松原田間  
 鳥栖長崎間  
 八代隼人間  
 熊本大分間  
 久留米大分間

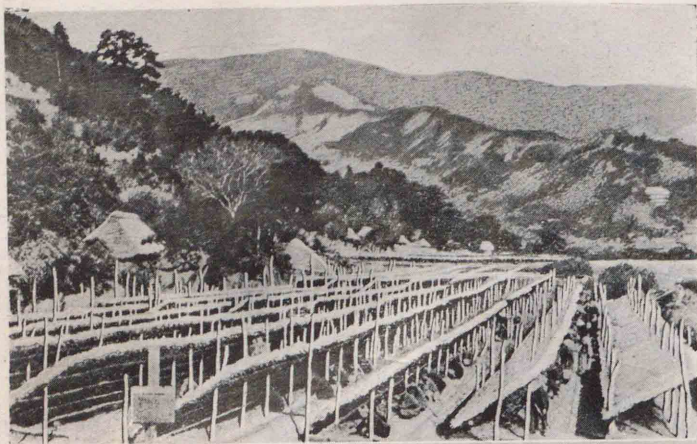
が極めて壯大で、原料鑽石を外國からも輸入する。その他、長崎の造船、北九州のゴム工業、中九州の化學工業等も名高い。在來の工業品には、久留米・耕博・多織・薩摩・緋大島・紬・琉球・上布等がある。福岡縣では、清酒の製造が多い。商業 内地商業は、福岡が最も盛で、熊本が之に次ぎ、貿易は關門港を第一とし、その他、若松・博多・三池（以上福岡）・唐津・住ノ江（以上佐賀）・長崎・口之津・嚴原（以上長崎）・三角・熊本・鹿兒島・那覇（沖繩）等の開港場がある。

交通

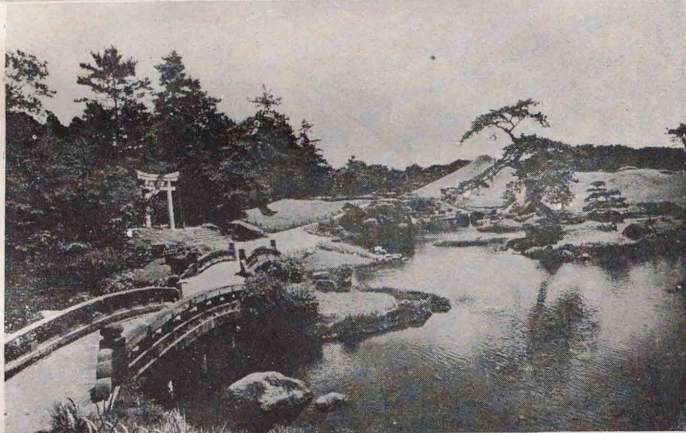
鐵道は、鹿兒島線と日豊線とが、本島を一周して、筑豊・長崎・肥薩等の諸線と連絡し、又横斷線として、豊肥線・久大線がある。海運は門司を中心として、内外の諸港と通じ、近年大阪・臺灣及び大陸等と航空路が開け、又大陸へ通ずる



國分の煙草畑 昔から品質の良好を以て名高い國分煙草の産地で專賣局の出張所がある

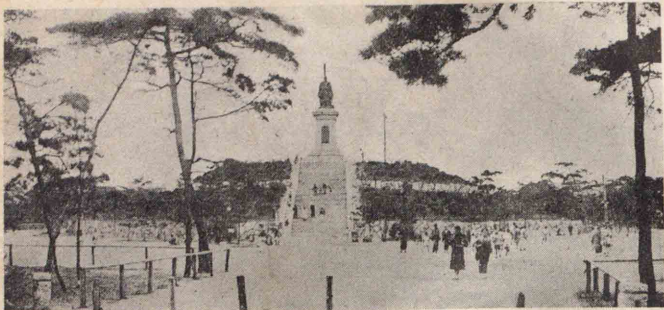


水前寺公園 成趣園とも稱し池水の清澄と林樹泉石の妙趣とで名高く九州一の名園といはれる



阿蘇の草千里 裾野の一部で一面に草の緑に彩られ牛馬の牧草を追ふ静閑な情景に富む





福岡に九州帝國大學がある

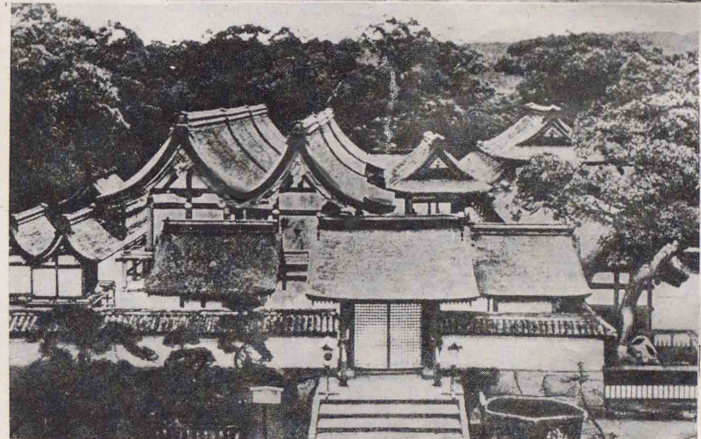
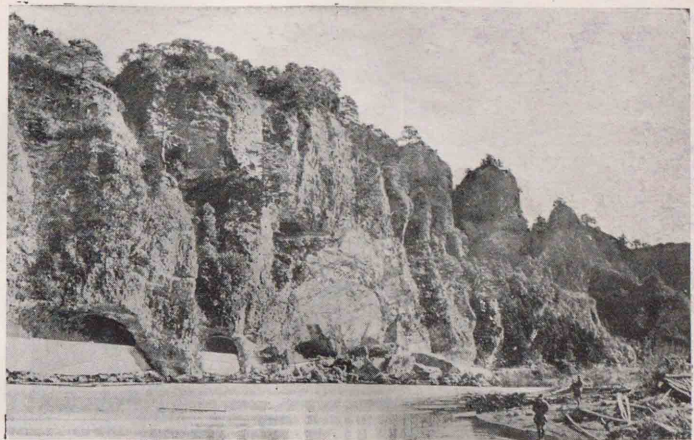
元寇の龜山、上皇の御所、深淵の像、係尊の市、關の皇、に役炭、の積出港、戸畑市は盛に水産物を集散する。此等の諸

福岡縣 門司市は交通の要地に位し、小倉市は日豊線  
 の分岐點で、八幡市には壯大な製鐵所がある。若松市は石  
 炭の積出港で、戸畑市は盛に水産物を集散する。此等の諸  
 市には、各種の大工場が多い。筑豊炭田地方には、大小の炭  
 坑が群集し、直方市飯塚市は、その中心都會である。福岡市  
 は博多灣に臨み、九州學藝の中心地で、地下足袋博多織等  
 を出す。近傍に菅崎宮香椎宮等があり、少し離れて太宰府  
 の神社がある。久留米市は交通軍事の要地で、地下足袋タイ  
 ヤ等を産し、三池は三池炭の積出港で、開門式築港を備へ、  
 大牟田市はその石炭を利用して、工業が盛である。  
 佐賀縣 佐賀市は米の集散が盛に行はれ、唐津市は唐

數條の海底電線がある。

處誌

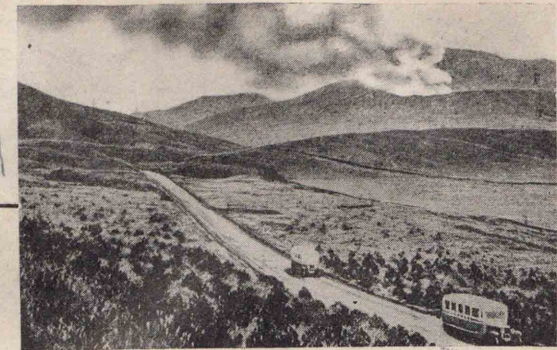
耶馬溪の奇勝 群立せる  
奇峰を貫く幾多の洞門と之  
に沿ふ一條の碧流 圖は青  
洞門の景觀



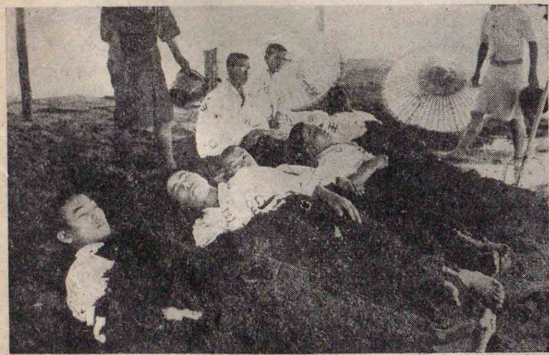
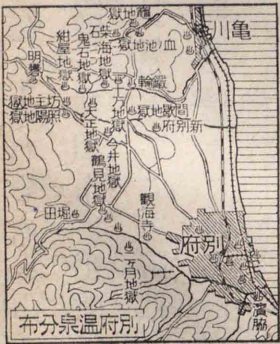
宇佐神宮 丹朱の社殿を  
連ねた鎮西第一の大祠で和  
氣清麿の神託で有名である

開聞岳 薩摩半島の南端  
にあつてその裾は太平洋の  
清波に洗はれ秀麗の景觀を  
描く





があり、宇佐には名高  
い宇佐神宮がある。大  
分市は横断鐵道の起  
點で、商工業が発達し、  
別府市は名高い温泉



別府の砂湯で海岸の砂に半身を埋める

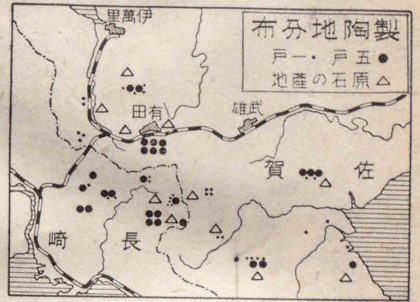
阿蘇山は南北二十四軒、東西十六軒に及ぶ舊噴火口を有し、中に阿蘇五岳が聳え、現に噴煙してゐるものもある。その火口原には農牧が行はれ、數萬の住民が居り、豊肥線が貫通してゐる。  
大分縣 中津市は山國川の口  
阿蘇山は南北二十四軒、東西十六軒に及ぶ舊噴火口を有し、中に阿蘇五岳が聳え、現に噴煙してゐるものもある。その火口原には農牧が行はれ、數萬の住民が居り、豊肥線が貫通してゐる。  
阿蘇市は、製材、セメント等の工業が行はれ、上流の人吉は、球磨川遊覽船の發着地で、又温泉地である。水俣には化學工業が行はれる。

外輪山

長崎に醫科大學がある

熊本に醫科大學がある

原松



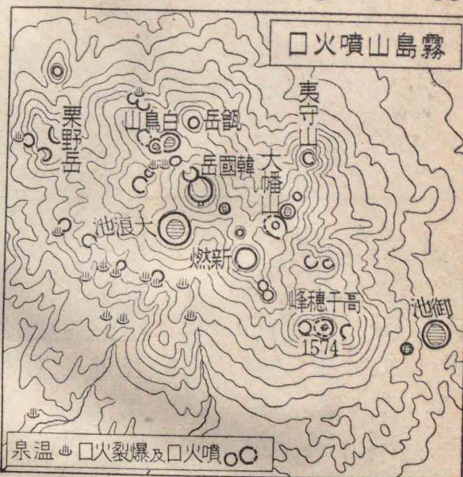
占め、國立公園の雲仙岳は、山上に温泉町があつて來遊者が多く、島原市はその登山口である。五島、壹岐、對馬等では、住民の多くが漁業に従事し、鰯その他の水産物が多い。福岡、熊本等は、夫々その主邑である。  
熊本縣 熊本市は米の集散が行はれ、風景のよい水前寺がある。球磨川の口に臨む



雲仙岳は風景もよき娛樂機關も備はる

津炭田を控へて、石炭の積出が多く、近くに虹ノ松原の勝地や名護屋の史蹟がある。有田は、古來著名な製陶地である。  
長崎縣 長崎市は、古い開港場で、石炭、水産物等を集散し、又壯大な造船所があり、佐世保市は軍港で、海軍工廠がある。  
諫早市は交通の要地を

16 女 秋谷守子



製絲等が行はれる。

鹿兒島縣

鹿兒島市は近く櫻島と對

し、風景のよい港市で、薩摩焼・薩摩緋等の名産を出し、櫻島には大根の特産があり、又果樹の栽培が行はれる。國分は煙草の名産地で、指宿は温泉地として名高く、川



るあがのもぶ及に餘米一圍周は根大島櫻

内市は米の集散が行はれる。

薩南諸島の種子島は、鐵砲傳來の地として知られ、屋久島は杉の良材を出す。大島は大島紬・鯉節・粗糖等を産し、名瀬はその主邑である。

沖繩縣

琉球宮古八重山の三諸島から

成り、一般に氣候が暖で、平野では殆ど霜を見ることはない。島民は甘蔗を植ゑて粗糖を産し、甘藷を植ゑて常食とする者もあり、又殆ど戸毎に豚を飼育してゐる。那覇市は琉球緋・芭蕉布・粗糖・泡盛・夏帽子等を集散し、首里市は昔王城のあつた處である。



るす買賣を品用日く多で場市の繩沖

第八章 北海道

面積約六、八〇万  
人口約 三〇七萬

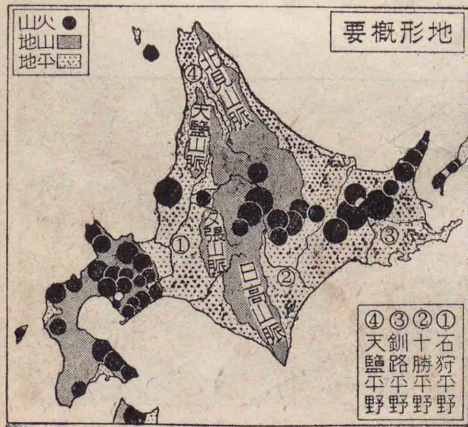
通説

國名  
 渡島後志右狩  
 天鹽北見膽振  
 日高十勝釧路  
 根室千島  
 支廳  
 渡島檜山後志  
 膽振日高右狩  
 空知上川留萌  
 網走宗谷十勝  
 釧路國根室

昔の蝦夷の地で、北は宗谷海峡によつて樺太と離れ、東北は千島海峡を隔て、カムチャッカ半島と對する。行政は北海道廳の下に、七市十四支廳を設けてゐる。

**地勢** 地形は主部と半島部とに分れる。主部には日高夕張北見天鹽の四山脈が、二條に並走して蝦夷山系をなし、その間に上川富良野等の盆地を挟む。千島火山帯は、東方から延びて多くの火山や火山湖を作り、その主軸山脈と會する地方は、本島中で最も高い。此等の山岳地域中に、阿寒大雪山の兩國立公園がある。半島部には那須火山帯に屬する駒岳有珠岳羊蹄山等の火山が處々に聳えて、その間に大沼洞爺支笏等の火山湖があり、又温泉の湧く處も多い。

石狩川天鹽川十勝川等が、中部の山地



から流れて、沿岸に石狩十勝天鹽等の平野を伴ひ、その他、釧路北見の海岸にも平野が発達してゐる。

石狩川の上流は、上川盆地を潤ほし、神居古潭の峽流をなして、石狩平野に出る。平野では、多くの三日月湖を残して、著しく曲流し、その流域には、美田良圃が連つてゐる。

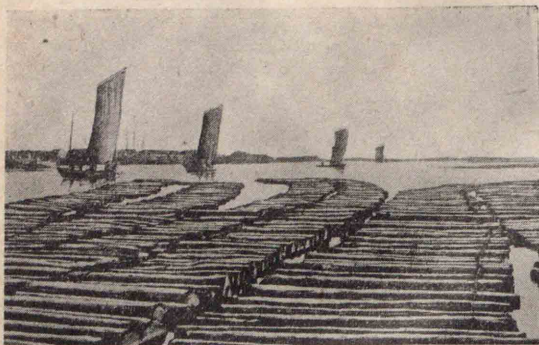


景の潭古居神い高名に觀美の谷溪

海岸は主軸山脈の南北に襟裳岬宗谷岬があり、東部に知床花咲の二半島が突出してゐる外、一帯に出入が少い。半島部では南に渡島半島が出て、内浦灣を抱き、北には石狩灣を限る積丹半島がある。

**氣候** 氣候は概して寒く、上川盆地を始め、内部は寒暑の差が烈しく、オホーツク海岸は、冬季流水に鎖されるが、西岸は對馬暖流の

函館灣附近  
 福山附近は  
 要塞地帯で  
 ある



川路釧路等として、内外の各地に供給してゐる。

埋を河で材木た來び運大牧場が  
れ、根室では養狐が行はれる。

川路釧路等として、内外の各地に供給してゐる。

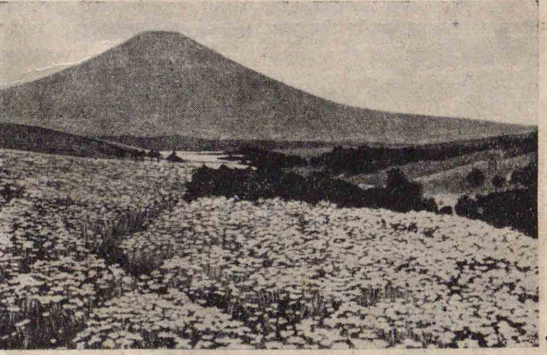
水産業 水産は

附近の苹果、渡島半島の除蟲菊等も名高い。  
野は馬の牧畜が盛んで、新・白・糠等には

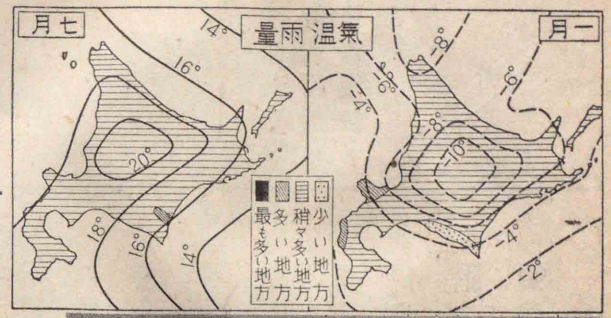
牧畜業



真駒内牧場は畜産の中心である

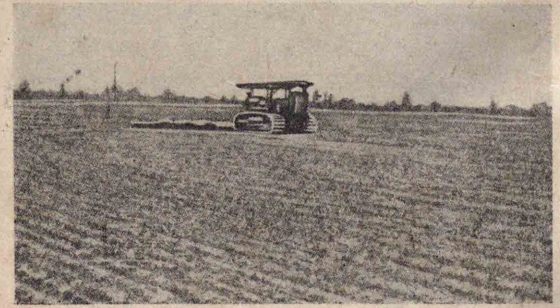


羊蹄山麓地方に於ける除蟲菊畑



平野は米も産するが、畑作を主として、麥類・豆類・馬鈴薯・玉蜀黍・亞麻・野菜類(甘藍・玉葱等)等の産出が極めて多い。十勝平野は、豆類・馬鈴薯及び甜菜等の産地となり、北見地方の薄荷・余市

はれる。上川盆地は米の産が多く、石狩塊の北門の寶庫とい



トラクタで耕耘する大農場の光景

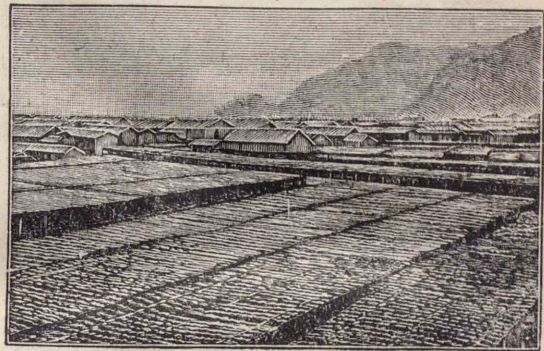
産業

農業

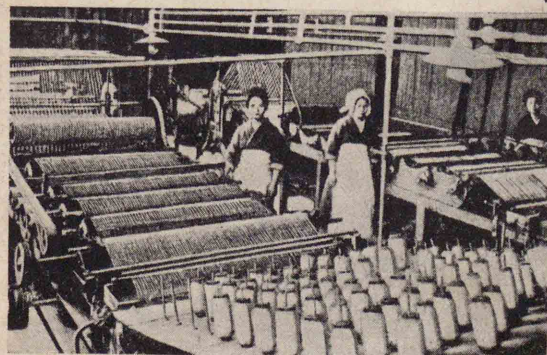
平野が廣い爲に、機械

冬影響を受けて気温が稍高く、雪も多い。太平洋沿岸は気温が低く、初夏の頃には屢濃霧が起り、海上交通を妨げられることが少くない。

名寄(8) 旭川(7) 池田(6) 釧路(5) 岩見(4) 瀧川(3) 旭川(2) 函館(1)  
 寄野 川野 田網 路網 部間 見澤 川根 川稚 館旭  
 遠付 野付 網走 網走 間 長室 内川  
 間 牛 間 間 萬 間 間 間

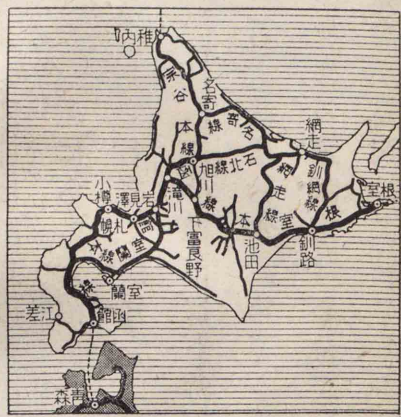


狩炭田には夕張・美唄・砂川等を始め、名高い炭坑が多い。その他、金・鐵等の産地が處々にあり、火山地方からは硫黄を出す。  
**工業**  
 豊富な農産・林産を原料として、製紙・製材・製粉・製麻・醸造及び製糖等の工業が勃興し、そ



(部内場工麻製國帝業作附糊の絲括)

身本道の開發を促した主原因で、鱈・鱒・鮭・鱈・蟹・魚・鰈及び昆布等の産が甚だ多く、殊に鱈は西海岸に、鮭・鱈は東部に多く産する。此等は冷凍して移出する外、加工して鹽漬・乾物・糊製及び罌罐詰等とし、海外へも輸出される。函館と小樽とは、その二大集散地である。  
**鑛業**  
 鑛産は石炭を主とし、その他、函館の造船・室蘭の製鐵等も、規模が壯大である。  
**商業**  
 小樽・函館は、内外商業の中心で、主に水産物・林産物・石炭等を取引する。この他、室蘭・釧路・根室・留萌等も開港場である。



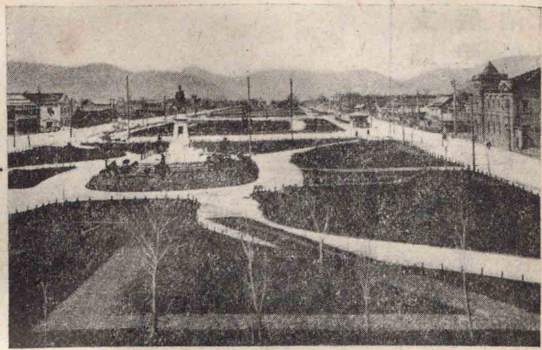
線の縦横の幹線をなし、釧路(5) 網走(6) 走石(7) 北(8) 名寄(8) 旭川(7) 池田(6) 釧路(5) 岩見(4) 瀧川(3) 旭川(2) 函館(1) 諸

寄等の諸線が之と連絡する。海運は函館・小樽・室蘭を中心として、沿岸航路が發達し、又本州及び樺太との間には、夫夫鐵道連絡船がある。近年航空輸送も開け、無線電信局も處々にある。



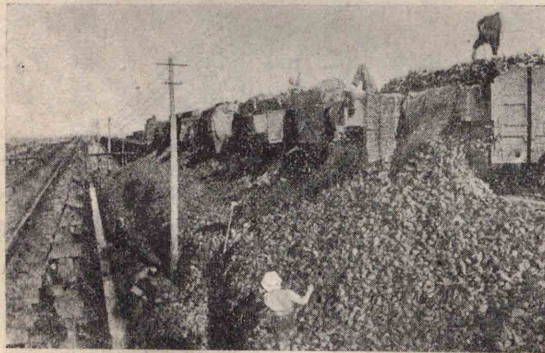
屋家と裝服の有特人ヌイア

住民 住民の大部は、内地から移住したもので、先住のアイヌ人は、僅に一



ある。この西北の狩  
勝峠は、景観が雄大  
なので名高い。釧路  
市は海産物、木材等  
を集散し、又馬市が

道の温泉町で、苦小牧には製紙の大工場がある。  
路が主部 札幌市は豊平川に臨み、町筋が極めて正しく、  
公道 北海道文化の中心地で、ビール製麻製粉等の工場が多  
園 化。岩見澤は鐵道交通の要地を占め、上川盆地の旭川市  
さい。岩見澤は鐵道交通の要地で、農産の加工が行はれる。帯廣市は  
ては、軍事交通の要地で、農産の加工が行はれる。帯廣市は  
る農業の  
札幌中心地  
幌幌中心地  
大で、製糖  
通工場が



甜菜根が製糖工場へ運ばれた光景



釧路川の左岸から見た釧路の街市

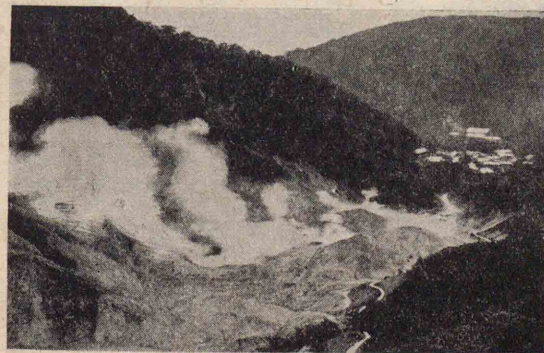


無 萬五六千に過ぎない。白老平取はその大部落である。男子は  
の 鬚髯に富み、女子は唇に文身する風もあつたが、教育の結果、  
小 今では殆ど同化されて、内地人と大差なきに至つた。  
島 湖が島小の數無  
中 湖が島小の數無  
に 湖が島小の數無  
在 湖が島小の數無  
す 湖が島小の數無  
大 湖が島小の數無  
沼 湖が島小の數無  
と 湖が島小の數無  
駒 湖が島小の數無  
岳 湖が島小の數無  
ある。小樽市は石狩平野の門戸で、盛  
に石炭農産物水産物等を集散し、商況が活  
潑である。室蘭市は石狩炭の積出港で、又大  
規模な製鋼の工場がある。登別は本道第一

處誌

半島部

函館市は本島の南門に  
當り、水産物の集散が盛に行はれ、五  
稜郭は維新の戦史に名高い。駒ヶ岳の  
麓にある大沼公園は、風景がよいの  
で名高く、倶知安は新開の大農地で  
ある。小樽市は石狩平野の門戸で、盛



登別温泉は湯量が頗る豊富である



開かれる。根室は漁業の根據地で、罐詰を産し、網走は近年農業が盛となり、野付牛は薄荷腦の特産を出す。稚内は樺太と鐵道連絡船を通じ、留萌増毛は練漁の中心地である。  
千島列島 國後、擇捉、得撫等、大小二百餘の島々から成り、近海は水産が多く、又養狐が試みられてゐる。紗那は列島の主邑である。占守島は我が國の東端に當り、阿頼度島は北端に當る。

第九章 樺太

通説

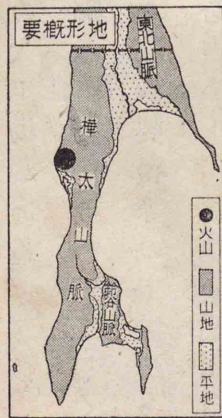
太

面積約三、〇〇万平方  
人口約 三萬

樺太島は北緯五十度線を以て、ロシアの領土と接し、間宮海峽を挟んで、大陸と對する。行政は、樺太廳の下に七支廳がある。

支廳  
豊榮・大泊・元泊・敷香・泊居・真岡・本斗

地勢 地形が南北に長く、樺太山脈が主軸をなして西部に連り、



苦小牧のバルブ工場、王子製紙會社の工場を南方の貯木場方面から見た光景

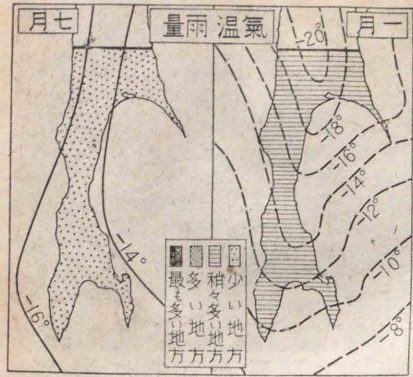


阿寒湖と雄阿寒岳 四邊悉く原始林に包まれ湖上の島も又樹林に蔽はれて靜にその影を湖面に映す



平取のアイヌ部落 文化が次第に入込んで和風の建築も處々に混じてゐる

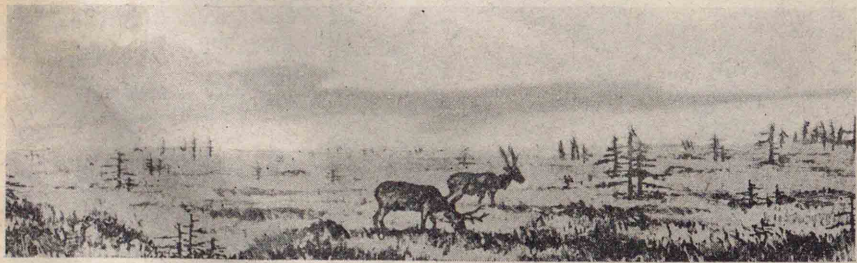




その東に低地帯を挟んで、東北山脈鈴谷山脈等がある。低地帯の北部は、幌内川の流域であるが、大部はツンドラと呼ばれる荒野で、馴鹿の放牧地たるに過ぎない。南部は内淵川、鈴谷川等の流域で、僅に農業が行はれる。海岸は一般に單調で、東北に北知床岬が出て多來加灣を抱き、南方には中知床、西能登呂の二岬が相對して、その間に亞庭灣がある。

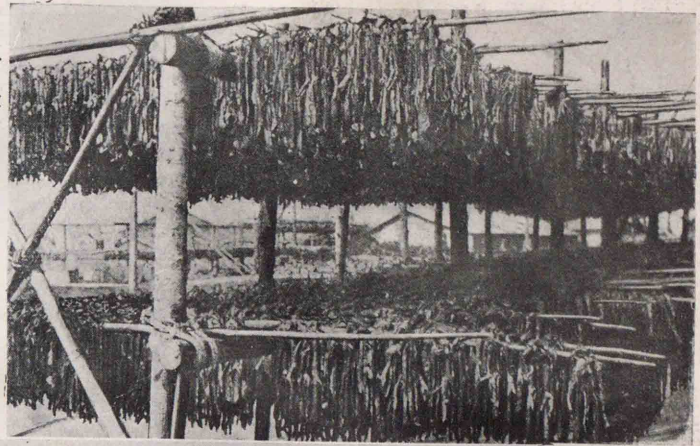
**氣候** 土地が北に偏してゐる爲、亞寒帶性氣候を呈し、冬は寒氣が酷しく且長い。西岸は對馬暖流の影響によつて、稍、溫和である。

**産業** **農牧業** 農産は南部の低地に、僅に燕麥・馬鈴薯・豆類及び野菜類等

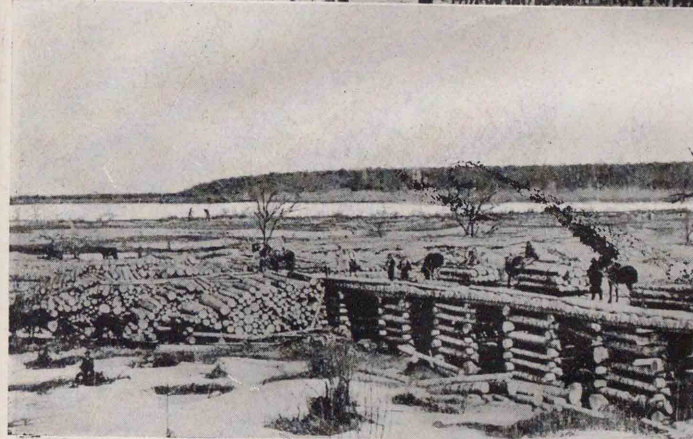


るえ見が樹矮の松葉落り繁が類苔蘚で景光のラドンツ

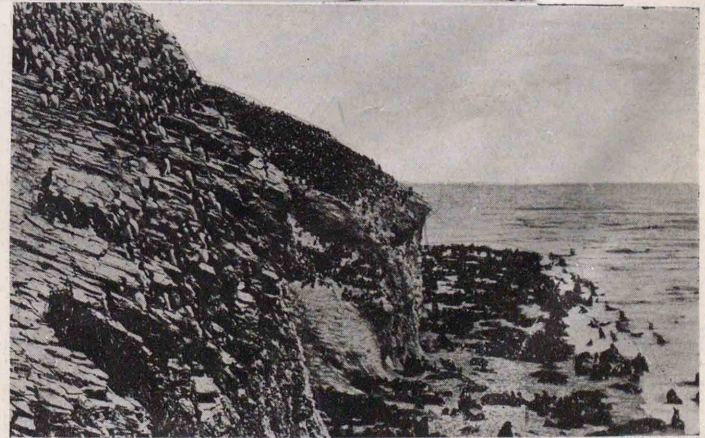
身缺鯨の懸棚 漁村の春の一盛觀で濱邊の一帶は村から村へこの懸棚が續く



木材の運搬 伐採した木材を馬に曳かせ運ぶ光景右方に一二の植民長屋が見える(鵜城附近)



海豹島 周圍約一杆餘の小島であるが、臘肭獸の蕃殖地で條約により濫獲を禁じてゐる



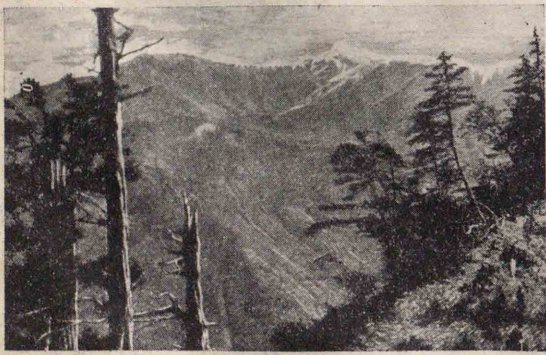
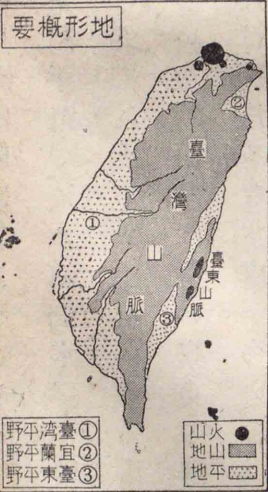


臺北(臺北市)  
新竹(新竹市)  
臺中(臺中市)  
臺南(臺南市)  
高雄(高雄市)  
臺東(臺東市)  
花蓮(花蓮市)  
澎湖(馬公街)

臺灣山脈の連る處で、新高山次高山の高山が、多く、山中の

地勢

があり、東西の二斜面に分れる。中央山地は、



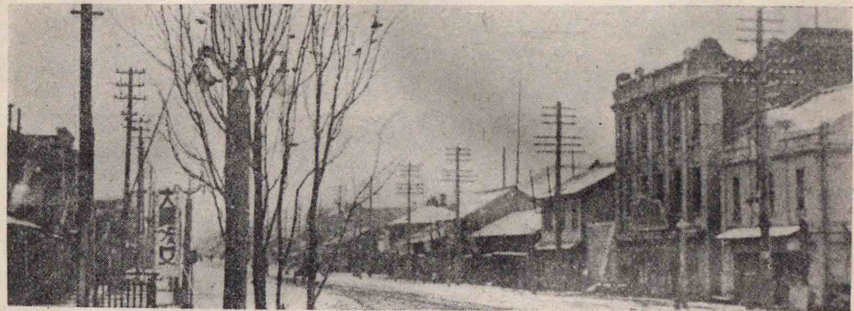
新高山は富士山と異なる連続した山脈をなす

本邦の南部を占め、西は臺灣海峡を隔て、支那に向ひ、南はバシー海峡によつて、フィリピン群島と相對し、我が南進の根據地である。行政は、臺灣總督府の下に五州三廳がある。

通説

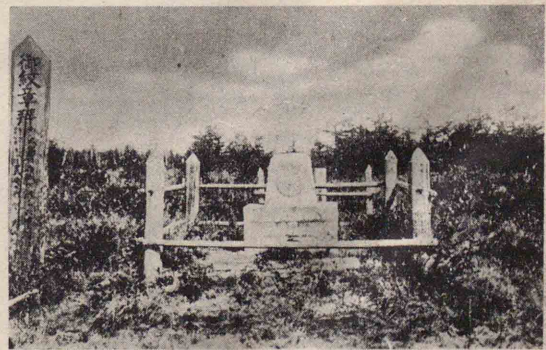
第十章 臺灣

面積 約六、〇〇〇方軒  
人口 約 五三萬



樺太、文島、心中の門戸、大泊は本島の門戸、木材、水産物等を集めて、豊原市は政治の中心地で、附近は開拓が稍進んでゐる。落合、知取には、パルプ製紙の大工場があり、敷香もパルプ工業が起り、又毛皮を集散する。西岸の眞岡は、漁業の中心地で、蟹罐詰を出し、本斗は島内唯一の不凍港で、野田泊、居惠須取等は、パルプ製紙等の工業により、榮えてゐる。

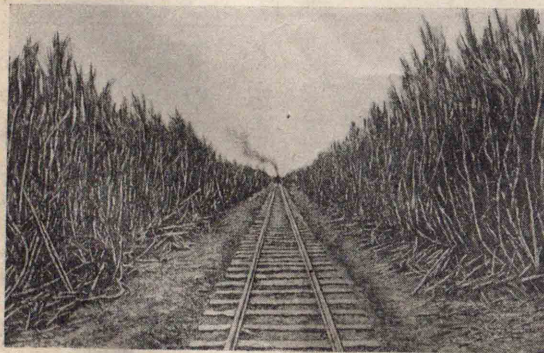
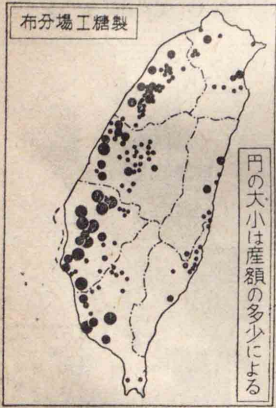
處誌



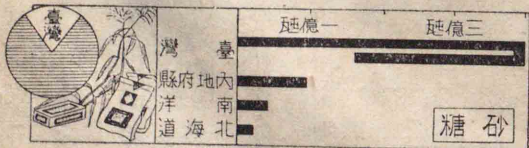
日露の境にあり、四箇の境界標石の一

もし及とく落  
製又びす出花  
する菓油する生  
る子粕外食用  
にと油用多

られ栽全と主  
砂培島島として  
せにに地



道鐵の用搬運蔗甘るあに中の畑蔗甘

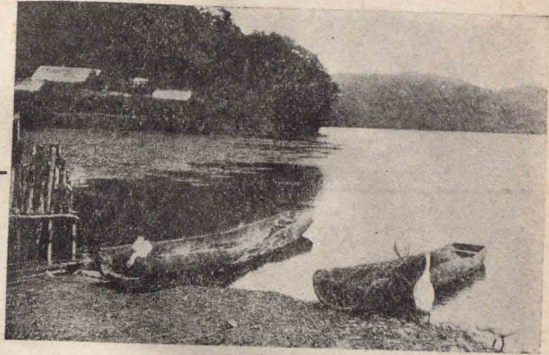


し、米は中部を主産地とし、年二回の收穫がある。甘蔗は中部以南を主産地として、全島に栽培せられ、砂

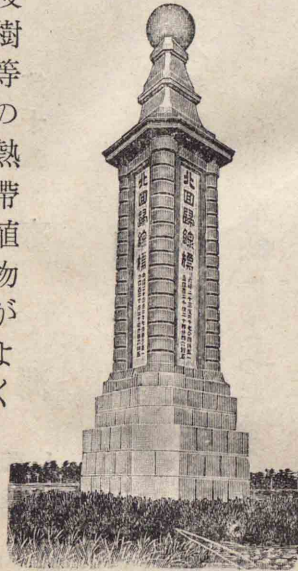
茂り、植物景が内地と著しく違つてゐる。一年は乾雨の二期に分れ、北臺灣は冬が雨季で、夏は晴天が多く、南臺灣は之に反する。

**産業** 本島第一の産業で、産物の種類が多い。茶は中部以北の丘陵地に産して、烏龍茶、包種茶、紅茶等に製

基隆灣附近及  
高雄附近及  
澎湖諸島  
は要塞地帯  
である



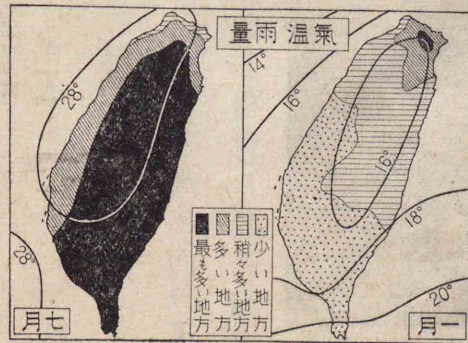
は一般  
に高く、  
椰子樹、  
榕樹、檳  
榔樹、林投樹等の熱帯植物がよく



標線歸回北

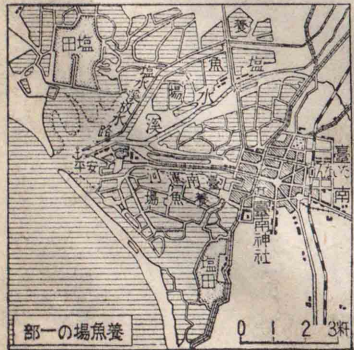
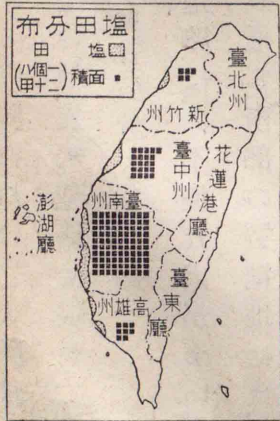
るあが舟木獨な的始原で畔の潭月日  
日月潭は風景がよく、又大發電所がある。西斜面は廣い臺灣平野で、淡水河濁水溪下淡水溪等の大河が流れ、その北部に大屯火山群がある。海岸は遠浅で、砂嘴や潟が多い。東斜面には、狭い臺東平野と、臺東山脈とがあり、海岸は斷崖をなす處が多い。屬島の主要なものは、臺灣海峡の澎湖諸島である。

**氣候** 北回歸線が島の中央を通じてゐるから、熱帯又は亞熱帯の氣候を呈する。氣温





草帽子・竹細工等を  
出す。**商業**内地  
との取引が最も盛  
で、砂糖・米・バナナ等  
を移出し、織物肥料

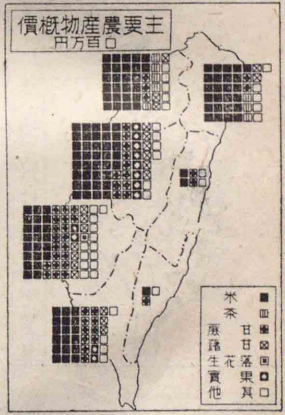
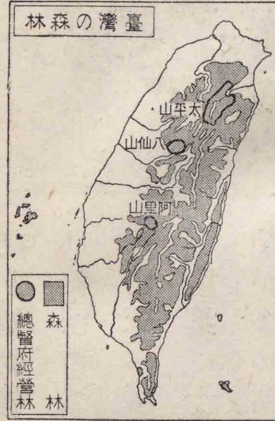


樟腦を製する。樟腦は、  
本島の特産で、世界需要の過半を供給する。**水産業**近  
里山は、檜・紅檜等の良材を出す。竹材の産も多く、又樟腦は、  
本島の特産で、世界需要の過半を供給する。**水産業**近  
海は、鯷・鯉・旗魚・鯛等の漁利が多く、盛に鯉節を製出し、又紅  
珊瑚の特産がある。西岸では、入江を利用して魚類を養殖  
し、又天日製鹽が盛である。**鑛業**基隆附近は、石炭の産  
が多く、金・瓜石・瑞芳等からは、金銅を産し、中部の出磺坑附  
近では、石油を出す。**工業**工業は、製糖・製茶・製腦等の農  
産・林産の加工を主とし、中でも製糖は最も盛大で、副業と  
して酒精を醸造する。その他、罐詰・セメント・煙

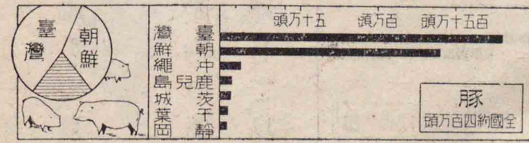


林が  
あり、  
伐材  
が盛  
に行  
はれ、  
殊に  
阿

る。送へ地内に盛景光の場市ナナバ  
搬に使役し、又殆ど戸毎  
に豚・家禽等を飼つてゐ  
る。**林業**阿・里・山・八・仙  
山・太・平・山等には、廣い美



水牛は性質が温順で浴水を好む



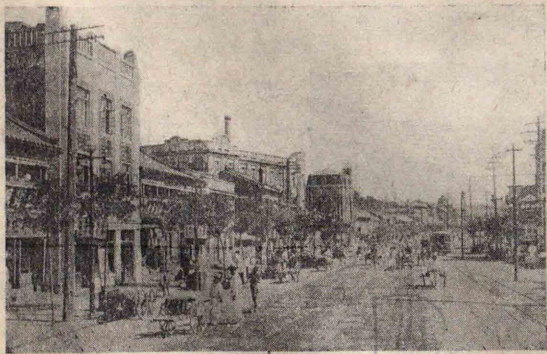
糖は本島第一の産物である。甘  
藷は廣く産して、島民は常食と  
する。その他、バナナ・鳳梨・柑橘類  
等の果實に富む。**牧畜業**多  
く水牛を飼育して、之を耕作運



つた。内地人は二十八萬餘で、多くは商工業等に従事してゐる。

處 誌

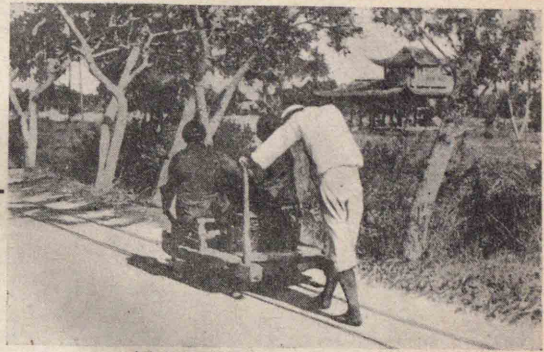
臺灣平野 基隆市は本島の北門に當り、島内第一の商港である。臺北市は都市の施



街市の北臺たつなと麗壯りよに築修

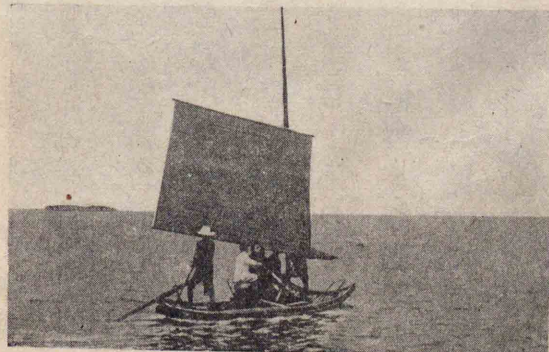
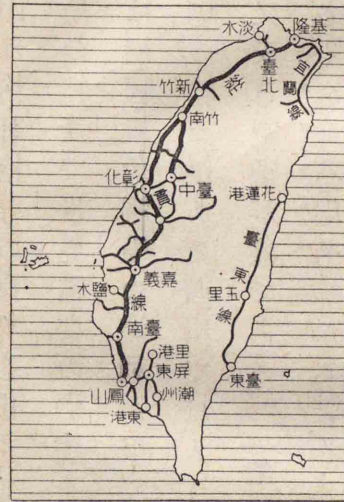
新ひられる。航空路や海底電線は、内地及び支那と高し、無線電信局も處々にある。西の住民の大部分は臺灣人(本島人)で、もと谷の南支那地方から移住した支那人の子孫である。多に山地にはマレー族の蕃人(高砂族)が住み、原始的の生活をしてゐるが、次の第に皇化に恵まれ、經濟族生活を営む者も多くな

基隆高雄間  
臺東花蓮港



を中心とし、内外の諸港と通じ、沿岸では竹筏、戎克等が用

臺等に移入する。基隆・高雄は二大開港場で、淡水・安平も開港場である。その他、支那型船に限って貿易を許す、特別開港場(後龍・鹿港・東石)がある。  
交通 道路は、尙不便な處が多い。鐵道は縦貫線が西部の平野を貫通し、南部の製糖地には、多數の私設線が發達して之と連絡し、東部には臺東線似が通じてゐる。尙臺車と呼ぶ簡易軌道が處々にある。海運は基隆・高雄

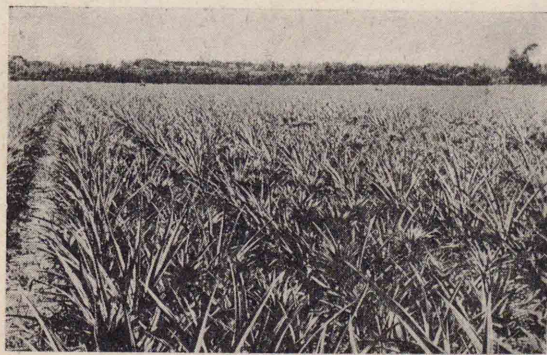


舟小だん結で籐を之べ列を竹は筏竹

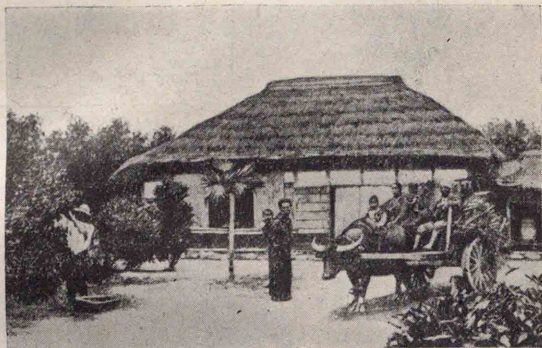
臺北に臺北  
帝國大學が  
ある



集散地である。臺中市彰化市は共に米バナ  
ナ等の集散が多い。嘉義市は阿里山と鐵道  
を通じて、大製材所があり、臺南市は附近に  
製糖業が發達し、海岸には廣い鹽田がある。  
高雄市は砂糖の積出が多く、鳳山は果實罐



鳳梨園のそで果實は多くは罐詰とす



花詰を産し、屏東市には製糖の大工場がある。  
蓮恒春は本島最南の都會である。  
附近に臺東平野 新しく開けた地方で、内地人  
の農業に従事するものが多い。臺東と花蓮  
の間に、この地方の門戸である。  
澎湖諸島 澎湖、白沙、漁翁の三大島が、相  
對して澎湖灣を抱き、その中に馬公の海軍  
村、田豐村、農式地、内るあに近附港蓮花  
村、田豐村、農式地、内るあに近附港蓮花

し、面積僅に一方秆半の珊瑚礁群であるが、磷礦を産し、且軍事上の  
要地である。高雄市の管理に屬する。

第十一章 朝鮮

鮮

面積 約三、〇〇万  
人口 約 二、二五萬

通説



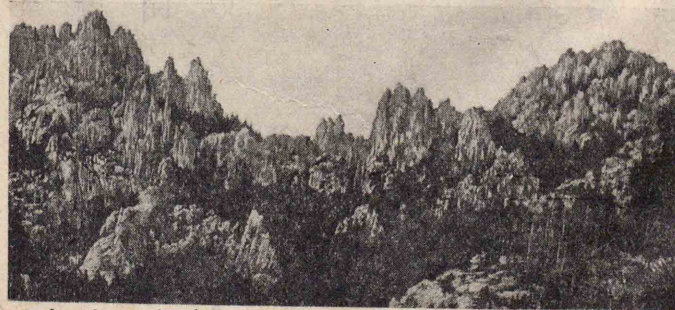
慶尙南道	慶尙北道	全羅南道	全羅北道	忠清南道	忠清北道	京畿道	江原道	咸鏡南道	咸鏡北道	平安南道	平安北道
(釜山府)	(大邱府)	(光州府)	(全州府)	(大田府)	(清州府)	(京城府)	(海州府)	(春川府)	(咸興府)	(平壤府)	(新義州府)



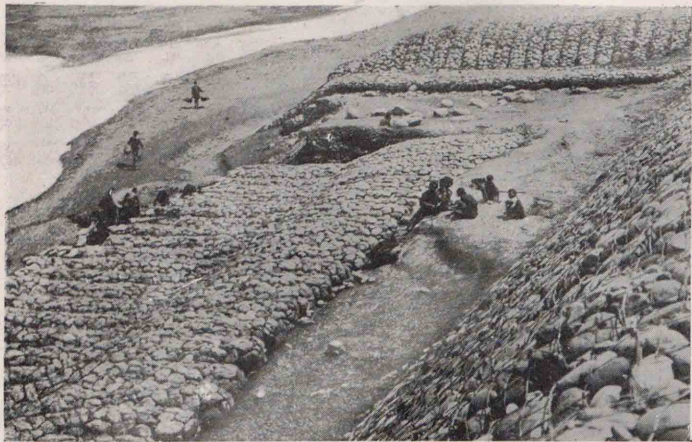
日本海と黄海とを分ける大半島で、北は満洲國やシベリヤと境を接する。政治は、朝鮮總督府の下に十三道がある。地勢 地形は南北の二部に分れる。北部には、長白山脈が國境に連り、その南に妙香、狼林等の山脈や、廣い蓋馬高臺がある。長白山脈の中に噴出した白頭山は、古來半島の名山で、頂上に天池といふ火口湖がある。南部



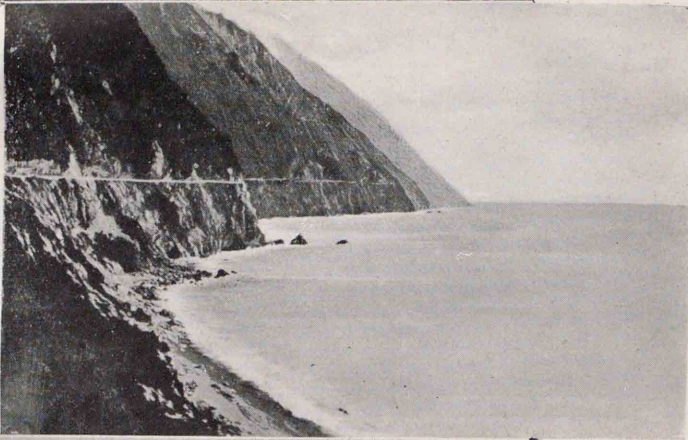
長白山脈の一部(右方に高く峙つ冠帽山)



金剛山萬物相の奇観で奇といはれる



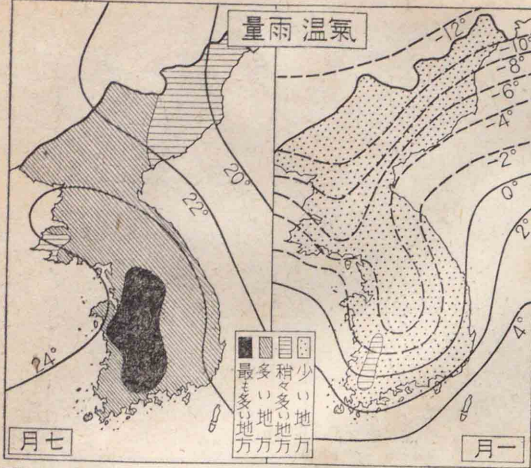
濁水溪 古來屢氾濫に苦しめられたが今では防排水工事が圖のやうに嚴になつた



臺灣の東岸 數里に續く斷崖の中腹に一條の通路が絲のやうに見える



蕃人の村 臺中州にあるタイヤル族の蕃社で高く設けたのは望樓である



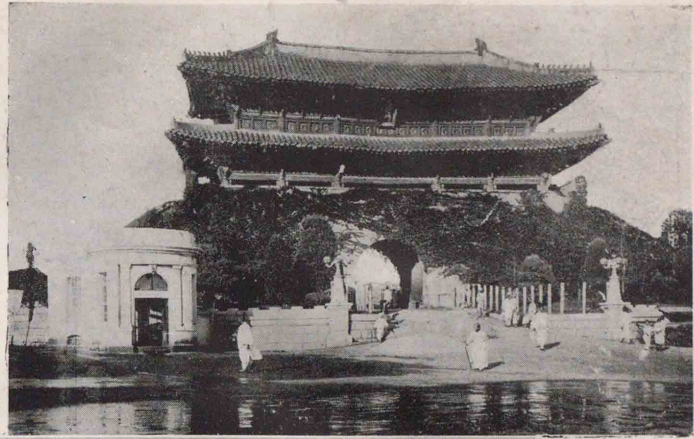
鎮海灣・永興・灣羅津附近は要塞地帯である

には、大白・小白等の山脈が連り、大白山脈中には、岩石の奇景で名高い金剛山がある。

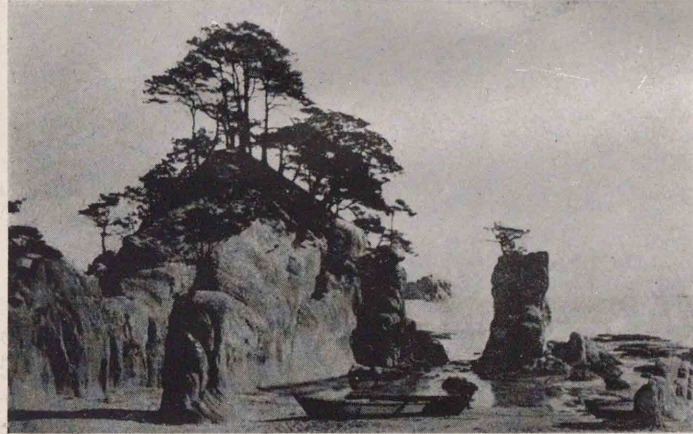
北部には、鴨綠江・豆満江の二大河が東西に分流してゐるが、南部では、山脈が東に偏してゐるので、河は多く西流する。大同江・漢江・錦江等は、その中の主要なもので、南流する洛東江と共に、下流に広い平野が開けてゐる。

日本海岸は單調で、東朝鮮灣・迎日灣の外には、著しい出入はないが、西岸及び南岸は、出入が極めて多く、特に西南部には、無数の島嶼が散在し、朝鮮多島海と呼ばれる、濟州島はその中で最も大きい。

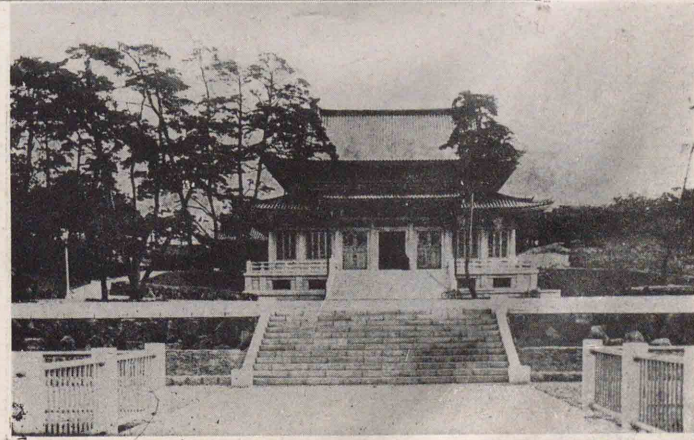
氣候 南部殊に海岸地方は、九州の西北部や、中國の西部に似てゐる處もあるが、雨は概して少く、北進するにつれて、次第に大陸性となる。北部は寒暑共に烈しく、冬は河面が凍つて、車馬はその上を往來する。



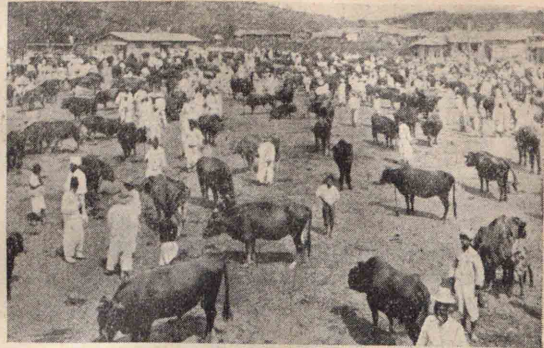
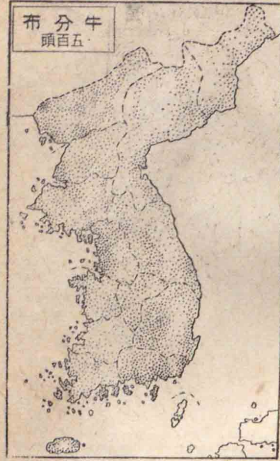
京城南大門 舊城門の一を  
残したもので五百年前の  
東洋藝術が圖の如く儼然と  
してゐる



海金剛 海金剛の優といはれる立石浦で海には岩を  
點し岩には松を彩つてゐる

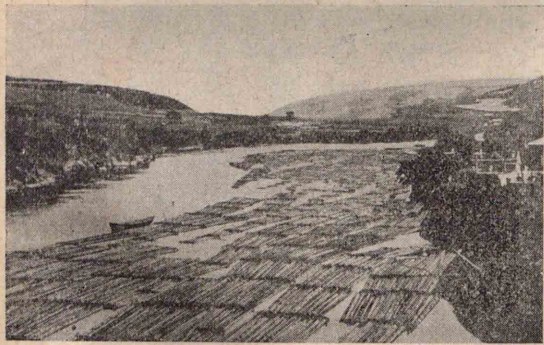


博文寺 伊藤公の遺業を  
偲ぶ記念建築で春畝山博文  
寺と稱へる寺院



朝鮮の牛市場で人と牛とが群集する

海峽には鯛、鯖、鮭、鱈、魚、等、の

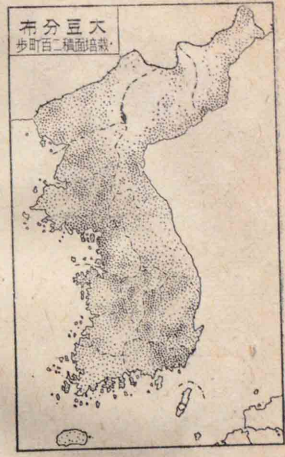
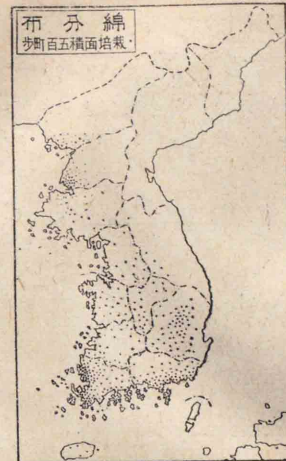


鴨綠江上流に筏を流して來た材木



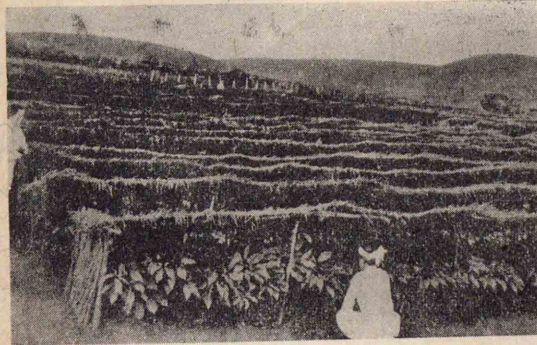
迎日灣沿岸に揚げたれ多量の鱈

て、殆ど各戸に牛を飼ひ、牛皮を出す外、肉用や駄用として内地へも送る。林業 濫伐の爲、多く裸山であつたが、近年植林に意を用ひ、若い森林を到る處に見るやうになつた。伐材の盛なのは北部に限られ、鴨綠江・豆滿江の上流地は、良材の産が多い。水産業 水産は頗る豊富で、日本海



工場が處々に出来た。牧畜業 牛、豚、鶏等を主とし、殊に北部では副業とし

蠶も次第に發達し、製絲

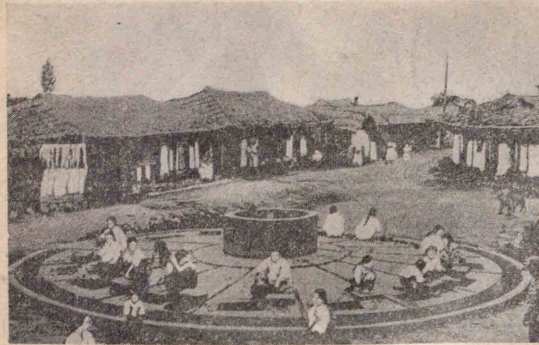


人蔘畑で日光の直射を防ぐ



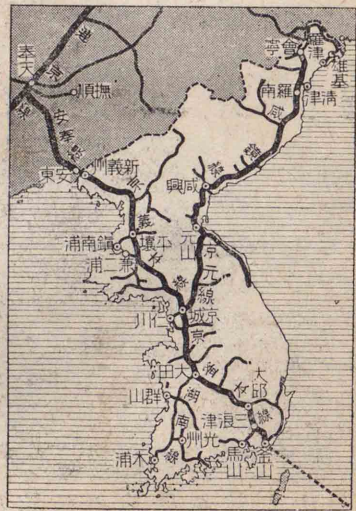
内地へ輸送する蔘を牛車で運ぶ

一般に三寒四温と呼ばれる天候の變化があつて、寒暖が數日おきに交代するから、割合に凌ぎ易い。産業 農業 我が國に併合以來、著しく面目を改め、米・粟・麥類・大豆・綿等の産が多く、殊に米は内地への移出が頗る多い。又處々から苹果等の果實を出す。養



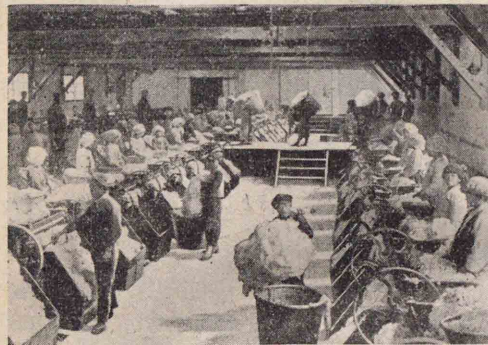
京(1)城釜山間  
京(2)城安東間  
京(3)城元山間  
元(4)山清津間  
大(5)田木浦間

た。貿易は、内地から織物その他の加工品を移入して、米・大豆・金鐵等を移出する。釜山・仁川は貿易上の二大中心で、その他雄基・羅津・清津・城津・元山・木浦・群山・鎮南・浦新・義州・龍巖・浦多・獅島・海州等の朝鮮人開港場がある。



交通 道路は多く荒れてゐたが、近年自動車の利用と共に次第に改善された。鐵道は京釜・京義・京元・咸鏡の諸線が幹線をなし、湖南線その他の支線がある。海運は關釜連絡船の外、内地及び隣國との航行が繁く、航空路は、内地關東州・滿洲國と通じ、無線電信局も處々にある。

住民 住民の大部は朝鮮族で、衣服は多く白色を用ひる。文字は上流社會では漢文を用ひ、その他は、我が假名に



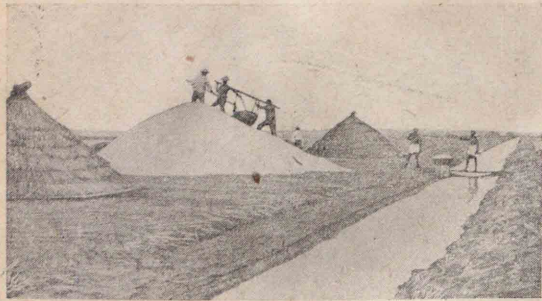
れてゐたが、近年内地人の經營により、新式木工場が處々に設けられ、紡績製紙製材、化學工業等には、頗る大規模のものがあつる。商業 定期内市による賣買を特部の色としたが、年々店景舗賣買が多くなつ



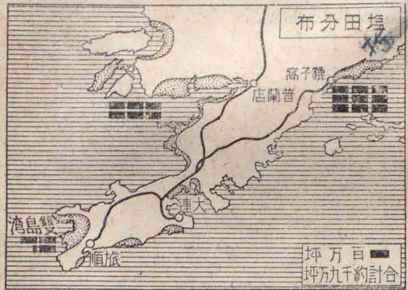
大邱の市道で交易さるる

利が多く、又西海岸の廣梁灣・朱安等には、天日製鹽が盛に行はれる。鑛業 鑛産は、雲山・大楡洞等の金、利原・下聖・載寧等の鐵鑛、平壤附近の石炭等が名高く、鐵鑛は多く内地に送られて、製鐵原料となる。工業 織物・紙・陶器等は朝鮮人の手工として古くから行は



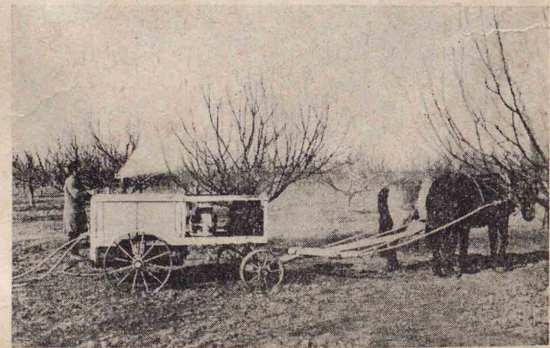


田鹽の窩子貌るゐでん並が山の



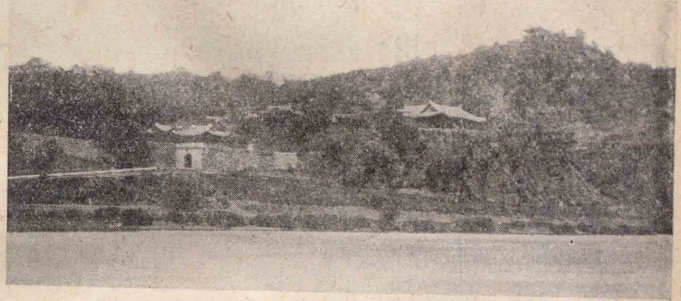
もとロシアの租借地であつたが、日露戦役の後、我が租借地となり、今は駐滿大使の下に、關東州廳を置いて治めてゐる。地勢 遼東半島の南部を占める丘陵性の半島で、著しい平野も河川もない。海岸は屈曲が多く、大連、金州の二灣が迫つて、金州地峽を挾む。

通説



景光るゐてし布撒を劑蟲驅で園果萃

氣候 大陸性で、冬は海岸の凍る處もある。降雨は、夏の外は極めて少い。産業 平地は狭いが、高粱、玉蜀黍等の産が稍多く、又蘋果、梨等の果實を出す沿岸の貌子窩、普蘭店、雙島灣等では、天日製



重要な位置を占め、會寧は豆滿江岸に近く、木材を集散する。

第十二章 關東州

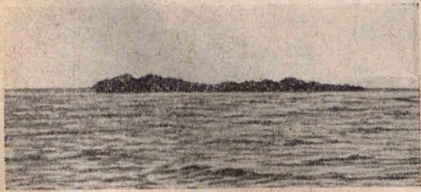
面積 約三、四〇〇方料  
人口 約 一三萬

平む地域で、山地の爲に西部東部に分れる。西部の平壤府は、大同江畔の要地を占め、北鮮第一の大都會で、附近に炭田を控へ、商工業が盛である。鎮南浦府はその門戸で、石炭、鐵等を移出する。新義州府は鴨綠江に臨み、滿洲國の安東と相對して、交通の要地を占め、木材の大集散地である。又製紙工場がある。東部の元山府は、裏朝鮮の重要な商港で、漁港を兼ね、咸興府は農産の中心地に當り、附近の興南には、化學工業の大工場がある。羅南は軍事上の要地で、清津府は雄基、羅津府等と共に、内地と滿洲國とを繋ぐ

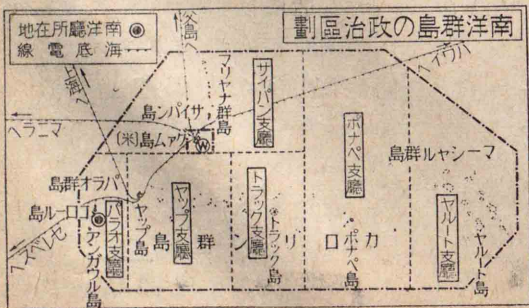
支廳  
 サイパン パラオ  
 ヤップ トラック  
 ボナベ ヤルート

小笠原諸島の南方、赤道以北の太平洋に散在してゐる島々で、我が統治地である。政治は南洋廳を置き、その下に六支廳がある。

**地勢** マリヤナ・パラオ・カロリン・マーシャルの四群島に分れ、概ね小さい火山島や珊瑚島で、島数は七百に餘るが、その總面積は、沖繩縣と大差がない。此等の島々の間に、八千米以上の深海が處々にあ



遠く眺めため珊瑚礁の景



通説

第十三章 南洋群島

面積 約三、二五〇方軒  
 人口 約一〇〇萬二千

に臨み、日清日露の古戰場として名高い處で、工科大学があり、金州は金福鐵道の分れる處で、附近に南山の戰蹟地がある。

平均 一四五



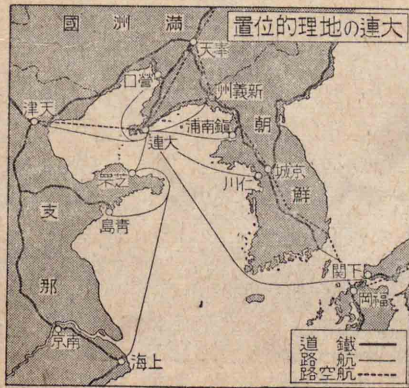
(昭和十六年三月十九日旅順要塞司令部検査済)

大連は、内地風の街の様式は内地風である。

**住民** 大部分は支那人で、都會には内地人が多く、市連絡し、海底電線、無線電信局等も備つてゐる。

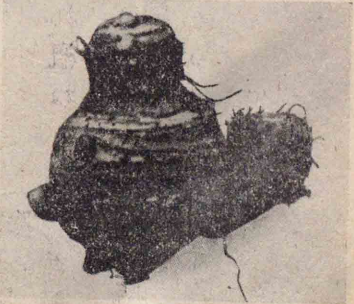
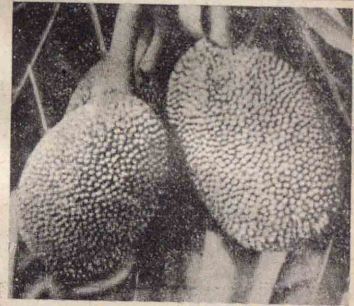
**大連市** は壯大な近代的都市で、港灣の設備がよく整ひ、東洋並屈指の大商港で、關東州廳も此處にある。旅順市は天然の良灣

處誌



鹽が盛に行はれ、近海は漁利も多い。工業は大連を中心として、搾油を始め、紡績・セメント・硝子等の工業が発達した。貿易は滿洲國を背景として、内地との取引が極めて盛である。

**交通** 連京線は大連に起つて北走する。海運は大連を中心として、内外の諸港と通じ、航空路は、朝鮮、滿洲國及び支那と



る。

氣候

熱帶海洋性の氣候で、常夏の國であるが、時々驟雨があるのと、海風の調和によつて、割合に凌ぎ易い。

産業

椰子樹、麩果樹、甘蔗、タロ芋等がよく生育し、殊に甘蔗の栽培は、我が施政以來、著しく發達して、砂糖の産に富み、その他、コブラ、燐礦、貝殻、魚類等の産が多い。

交通

航路は主要の島嶼を連絡する外、内地とは絶えず定期の往復があり、その他、海底電線、無線電信局等も備つてゐる。

大連埠頭の大豆 積出される大豆袋や豆粕が埠頭一面に堆積されてゐる

(昭和十六年三月十九日旅順要塞司令部許可)

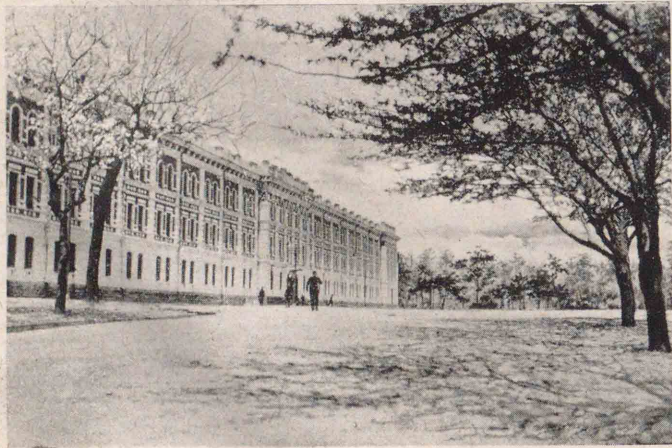


渤海の漁業 滿洲人の嗜好する黄華魚が春季産卵の爲に集るのでその漁獲が盛である

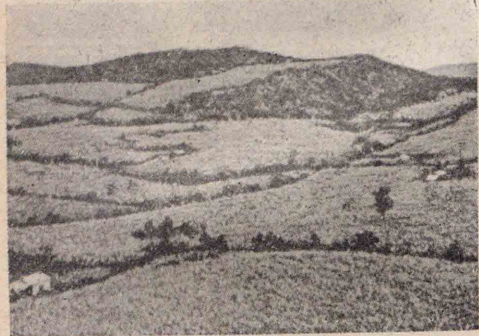


旅順の工科大学 大學令による單科大学で奉天の醫科大學と共に滿洲に於ける最高の學府である

(昭和十六年三月十九日旅順要塞司令部許可)



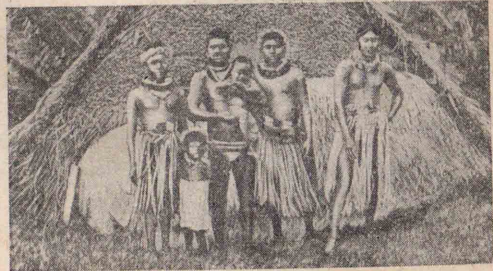




**住民** 住民はミクロネシア族のカナカ族とチャモロ族とで、カナカ族の数は遙に多いが、文化はチャモロ族の方が勝れてゐる。近年、内地人も次第に増加し、今は住民の過半を占める。

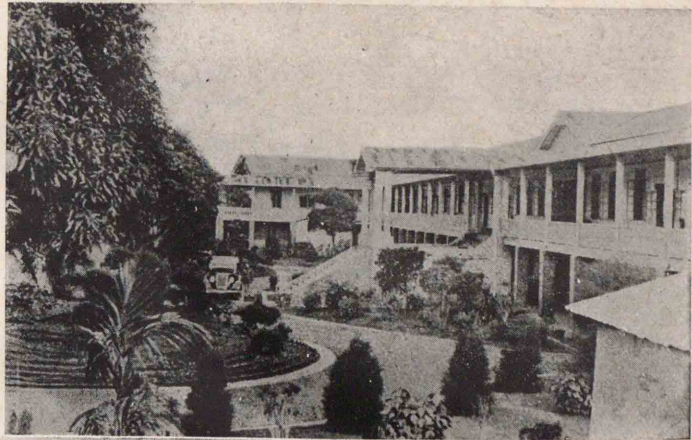
**地方誌**

開 壑 **マリヤナ群島** 富士  
 さ 火山帯の延長で、火山島  
 た れが多い。サイパン島はその主島で、チニヤン  
 イ 島と共に、甘蔗畑が多く、製糖業が盛になつ  
 パ 群島中のグアム島は、米國に屬し、主要な海  
 の 軍根據地で、又海底電線の中繼所である。  
 甘 **パラオ群島** マリヤナ群島の西南に續  
 蔗 園き、概ね火山島である。コロール島は我が南



俗風の人カナカる居に島ンパイザ

南洋廳 大正十一年純然たる行政府となつた廳舎は床が高く中二階式の平家建である



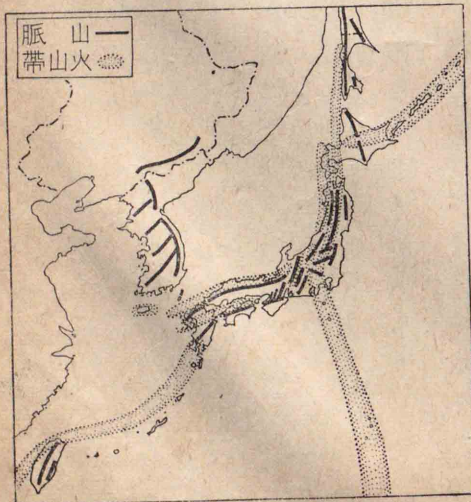
パラオの市街 漸く市街の形を備へつゝあるが巍然たる無線電信塔とは未だ調和に至らない

漁業 海藻で造つた網を持つて圓陣を造り漸次その圓形を狭めて魚を掬ひ捕る



半朝鮮		列日島本									
南部	北部	南彎					北彎				
大白山脈	長白山脈	飛驒山脈	筑紫山脈	紀伊山脈	九州山脈	出羽山脈	關東山脈	北陸山脈	上山脈	樺太山脈	
小白山脈	妙香山脈	木曾山脈	中國山脈	赤石山脈	四國山脈	三國山脈	奥羽山脈	阿武隈山脈	日高山脈		

本州の中部地方に達する之に那須鳥海千島等の火山帯が重走して、地形を一層複雑ならしめてゐる。南彎山系は西



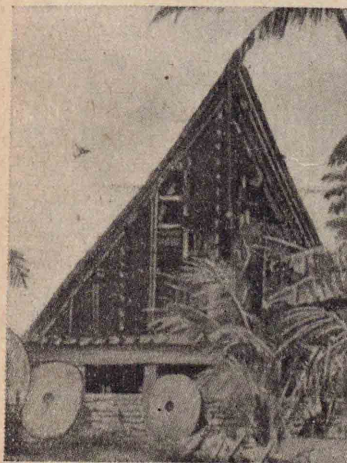
**山系火山帯** 日本列島は、海底山脈が海上に現はれたもので、之を北彎山系と南彎山系とに分ける。北彎山系は樺太から南に延び、北海道奥羽關東の諸山脈をなして、

第一章 地 勢

後篇 總 括



ア洋統治の中心地で、マラカルの錨地を控へ、鯉節の製造が行はれ、アンガウル島は、多く燐礦を産するので名高い。カリリン群島、廣く東西に擴がり、高い火山島と、低い珊瑚島とから成る。ヤップ島は海底電線の中繼地として名高く、その土人中には、今でも石貨貝貨を用ひる風習が残つてゐる。トラック島は礁湖内に火山群島を包み、天然の良港をなして海運の中心となり、ポナペ島は群島中の最大島で、澱粉(タピオカ)の製造所がある。赤道直下に近いグリニチ島は、我が統治地の最南端に當る。



貨石と所會集のプチャ

南端に當る。  
**マーシャル群島** 二列の珊瑚礁群から成り、主島のヤルト島は椰子樹が繁茂してコプラの産が多く、ジャポールはその積出が盛である。

太平洋斜面	北 上 川	利 根 川	天 龍 川
オホーツク海斜面	幌 内 川	熊 野 川	
日本海斜面	石 狩 川	最 上 川	信 濃 川
朝鮮海峡斜面	洛 東 江	豆 満 江	信 濃 川
黄海海斜面	鴨 綠 江	大 同 江	漢 内 江
東支那海斜面	筑 後 川	球 磨 川	川 内 川
臺灣海峡斜面	淡 水 河	濁 水 溪	下 淡 水 溪
瀬戸内海斜面	淀 川	旭 川	大 田 川

斜面

主

要

河

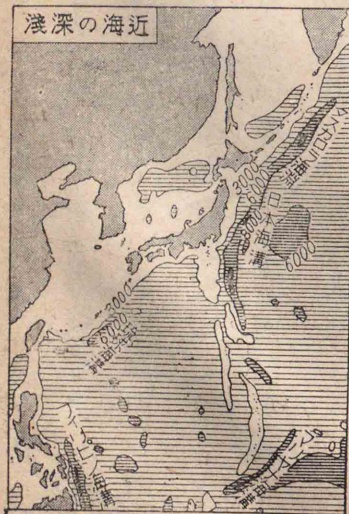
川

湖はないが、風景がよい爲に、遊覽地として名高いものが多い。

第二章 海 洋

近海

我が國は、外面に太平洋を控へ、内面に多くの内海を抱へてゐる。太平洋側には深海が多く、日本海溝の北部に當るタスカロラ海淵は、



— 括

彎形の外側を裏日本、内側を裏日本といふ

北日本と南日本の比較	
北日本	南日本
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 北彎山系に屬する。</li> <li>2. 山脈方向は多く南北である。</li> <li>3. 大河・大平野が多い。</li> <li>4. 北方には未開地があり、人口が疎である。</li> <li>5. 東京を文化の中心とする。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 南彎山系に屬する。</li> <li>2. 山脈の方向は多く東西である。</li> <li>3. 大河・大平野が少い。</li> <li>4. 文化が夙に開け、人口が密である。</li> <li>5. 大阪・京都を文化の中心とする。</li> </ol>

南日本の地體を造るもので、二列に分れ、一は九州の南部・四國・近畿の南部を通り、一は九州の北部・中國・近畿の北部を過ぎ、共に本州の中部地方に達する。此等に霧島・阿蘇・白山・乘鞍等の火山帯が通じてゐる。南北二彎の會合する弱線に沿ひ、富士火山帯が走つて、日本列島を、北日本と南日本とに分ける。我が國は、世界屈指の火山國で、温泉も多く、靜養地として發達した温泉町も少くない。朝鮮半島は高原狀の地塊で、火山は少く、臺灣には雄大なる山地がある。

平野

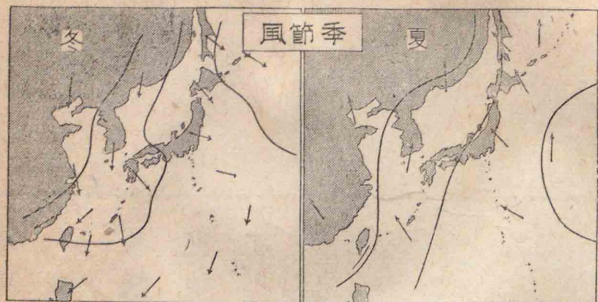
關東平野が最も廣く、越後・石狩・濃尾・筑紫・仙臺・熊本・大阪・富山・十勝等の諸平野が之に次ぎ、その他、山間に挾まる盆地も多く、上川・會津・甲府等は之に屬する。

河川

河川は急流が多いので、水運の便は割合に少いが、近年盛

に發電に利用されて、世界有數の電力國となり、且米作の爲に、川水から受ける灌漑の恩惠は極めて大きい。

湖水は灌漑・發電・養魚等に利用され、又交通・運輸の助けともなる。我が國には、琵琶湖・霞浦等の外、大

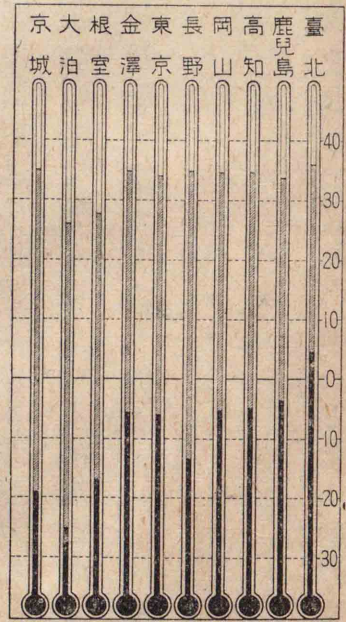


帯にあつて、概ね温和であるが、土地が南北に長く、その上、地形、海流風等の影響を受けるので、気温も處によつて著しい相違がある。臺灣は、熱帯、亞熱帯性の常夏の地であるが、樺太は、亞寒帯性氣候で、冬が甚だ長く、朝鮮は著しく大陸性である。

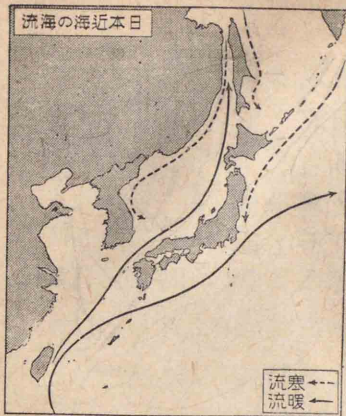
**風雨** 大陸に於ける氣壓の影響を受けて、夏は南東季節風が多く、冬は北西季節風が卓越して、日本海方面に降雪が甚だ多い。日本の氣候は、この二風によつて著しく左右されるが、初秋の頃、突發的に颱風の襲來を受けることもある。又初夏の頃には、内地の大部に互り、梅雨といふ霖雨期があつて、陰鬱な天

第三章 氣候

氣温 國土の大部は温帯にあつて、概ね温和である



各地の平均・最高・最低氣温



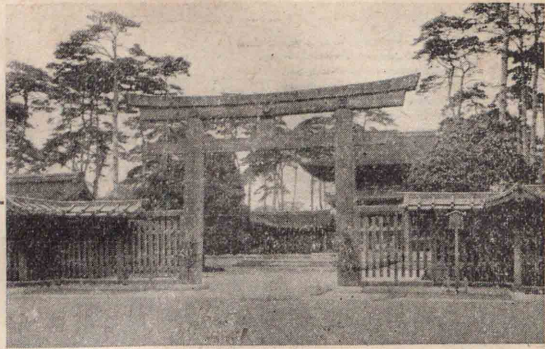
の現象が著しい。

**海流** 日本の近海には、寒暖二種の海流がある。暖流の主なものは日本海流で、その支流は、日本海に入つて對馬海流となる。寒流は千島海流を主流とし、外にリマン海流、樺太海流等がある。此等の海流は、氣候に變化を及ぼし、又産業に著しい影響を與へる。

八千五百十四米に達し、南部の小笠原海淵は、九千四百三十五米に達する。經濟上に大切なのは、深海よりも寧ろ淺海で、漁場の多くは陸棚と呼ばれる深さ二百米以内の淺海である。我が國は陸棚の面積が甚だ廣く、之が世界第一の水産國となつた一原因である。

**潮汐** 海岸には、一日に約二回づつ、水面の上下する潮汐が起る。潮汐の干満は、處によつて著しく違ひ、仁川では十米に達して、我が國第一であるが、佐渡では〇三米に過ぎない。狭い海峡では、潮汐の干満毎に、急激な潮流を生ずることがある。瀬戸内海の入口では、その現象が著しい。

一方、人口密度は約百四十人、内地は約百八十八人に達する。



明朝鮮族、臺灣には臺灣人(漢族)が多い。その他、臺灣には高砂族、北海道にはアイヌ族が僅に残り、樺太にはアイヌの外、オロク、ニクブン等が住み、それ等の数は極めて少い。

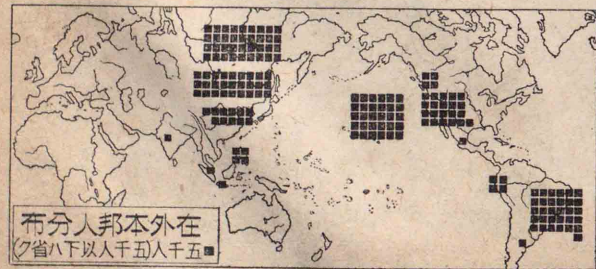
神社宗教

大和民族は、光輝ある歴史と、それに涵養せ

最も多いのは佛教で、キリスト教も都會の一部に行はれる。

人口

國民の總數は約一億で、人口密度は世界第四位である。人口の増加が著しく、その數は年々九十萬内外に達し、新領土又は海外に移住する者



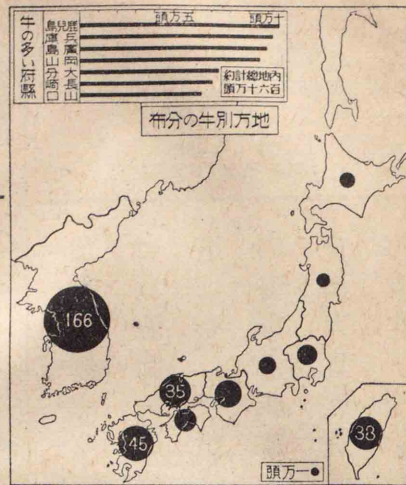
氣の續くのが例である。生物 氣候の關係から、生物の種類は極めて多い。植物では、寒地に蝦夷松、樅松、落葉松等が茂り、温地には松、杉、檜等の美林があり、暖地には椰子、樹、榕、樹、鳳梨、バナナ等が繁茂する。動物も、樺太には馴鹿、北海道には羆、本州には牛、馬等を主とし、沖繩には飯匙倩、臺灣には水牛等の特殊なもの、朝鮮では稀に虎の如き猛獸も見られる。海棲動物も、海流その他の關係で、處により種類が違つてゐる。

第四章 住 民

民族

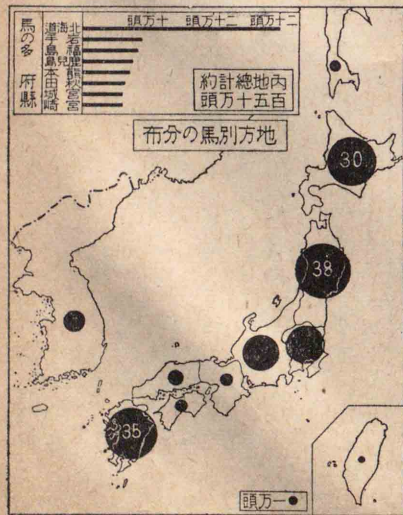
大和民族が大多數を占めて、國民の中堅となり、朝鮮には





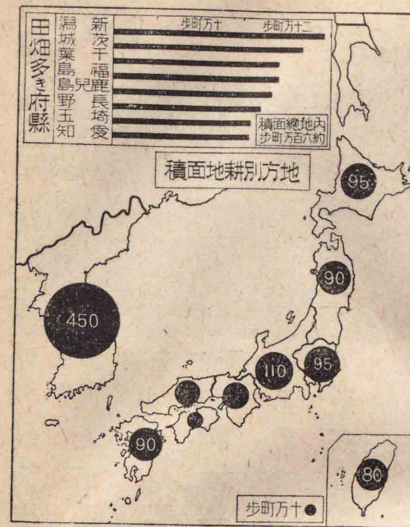
州・朝鮮・臺灣(水牛)が主産地で、乳牛は大都市の附近に多く、馬は北海道・奥羽・九州等に、豚は臺灣・朝鮮・沖繩等に多い。養鶏も著しく盛となり、之を専業とするものもある。

**林業** 内地には、秋田・青森・木曾・吉野・高野・熊野・南四國・南九州等に

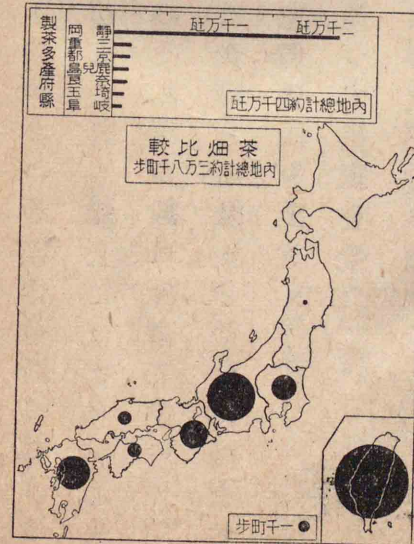


が第一の産地で、綿は朝鮮に産するが、内地の工業原料は、主として輸入に仰いでゐる。その他、大豆・煙草・甘藷・馬鈴薯・野菜等を各地に産する。養蠶は廣く全国的に行はれて、繭の産額は世界第一に位し、中部地方・關東地方は、特に盛である。

**牧畜業** 近年生活状態の變化により、毛・肉・乳等の需要が増加し、牧畜は益々盛となつた。牛は中國・九



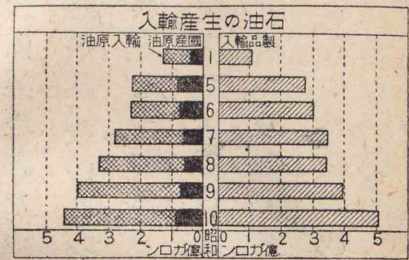
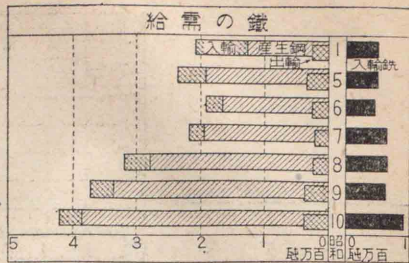
茶は京都・静岡及び臺灣等に産して、聲價は高いが、近年外國の産茶に壓せられてゐる。甘蔗糖は臺灣



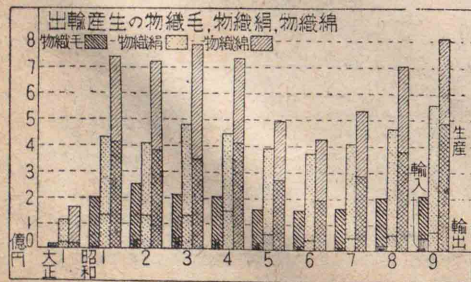
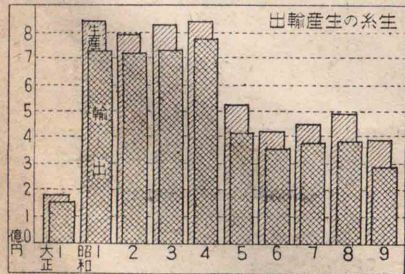
が頗る多い。最近海外に在留する邦人は、百萬に餘り、滿洲國・支那・ハワイ・アメリカ合衆國・ブラジル等には特に多い。

**第五章 産 業**

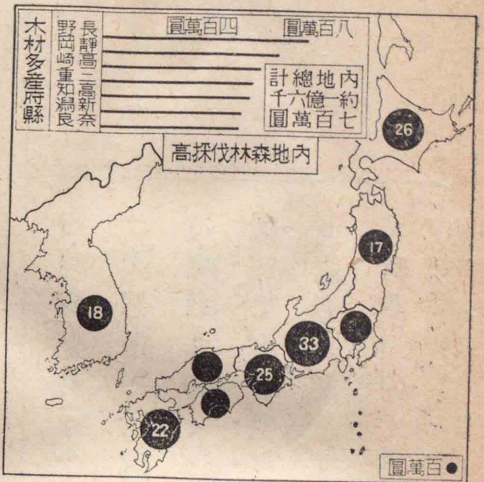
**農業** 我が國は古來農を國本とし、米は國民の常食で、農産中の首位を占めるが、移入は相當の多額に上る。麥は米に次ぐ食糧品であり、且近年製粉業の發達により、その原料として輸入が頗る多い。



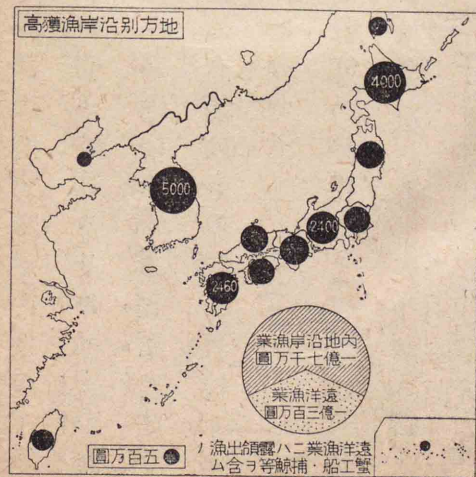
みたが、近年大工業の發達と共に、一躍して世界の大工業國となつた。我が國工業の特色は纖維工業で、その中生絲は、古くから世界の最大産地であるが、近年人造絹絲も急激な發展をなして、世界の二位となり、絹織人



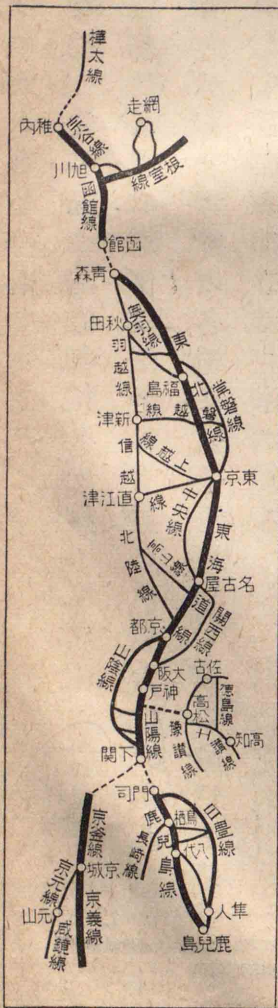
餘を占め、もとは主要の輸出品であつたが、近年輸入の方が多し。銅は世界屈指の産國であるが、今は自給の程度である。石油は需要の大部を輸入に仰ぎ、鐵は製鐵業の發達によつて多く産するが、原料鐵礦は、多く移輸入に仰いでゐる。工業 我が國民は、古來手工に長じ、精巧な美術品を造るのを特長として



魚類・貝類・海藻・海獸等があり、加工品には鯉・節・搾・粕・鰯・罐詰等がある。北海道はその産額が最も多い。鹽は瀬戸内海を主産地とし、臺灣・朝鮮・關東州では、天日製鹽が盛である。鑛業 石炭は全鑛産價額の七割



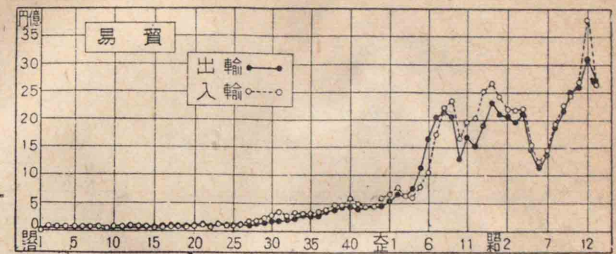
美林があり、臺灣には阿里山その他の大森林があり、北海道樺太朝鮮には、自然の密林があつて、木材の産は少くないが、建築用材製紙用パルプ等として需要が増加し、其等の輸入は頗る多い。水産業 寒暖二種の海流が、近海を流れてゐるから、水産物は種類も量も共に多く、水産國として世界第一位である。漁獲物には、各種の



**道路** 道路には、國道縣道市町村道等があり、その中國道は、東京日本橋上にある道路元標を本として、各府縣に通ずる。道路は鐵道の布設によつて一時廢れたが、近年自動車の普及と共に、その改修新設が進んで、著しく面目を改めた。

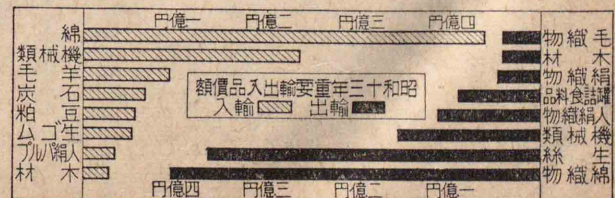
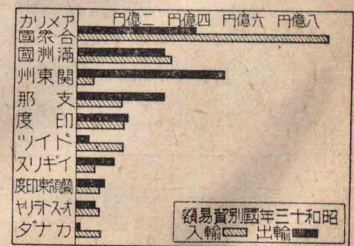
**鐵道** 東北・東海道・山陽の三線は本州の大幹線で、北海道・九州・朝鮮臺灣等にある各幹線と共に、我が國の鐵道系統をなしてゐる。電車網も大いに發達し、京濱地方・京阪神地方及び名古屋附近の如き

第六章 交通



絹織物と共に、輸出品の重位を占める。綿・絲・綿織物は我が工業界の王座で、その製品は、世界的に雄飛してゐる。その他、各種の機械工業、化學工業等の發達が著しい。

**商業** 國內商業は、東京と大阪とを大中心とする。近年名古屋も、その中間に立つて一大商業地となつた。外國貿易は、工業の發展と共に、販路が益、擴がり、我が商品の世界的進出は、國際間の驚異となつてゐる。神戸は阪神工業地方への原料輸入を主とし、大阪はその製品の輸出が多く、横濱は製絲地を背景として、生絲の輸出に榮え、この三港の貿易額は、内地總額の八割餘を占める。この外、我が國には、五十餘の貿易港がある。



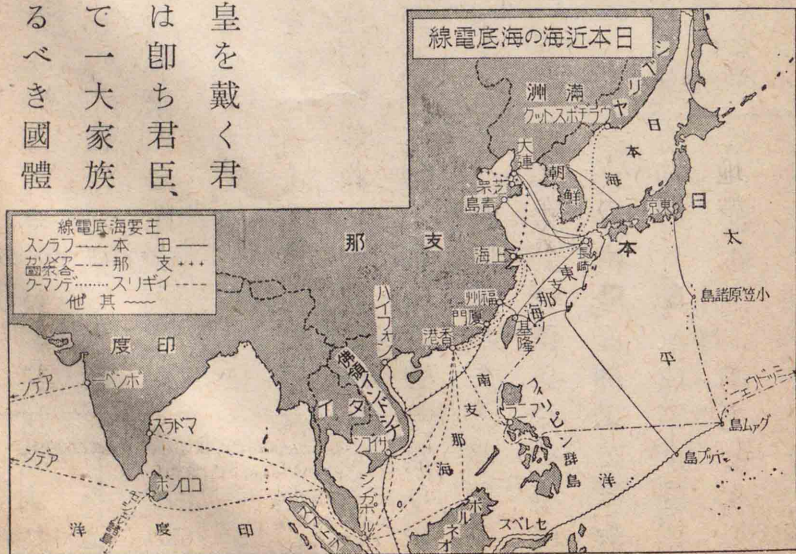


東京に國際無線電話會社が出来て歐米又は南洋地方と通話する

國體 我が國は、萬世一系の天皇を戴く君主國で、皇室と臣民との關係は、義は即ち君臣情は猶父子の如くで、國家を擧げて一大家族である。これが我が肇國以來の誇るべき國體の精華で、世界にその比を見ない處である。

第七章 政治

島嶼を結ぶ外、アジア大陸及び米國の電線に連るものもある。壯大な無線電信局も設けられて、歐米諸國と通信し、又海外との國際電話も開かれ、ラヂオは全國的に普及し、歐米の放送までも、坐ながらにして聽かれるやうになつた。

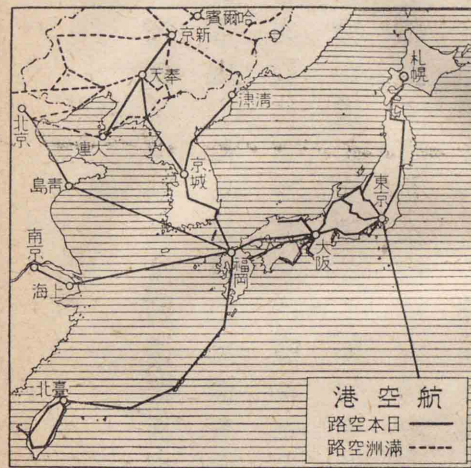


我が商船噸數は四百三十萬噸で英米に次ぐ

は、その最も著しい處である。

船舶 我が國の商船噸數は、世界の第三位に當り、日本郵船、大阪商船の兩會社は、世界有數の汽船會社で、國際的に勢力があり、世界の各地に航路を開いてゐる。神戸と横濱とは、外國航路の二大中心である。

航空 近年航空輸送の發達が著しく、東京・大阪・福岡を



中心とし、朝鮮を経て關東州、滿洲國、支那等の航空路と連絡し、又北海道、南洋、臺灣等の外、遠くタイ國へ通ずる空路も開かれた。此等の空路を利用すれば、僅に數時間で外國に達する。

通信 郵便電信の整備は、列國に

比して遜色がない。海底電線は主要





皇國の發展を扶翼し奉つた結果に外ならぬ。我等は、各自の本分に於いて、協心努力、その業を勵み、國家の隆昌と、國民の幸福とに留意し、陛下の大御心に答へ奉らねばならぬ。これ我が臣民の本分であり、且我等國民の義務である。

提要 最近日本地理 改訂版 終

改訂提要女日地

昭和十二年八月十九日印刷  
昭和十二年八月二十五日發行  
昭和十三年二月八日修正再版印刷  
昭和十三年二月十二日修正再版發行  
昭和十六年一月五日 修正三版印刷  
昭和十六年一月十五日 修正三版發行



提要 最近日本地理 改訂版  
定價 金六拾八錢

編纂者

三省堂編輯所

代表者 龜井豐治

發行者

東京市神田區神保町一丁目一番地  
株式會社 三省堂  
代表者 龜井豐治

印刷者

東京市蒲田區仲六郷一丁目五番地  
株式會社 三省堂蒲田工場  
代表者 喜多見昇



發行所

(東京市神田區神保町一ノ一)  
振替口座東京三二一五五五  
(大阪市西區阿波座下通二ノ六)

株式會社 三省堂  
株式會社 三省堂大阪支店

日女二年月組  
永谷田津子

700-

成續番號(1)  
甲組  
二年月組(2)  
永谷田津子

文庫  
41  
751

広島大学図書  
2000041751  
